取扱説明書

型名

SR-DVM700

Mini DV&HDD&DVDビデオレコーダー

このたびはビクター製品をお買い上げいただき、
ありがとうございます

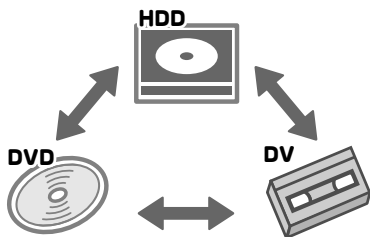
● ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（6～7ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。 そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

LPT1140-001B

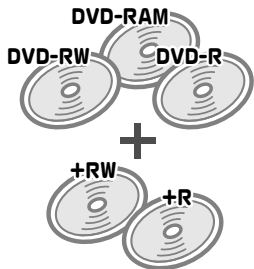
主な特長

HDD、DVD、Mini DVテープで双方向ダビングできる

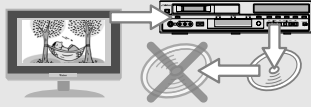
（6WAYダビング）

- 本機1台で、HDD⇔DVD、HDD⇔DV、DVD⇔DVでの双方向ダビングができます。（☞P29）
- HDD⇔DVでは、XPモードより高画質なDVモードでのダビングができます。（☞P31）

DVD-RAM/-RW/-Rのディスクで録画・再生できる

（DVDマルチドライブ対応）

DVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rのディスクから用途に合わせて選べます。（☞P8）

いろいろなディスクが再生できる

（スーパーマルチ再生）

DVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rに加え、+RW、+Rのディスクも再生可能です。（☞P8）

Mini DVテープに音声・映像が追加できる

（アフレコ編集、インサート編集）

- DVテープにナレーションやBGMを追加できます。（☞P58）
- DVテープに別のシーンを追加できます。（☞P59）

DVDの選びかた

こんなとき	DVD

くり返し録画したい

DVD-RAM　DVD-RW

他機で再生したい

DVD-R（ビデオモード）で録画されることをおすすめします。

● 録画したあとにファイナライズします。（☞P42）

DVD-R（ビデオモード）

HDDから高速でダビングしたい

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

最大約3倍速

● 高速ダビングするときは、高速対応のディスクをお選びください。（☞P32）

1回だけ録画可能なタイトルを録画したい

CPRM対応の DVD-RAM　DVD-RW（VR）　DVD-R（VR）

どのディスクを使っていいかわからない

DVD-RAM

DVD-RAMをおすすめします。

● 通常は、フォーマットの必要がありません。（一部、フォーマットが必要なディスクもあります）
● くり返し録画や、部分削除などの編集ができます。

● ディスクの種類についての詳細は、**ディスクについて**（☞P8）をご覧ください。

DVD-RW、DVD-Rを使用するとき

フォーマットの操作が必要です。（☞P41）

DVD-RWのとき

● 「VRモード」または「ビデオモード」のどちらかにフォーマットします。
● 何回でもフォーマットできます。

DVD-Rのとき

● 「VRモード」のときだけ未使用のディスクでフォーマットします。
● フォーマットしないときは「ビデオモード」です。
● フォーマットのやり直しはできません。

VRモード

● 部分削除などの編集やくり返し録画したいとき。（DVD-Rの場合はくり返し録画できません）
● 録画したタイトルを削除すると残量時間が増えます。（DVD-Rの場合は増えません）
● 1回だけ録画可能なタイトルを録画したいとき。（CPRM対応のディスクをお使いください）

ビデオモード

● 他のDVDプレーヤーで再生したいとき。
● 部分削除などの編集はできません。
● 録画したタイトルを削除しても残量時間は増えません。

もくじ

はじめに・準備

再生する

ダビング・編集

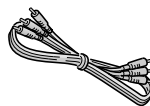
知っていると便利

RS-232C

困ったときは・付録

付属品を確認しましょう

リモコン

単三形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

音声/映像コード

安全上のご注意（ご使用の前に、必ずお読みください）

人への危害や財産への損害を未然に防止するために、製品を安全に正しくお使いいただくための説明です。

注意が必要であることを表示

禁止行為であることを表示

しなければならない（強制）ことを表示

警告　死亡または重症を負う可能性が想定されている内容を示しています。

次の異常が発生したときは、ただちに電源プラグを抜く

- 発煙、異臭が発生したとき
- 内部に水、異物が入ったとき
- 落下、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、最寄りの販売店またはサービスまでご連絡ください。ご自分では決して修理しないでください。

電源プラグやコンセントにほこりや金属類を付着したまま使用しない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
- 半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

電源プラグは、抜き差ししやすいコンセントに差し込む

- 本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源プラグは奥まで確実に差し込む

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。

表示された電源電圧以外では使用しない

- 火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となります。

雷がなったら、アンテナや電源プラグには触らない

- 感電することがあります。

梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところには置かない

- 頭からかぶると、窒息の原因となります。

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃のあるところに置くと、落下、転倒などからケガの原因となります。
- 本機は縦置きでの設置は不可です。

内部に物を入れない

- 機器の内部に物が入ると、火災や感電の原因となります。

分解・改造をしない

- 内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。

１年に１度は内部の点検を販売店に依頼する

- ホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となります。
- 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、効果的です。

機器の上に花瓶やコップなどを置かない

- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

ぬらさない・風呂場では使用しない

- 火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

- 傷んだまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

- コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

⚠注意 傷害を負ったり、物的損害が想定されている内容を示しています。

乾電池について、次のような誤った取り扱いはしない

- **プラス（+）とマイナス（−）のまちがい**
- **違う種類や一度使用した電池を混ぜる**
- **電極のショート**
- **加熱、分解および水中もしくは火中へ入れる**
- **充電する**

誤った使い方をすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでケガ、火災の原因となります。
長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
万一、液漏れしたら、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってください。液が身体、衣服などに付いたときは、水でよく洗い流してください。

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

・ 電源が「切」でも機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。

移動するときは、電源プラグや接続コード類を抜く

・ コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

・ けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

通気孔をふさがない

・ 内部に熱がこもって、火災の原因となります。

湿気やほこり、湯気、油煙の当たる場所には置かない

・ 油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因となります。

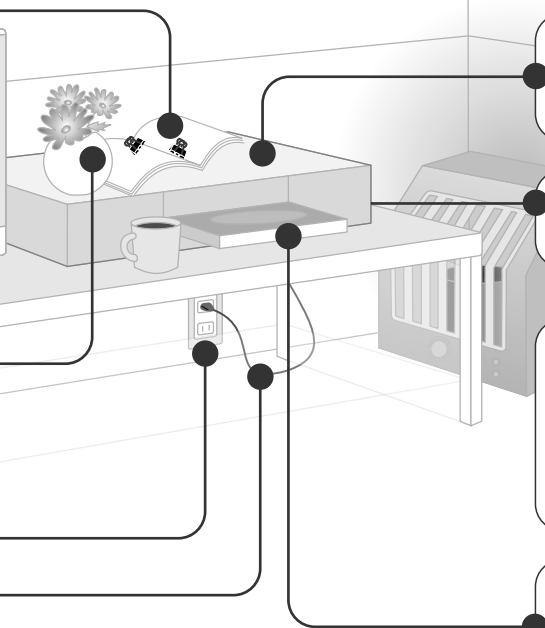
熱源の近くには置かない

・ 機器の変形、劣化のほか、火災の原因となります。

ディスクトレイに手をはさまれないように注意する

・ ケガの原因となります。特に小さなお子様にはご注意ください。

ディスクトレイの前に物を置かない

・ トレイの前に熱湯を入れたカップなどを置くと、トレイが開いたときにケガ、やけどの原因となることがあります。

ディスクについて

録画/再生できるディスク

ディスクの種類		記録モード	フォーマット（☞P41）	くり返し録画（☞P3）	追っかけ再生（☞P64）	編集（☞P46）	コピーワンスのタイトルの録画	ファイナライズ（☞P42）
HDD	内蔵		－	○	○	○	○	－
DVD-RAM	12cm：4.7GB/9.4GB 8cm：1.4GB/2.8GB Ver.2.0 Ver.2.1 Ver.2.1/3X	VRモード	○	○	○	○	○	－
DVD-RW	12cm：4.7GB 8cm：1.4GB Ver.1.1 Ver.1.1/2X Ver.1.2/4X	VRモード	○	○	－	○	○	○
		ビデオモード	○	○	－	－	－	○
DVD-R	12cm：4.7GB 8cm：1.4GB General Ver.2.0 Ver.2.0/4X/8X Ver.2.1/16X	VRモード	○	－	－	○	○	○
		ビデオモード	－	－	－	－	－	○

● コピーワンスのタイトルの録画：デジタル放送の１回だけ録画できるタイトルをDVDに録画するには、CPRMに対応している必要があります。（☞P30）

再生のみできるディスク

ディスクの種類	説明
DVDビデオ	市販のビデオディスク（映画、音楽など） 本機で再生できるリージョン番号（地域番号）は「2」です。 （再生できるリージョン番号の表示例） 映像方式は、NTSC方式です。 PAL方式のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。
DVDオーディオ	市販の音楽用DVD 「DVDプレーヤーで再生可能」と書かれているディスクを再生できます。
ビデオCD スーパービデオCD	市販のビデオディスク （ビデオCD･スーパービデオCDで録画したCD-RやCD-RWを含む）
音楽用CD	CD-DA DTSの音楽用CDも再生できます。（別途、デコーダが必要です）
CD-ROM CD-R/RW	音楽用CDフォーマットおよびISO9660またはJolietフォーマットのMP3、WMA、JPEGファイルを再生できます。 本機で再生可能なJPEGファイルはJFIF準拠/ベースラインプロセスで、最大解像度は横2812×縦2112［ピクセル］です。

● ビデオモードで録画し、ファイナライズされた+R/+RWは再生することができます。本体表示窓には「DVD」と表示します。
● パケットライト方式で記録されたCDは再生できません。
● CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作の保証はできません。

再生できないディスク

DVD-RAM（2.6GB/5.2GB）
DVD-R（オーサリング用）
DVD-R DL（片面二層）
+R DL（片面二層）
CD-ROM/R/RW（PhotoCD, CD-Gなど）
DDCD（1.3GB 倍密度 CD）
HDCD（高密度 CD）

他に、シールやラベルが剥がれたディスク、円形以外の特殊な形状のディスク、大きく反ったディスク、割れたディスクなどは絶対に使用しないでください。

カートリッジ入りのDVD-RAM

- カートリッジ入りDVD-RAMには対応していません。カートリッジからディスクを取り出してお使いください。取り出し可能なディスク（TYPE2,TYPE4）については、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

ディスクの保管

- 次のようなところは避けて保管してください。
  - 湿気やほこりの多いところやカビの発生しやすいところ
  - 直射日光が当たるところや暖房器具の近く
  - 夏の自動車の車内
- 落としたり、衝撃をあたえないでください。
- ケースに入れて、立てて保管してください。
- ケースに入れないで重ねたり、立てかけたり、落としたりすると変形やひび割れの原因となります。

録画・再生用レンズが汚れたときは

長期間使用していると、録画・再生用レンズにほこりや汚れなどが付着して正常な録画や再生ができなくなる場合があります。

使用回数や設置環境にもよりますが、市販のDVDレンズクリーナーで半年に一度はクリーニングすることをおすすめします。クリーニング方法については、レンズクリーナーの取扱説明書をご覧ください。

デュアルディスク再生時の注意

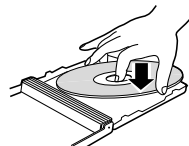
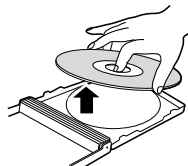
デュアルディスクのDVD記録ではない面は、音楽CDの標準規格に準拠していません。本機でのデュアルディスクのDVD記録面以外の再生はおすすめしません。

ディスクのお手入れ

- ディスクに付いた指紋やほこりなどの汚れは、映像や音声の乱れの原因になります。柔らかい布などでいつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭きます。
- 汚れがひどいときには、少し水で湿らした布で拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジン、アルコール、従来のレコードクリーナー、静電気防止スプレーなどは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの取り扱いかた

■ ディスクを取り出す

■ ディスクをしまう

■ 正しいディスクの持ち方

録画／再生面に手を触れないようにします。

当社製ディスクをお使いください

ディスクによっては十分に性能が発揮できない場合があります。当社製ディスクのご使用をおすすめします。

ディスクの種類	型　番	特　長	
DVD-RAM	10VD-M120NC	10枚組	4.7GB 片面 高速2倍速対応
	VD-M120NF/NF5	1枚/5枚組	4.7GB 片面 高速3倍速対応
	VD-M120NH/NH5	1枚/5枚組	4.7GB 片面 高速5倍速対応
DVD-RW	VD-W120G/G5/G10	1枚/5枚組/10枚組	4.7GB 片面 高速2倍速対応
	VD-W120HG/HG5	1枚/5枚組	4.7GB 片面 高速2倍速対応
	VD-W240HG/HG5	1枚/5枚組	9.4GB 両面 高速2倍速対応
	VD-W120F/F5	1枚/5枚組	4.7GB 片面 高速4倍速対応
DVD-R	VD-R120D	1枚	4.7GB 片面 高速4倍速対応
	5VD（10VD）-R120D	5枚組/10枚組	4.7GB 片面 高速4倍速対応
	VD-R120F/F5	1枚/5枚組	4.7GB 片面 高速8倍速対応
クリーナー	CL-DVDLW	DVD用レンズクリーナー	

- 2006年11月以降、新しく発売されるディスクについては、弊社ホームページをご覧ください。（http://www.victor.co.jp/）

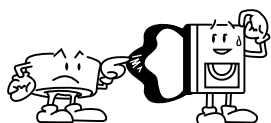
Mini DVテープについて

きれいな画面でご覧いただくために（クリーニングテープ）

● 本機にはオートヘッドクリーニング機構が付いていますが、長い間ご使用になるうちに下記のような症状になったときは、別売の「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。

■ ヘッドの汚れの原因

● 高温·多湿（梅雨時期など） ● 空気中のほこり

● テープの傷、汚れ ● 長時間の使用など
● カビの生えたテープ

■ こんな症状になったら

● テープを再生すると、映像がモザイク画（ブロック状）のノイズになる
● テープを再生すると、映像に黒色やモザイク画の横縞がでる
● 画面に「クリーニングテープをおためしください」と表示される。また、このとき本体表示窓に「U01」が表示される。（画面表示は、設定メニューの「オンスクリーン」（☞**P72**）が「切」に設定されていると表示されません）

こんなときは

● ミニDVヘッドクリーナーCL-DVCA（別売）を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。
  • 長時間くり返し再生しないでください。（ヘッドが消耗します）
  • くわしくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。

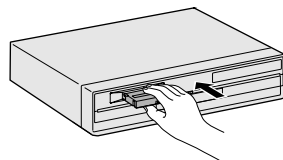
Mini DVテープは

● 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。
● Mini DVテープは、裏返しでは使えません。
● Mini DVテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
● テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
● 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

■ 誤消去を防止するために

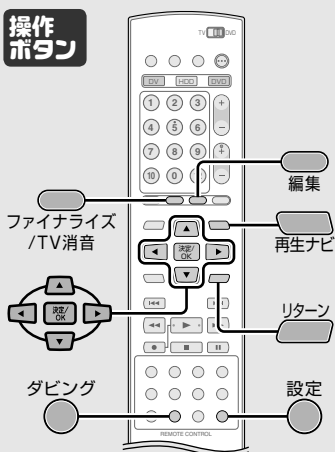
大切な記録を誤って消したくないときは、テープの誤消去防止用つまみを「SAVE」側にしてください。

Mini DVテープの入れかた

テープの出し入れ口に手を入れないでください。手をはさまれて、ケガの原因になることがあります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押して入れます。

本書の見かた

操作できるメディアを強調して表示しています。

HDD ：ハードディスク
DVD ：各種DVD
DV ：Mini DVテープ
V-CD ：ビデオCD/スーパービデオCD
CD ：音楽CD
JPEG ：JPEG（静止画）ファイルのディスク
MP3 ：MP3（音声）/WMA（音声）ファイルのディスク

操作に使用するボタンの位置を表示しています。

この取扱説明書について

■本文中では、おもにリモコンのボタンを使った操作方法で説明しています。

- リモコンのボタンは、[**ボタン名**]と表現しています。
- メニューの選択項目は、「**選択項目**」と表現しています。

■本文中にある補足説明について。

メモ ： 機能や使用上の制限などを説明しています。

ワンポイント ： 是非、知って欲しい情報を示しています。

ご注意 ： 操作上の注意などを説明しています。

☞P80 ： 関連するページを示しています。

メニュー操作について

■以下のリモコンボタンを押すと、それぞれのメニュー画面が表示されます。

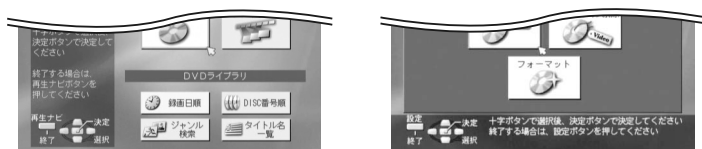
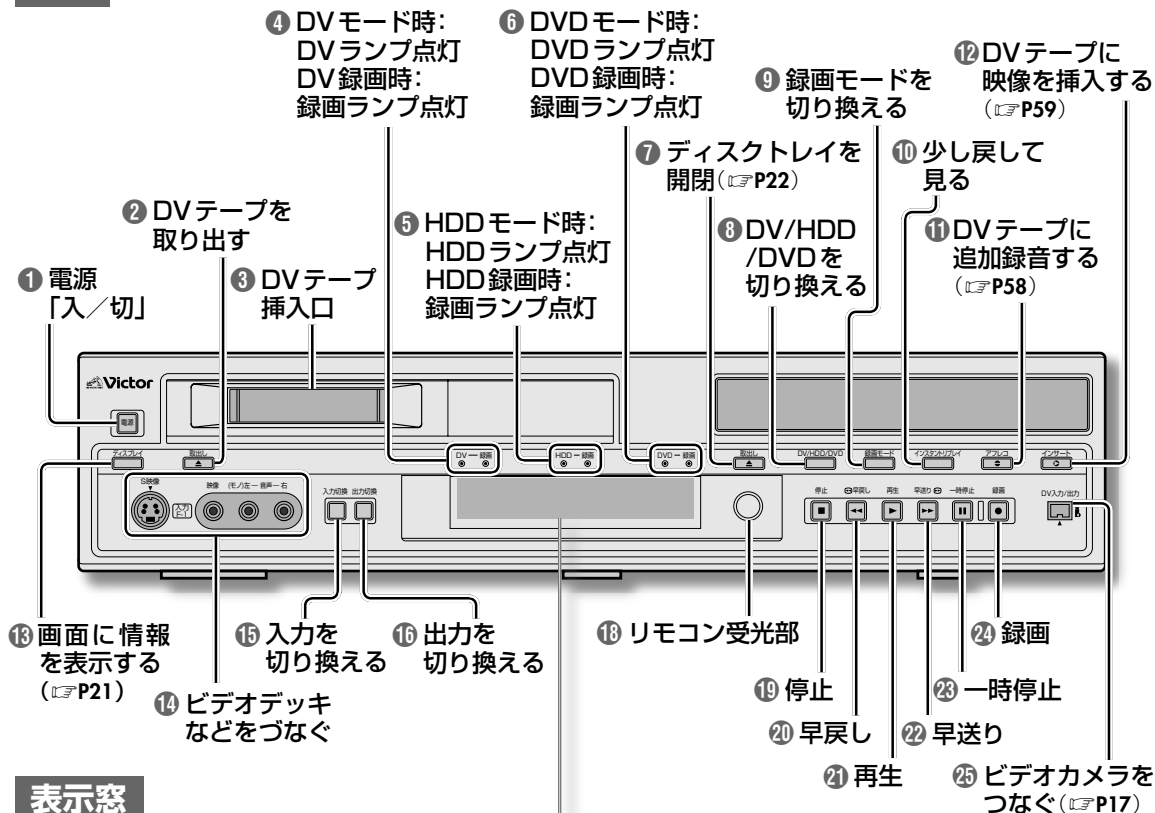
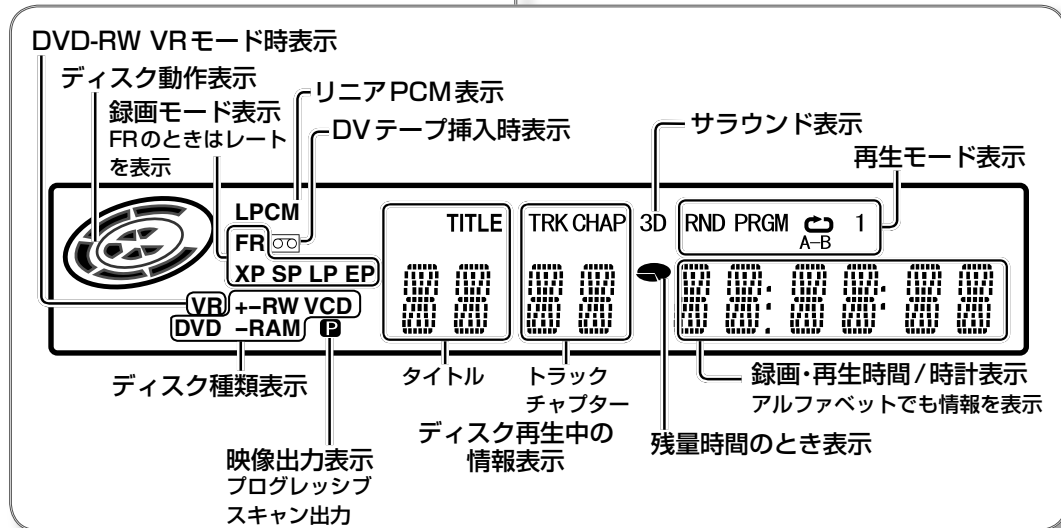
[設定]、[再生ナビ]、[編集]、[ダビング]、[ファイナライズ]

■リモコンの[十字(▲/▼/◀/▶)]ボタンで選択して、[決定/OK]ボタンで決定します。

左記の操作を、**選びます**と表現しています。

- [十字(▲/▼/◀/▶)]ボタンどれかを押すと、選択項目（小さな矢印が付いている薄緑色の項目）に移動します。
- [決定/OK]ボタンを押して決定します。
- [リターン]ボタンを押すと、一つ前の設定画面または受信画面に戻ります。

画面イラストは、選択する項目がわかるように、浮きだたせて表現しています。

■ほとんどの場合、メニュー画面左端または下端に簡単な操作方法が表示されています。

■各項目を確認して、もう一度はじめに押したボタンを押すと外部入力画面に戻ります。

各部のはたらき

● 表示窓の明るさは、設定できます。設定メニューの「ディマー（電源ON時）」（☞P72 - 24）

いくつかの操作で、英語のメッセージを表示します

例 電源プラグを差し込んだとき：**PLEASE** と **WAIT** を交互に表示
他に、ディスク挿入時：READING 、再生ナビ時：NAVIGATION などがあります。

背面

❶ 電源コード
❷ テレビのコンポーネント映像入力端子とつなぐ (HDD/DVD専用) (☞P15)
❸ パソコンとつなぐ
❹ テレビや他のAV機器とつなぐ (HDD/DVD専用)
❺ テレビのS映像または映像入力端子とつなぐ (DV/HDD/DVD共用) (☞P15)
❻ 冷却ファン
❼ オーディオアンプとつなぐ (☞P16)
❽ テレビや他のAV機器とつなぐ (DV/HDD/DVD共用)
❾ ビデオデッキなどの出力端子とつなぐ (☞P17)
❿ ワイヤードリモコンとつなぐ (☞P16)
HDD/DVD専用
コンポーネント映像出力
SERIAL COM.
デジタル音声出力
PCM/ストリーム
同軸
光
DV/HDD/DVD共用
出力
映像
リモート入力

各部のはたらき（つづき）

リモコン

ご注意

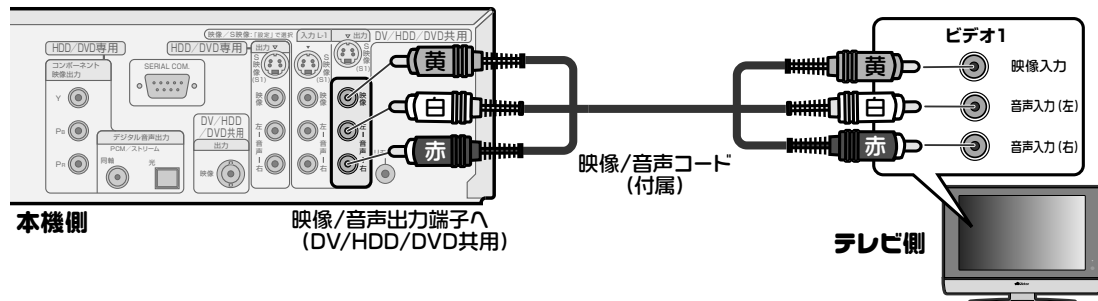
乾電池について

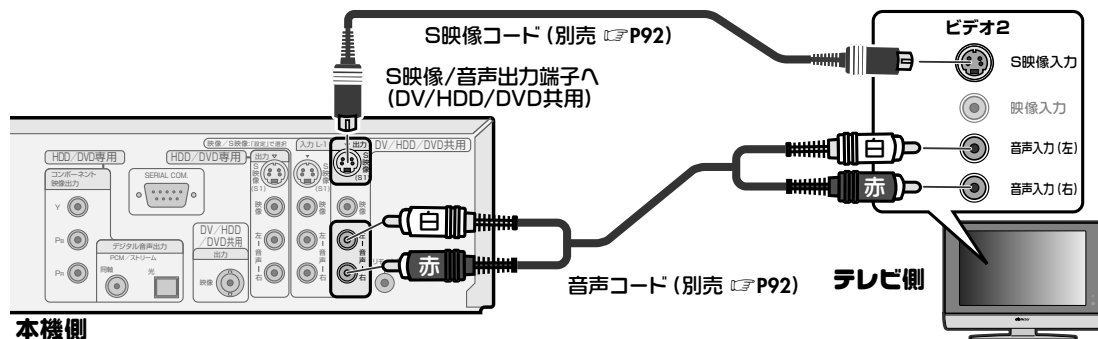
- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池を入れるときは、⊖側から入れてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5分ぐらいたってからもう一度乾電池を入れて操作してください。

テレビをつなぐ

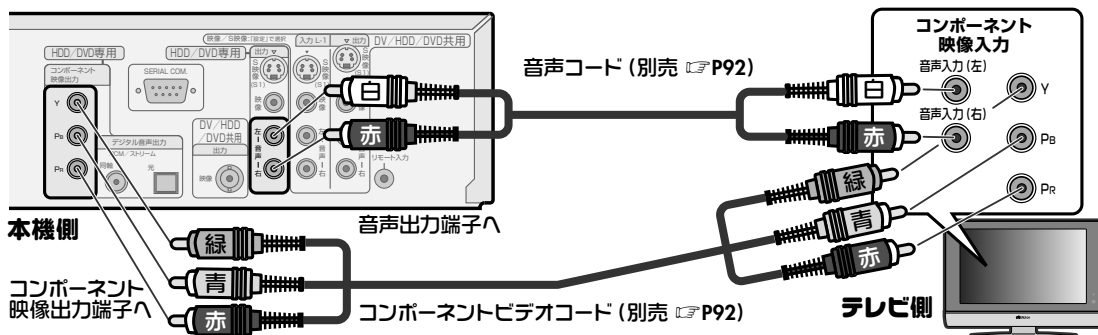
つなぎかたは３種類あります。ご使用のテレビの端子を確認して以下からつなぎかたを選んでください。

映像/音声入力端子付きテレビをつなぐ ❶

本機の出力端子とテレビの入力端子を付属の映像/音声コードでつなぎます。

S映像入力端子付きテレビをつなぐ ❷

別売のS映像コードでつなぐと、映像コードでつないだときよりもきれいな映像で見ることができます。

● この接続で、映像をご覧になるときは →テレビの入力を「ビデオ２」に切り換えます。

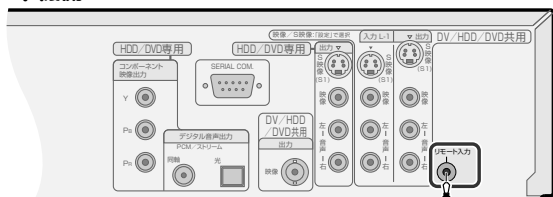
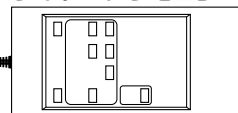
コンポーネント映像入力端子付きテレビをつなぐ ❸

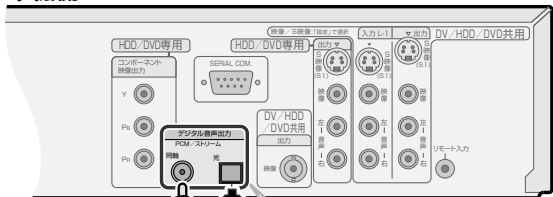
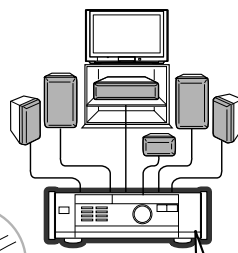
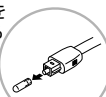
別売のコンポーネントビデオコードでつなぐと、S映像コードでつないだときよりも、よりきれいな映像で見ることができます。

● この接続で、HDD/DVD側をご覧になるときは→テレビの入力を「コンポーネント入力」に切り換えます。

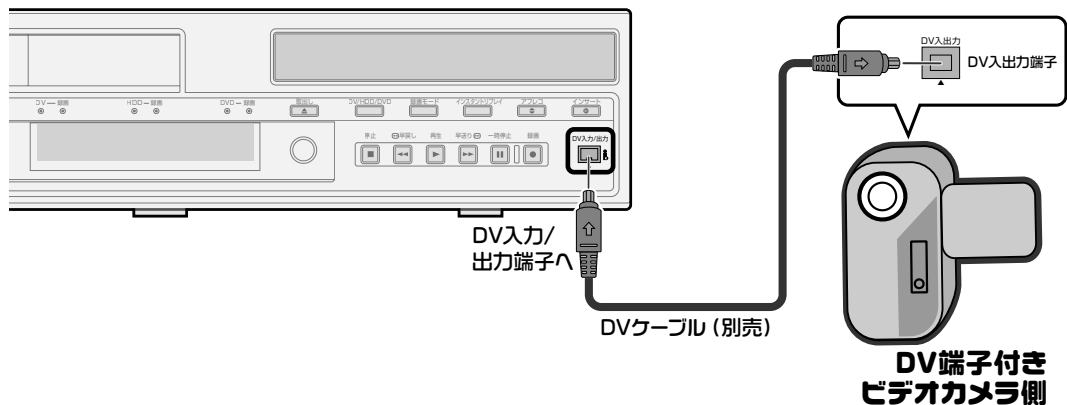
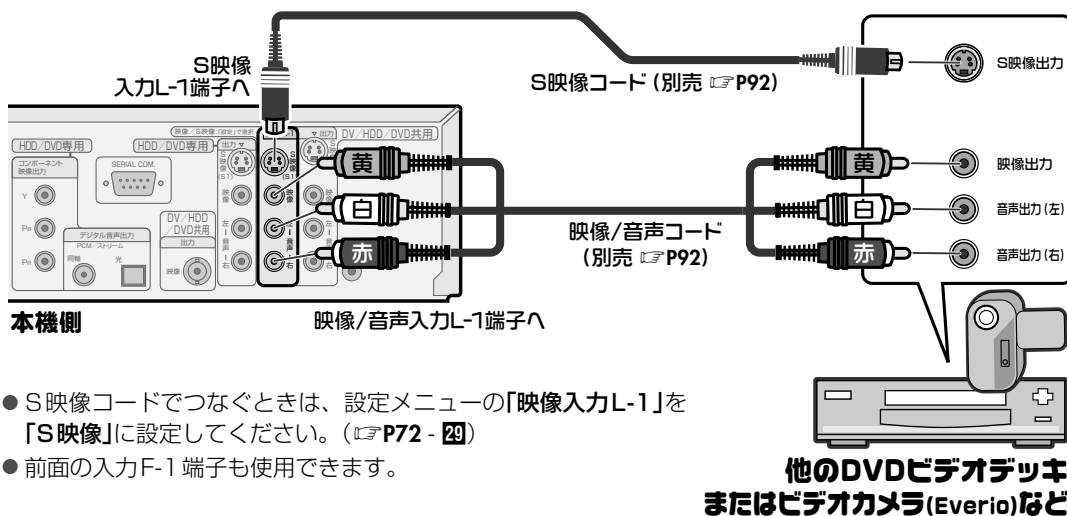
● DV側をご覧になるときは（①または②の接続をしておきます）→テレビの入力を「ビデオ１」または「ビデオ２」に切り換えます。

ワイヤードリモコン・アンプをつなぐ

ワイヤードリモコンをつなぐ

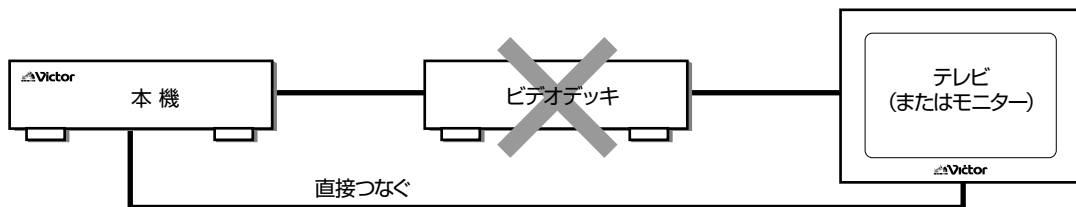
リモートコントローラーなどを作成することにより、ワイヤードで安定した外部操作ができます。
リモートデーター覧表については、78ページをご覧ください。

オーディオアンプをつなぐ

光デジタルケーブル(別売)でつなぎます。

ビデオカメラ・ビデオデッキなどをつなぐ

ビデオカメラをつなぐ（DV端子でダビングする）

ビデオデッキなどをつなぐ（本機で録画）

- S映像コードでつなぐときは、設定メニューの「**映像入力L-1**」を「**S映像**」に設定してください。（☞**P72** - **29**）
- 前面の入力F-1端子も使用できます。

メモ
- 本機で再生するタイトルを外部機器（ビデオデッキなど）に録画する場合は、本機の出力端子と外部機器の入力端子をつないでください。

テレビをつなぐときのご注意

- 本機の映像出力は、直接テレビ（またはモニター）とつないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、コピー防止機能の働きにより再生中に映像が乱れることがあります。

- 上の図で、テレビに直接つないだビデオデッキは正常に再生されます。
  上の図と逆に、ビデオデッキ、本機、テレビとつないだときは、ビデオデッキ側の再生映像が乱れることがあります。

設定の手順

本機を正しくお使いいただくため、次の手順で初期設定をしてください。

テレビやその他の機器とつないだら…

1 テレビの電源を入れます

2 テレビ側で本機とつないだ入力(ビデオ 1、入力 1 など)に切り換えます

3 本機の電源プラグをコンセントに差し込みます

- 本体表示窓に「PLEASE」と「WAIT」の文字が交互に点滅して、動作の準備をします。（およそ40秒ほどかかります）

4 「PLEASE」と「WAIT」の文字が消えたら、リモコンまたは本体の[電源]ボタンを押してください

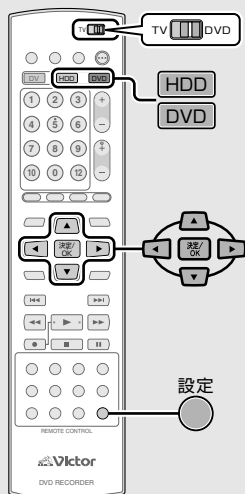
- 本体表示窓に「HELLO」と表示されます。

5 時計合わせをします（☞P19）

6 テレビの画面サイズを設定します（☞P20）

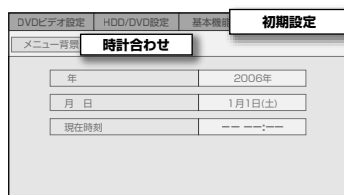
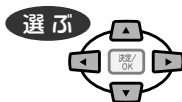
準備完了です!!

時計合わせをする

操作ボタン

正しい年・月日・時刻を合わせます。

準備
● リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。
● [HDD]ボタンまたは[DVD]ボタンを押します。

1 設定メニュー画面を表示させます

2 「初期設定」→「時計合わせ」を選びます

3 「年」、「月日」、「現在時刻」を合わせます

❶「年」を選びます

❷ 今年の数字を選びます

❸「月日」「現在時刻」も同様に合わせます

❹ 確認画面が表示されたら、「実行」を選びます

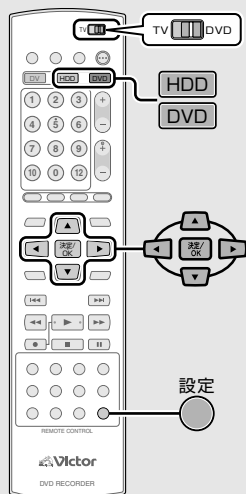
4 時計合わせを終了します

[十字(▲/▼)]ボタンを押し続けると

日付: 15日単位
時刻: 30分単位
　　　　　で変化します。

● 設定の途中で約1分間何も操作しないと、設定画面が消えます。もう一度、始めから操作してください。

テレビの画面サイズを設定する

操作ボタン

接続しているテレビなどの形状に合わせて設定します。

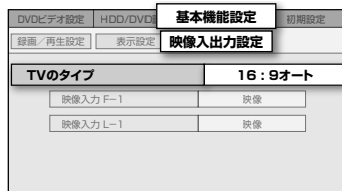
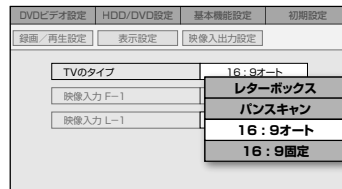
準備
- リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。
- [HDD]ボタンまたは[DVD]ボタンを押します。

1 設定メニュー画面を表示させます

2 「基本機能設定」→「映像入出力設定」→「TVのタイプ」を選びます

DVDビデオ設定 | HDD/DVD設定 | 基本機能設定 | 初期設定
録画／再生設定 | 表示設定 | 映像入出力設定
TVのタイプ 16：9オート
映像入力 F−1 映像
映像入力 L−1 映像

3 お使いのテレビのタイプを選びます

DVDビデオ設定 | HDD/DVD設定 | 基本機能設定 | 初期設定
録画／再生設定 | 表示設定 | 映像入出力設定
TVのタイプ 16：9オート
映像入力 F−1
映像入力 L−1
レターボックス
パンスキャン
16：9オート
16：9固定

4 設定を終了します

TVのタイプ

■ レターボックス
画面縦横比が4:3のテレビをお使いの場合に設定します。16:9のワイド映像を表示するときは、上下に黒帯を入れて全画面を表示します。

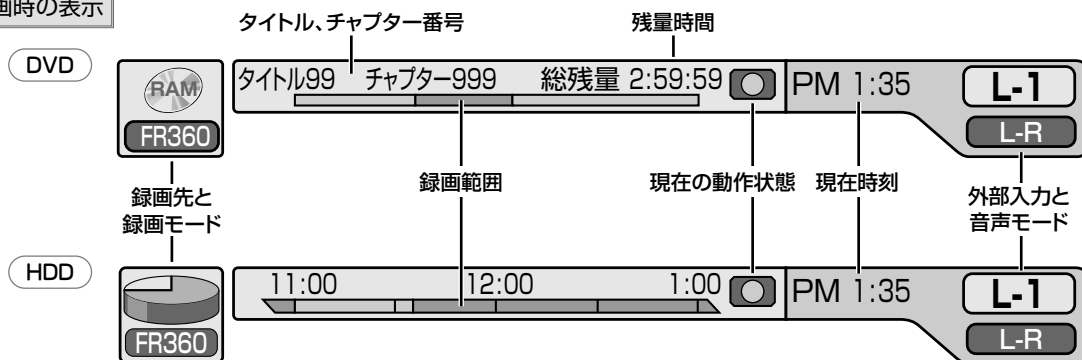
■ パンスキャン
画面縦横比が4:3のテレビをお使いの場合に設定します。ワイド映像を表示するときは、ワイド映像の左右をカットして表示します。

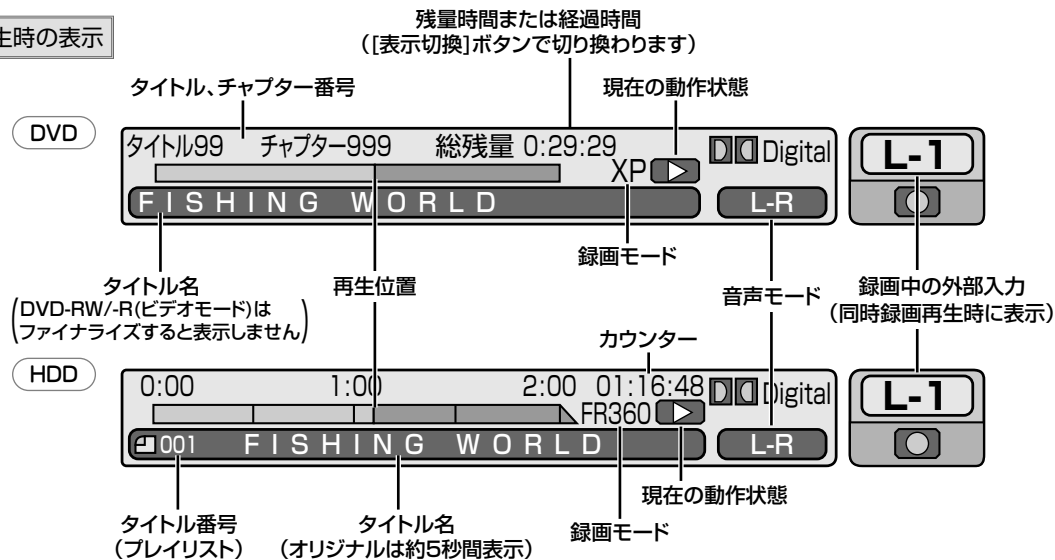
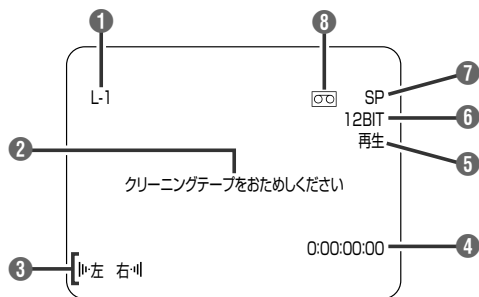
■ 16:9オート
画面縦横比が16:9のワイドテレビをお使いの場合に設定します。4:3の映像のときは、テレビ側で調整されます。

■ 16:9固定
画面縦横比が16:9のワイドテレビをお使いの場合に設定します。4:3の映像のときは、本機側で調整します。

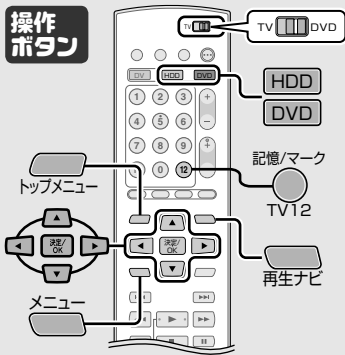
画面表示について

画面表示(オンスクリーン)

[画面表示]ボタンを押すとテレビ画面に表示します。(設定メニューの「オンスクリーン」を「入」または「オート」にします。(☞P72 - 23))

録画時の表示

再生時の表示

DV側の表示

❶ 外部入力名
❷ エラーメッセージ
❸ 音声出力
❹ タイムコード/残量/日時
❺ テープ状態
❻ 音声モード
❼ 録画モード
❽ カセットの有無

- 同時にすべて表示されることはありません。
- テープの走行時間、残量、外部入力名、時計や録画モードなどが本体表示でわかりにくいときは、テレビ画面表示をご使用になることをおすすめします。

HDD/DVDを再生する(再生ナビ)

メモ

● DVDの場合、ディスク認識に少し時間がかかります。

手順 3 の画面について

● サムネイルの並びは録画日時順になります。
● 一度も見ていないタイトルは、サムネイル上に「NEW」マークを表示します。

好きな順番でタイトルを見るには(プログラム再生)

①手順 3 で[記憶/マーク]ボタンを押します
- サムネイル上に再生順の番号が表示されます。
- 記憶を取り消すには、もう一度**[記憶/マーク]**ボタンを押します。
- 8つのタイトルまで選べます。

②[決定/OK]ボタンを押して再生します
- 途中でやめるには、**[停止/クリア]**ボタンを押します。(順番もクリアされます)

● **「つづきから再生」**を選ぶと、以前の停止した位置から再生します。
● くり返し再生したいときは、**「くり返し再生」**を選びます。
● DVDを再生した場合、設定メニューの**「タイトル連続再生」**が**「入」**のときは、録画されている最後のタイトルまで再生します。**「切」**のときは、選んだタイトルだけ再生します。(☞**P70 - 11**)

再生ナビを使って、HDDおよびDVDに録画したタイトルを再生します。
ファイナライズしたDVD-RW/-R(ビデオモード)は再生ナビが使えません。
[トップメニュー]または[メニュー]ボタンを押して再生してください。

準備 ● リモコンの切換スイッチを**[DVD]**側にします。

1 再生先を選びます

● HDD側を選んだときは、**手順 2** へ進みます。

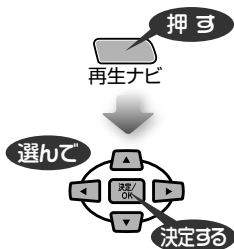
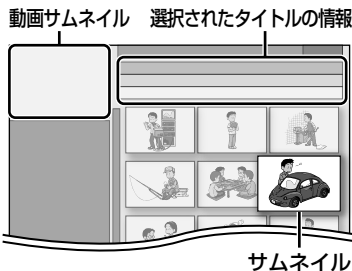
DVD側を選んだときは

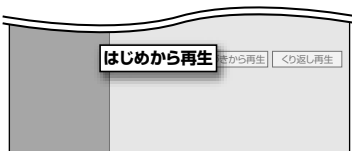
❶ **本体の[取出し]ボタンを押します**

❷ **再生するディスクを入れます**

❸ **[取出し]ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます**

2 再生ナビを表示させ、「オリジナル」を選びます

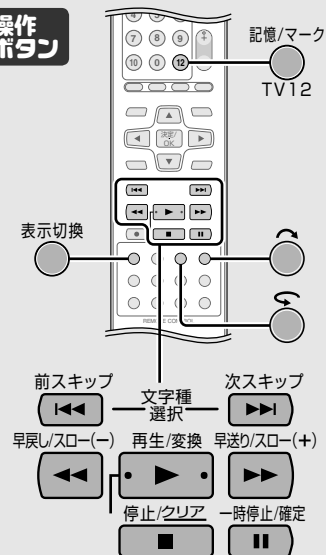
(画面例はDVD側の場合)

3 サムネイルから見たいタイトルを選びます

● **[トップメニュー]**および**[メニュー]**ボタンで、ページ送りができます。

4 「はじめから再生」を選びます

● 再生が始まります。

再生中は、次の操作ボタンが使えます。

ボタン	操作	説明
再生/変換	再　生	● 一時停止中や、スピード再生中に押すと、通常再生になります。
停止/クリア	停　止	● 再生を停止します。 ● 停止位置を記憶します。[再生]ボタンを押すと、停止した位置から再生します。 • リジューム停止中は、本体表示窓のディスクアイコンが点滅します。(リジューム ☞P70 - 08)
一時停止/確定	一時停止	● 再生を中断して静止画像を表示します。
早戻し/スロー(−) 早送り/スロー(+)	早戻し・早送り	● 再生中に操作 HDD側 • 押すごとに、サーチ1〜サーチ5の順に切り換わります。 • 早送り1回押しは、音声付き1.5倍速再生です。 • 早戻し1回押しは、逆転再生です。 DVD側 • 押すごとに、サーチ1〜サーチ4の順に切り換わります。 • 早戻し1回押しは、逆転再生です。
	コマ送り/スロー再生	● 一時停止中に操作 • 押すごとに1コマずつ前後します。(コマ送り再生) • 2秒以上押し続けると、スロー再生になります。押すごとに、1/16、1/4、1/2倍速の順に3段階の速度で再生します。
前スキップ 次スキップ	スキップ	● チャプターの位置(マーク)に移動します。(チャプター ☞P49) ● 再生中のマーク追加は、下記の[マーク]ボタンでできます。
	ジャンプ	● 設定された時間、再生位置を移動します。(設定メニューの「ジャンプ時間」 ☞P71 - 22) ※チャプター(マーク)が設定されていない場合に働きます。
	CM スキップ	● 約30秒、再生位置を先に移動します。 続けて押すと、押した回数分移動します。
	チョット見バック	● 約7秒、再生位置を前に移動します。 続けて押すと、押した回数分移動します。
記憶/マーク TV12	マーク	● スキップ位置を決めるマークを設定します。 • マーク追加: 再生中に好きな位置で押します。(画面表示: MARK) • マーク削除: 一時停止中にスキップで削除するマークに移動して、押します。(画面表示: MARK)

● [表示切換] ボタンで、各タイトルの経過時間表示/ディスク残量時間表示/タイトルの残量時間表示の切り換えができます。

操作ボタン

マークについて

■ HDD、DVD-RAM、DVD-RW/-R(VRモード)のとき
- 再生中にマークの設定、削除ができます。
- 編集画面の「チャプター」でも付けられます。(☞P49)
- 外部入力(L-1、F-1)から録画したときは、マークは付きません。

■ DVD-RW/-R(ビデオモード)のとき
- 外部入力(L-1、F-1)から録画したときは、約5分ごとに自動で付きます。

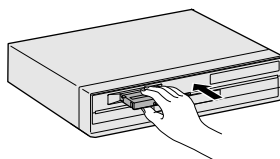
● ファイナライズしてもマークはそのまま残ります。(他のDVDプレーヤーで見る ☞P42)

Mini DVテープを再生する

操作ボタン

Mini DVテープに録画したタイトルを再生します。

1 再生先を選びます

2 テープを入れます

● テープの見える面を上にし、中央部をゆっくりと押します。

3 再生します

4 再生を停止します

メモ

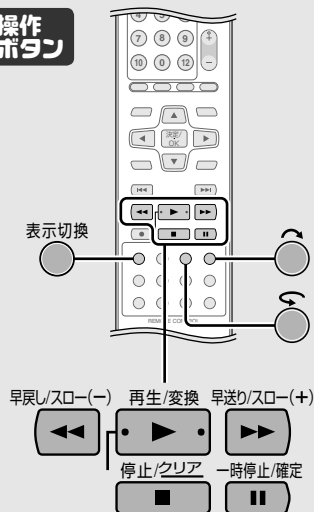
- DVCAM (業務用DV方式)も再生できます。
- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- **[再生]**などの操作ボタンを押したとき、再生映像が表示されるまで、多少時間がかかる場合がありますが故障ではありません。
- 一時停止が3分以上、またはスロー再生が10分以上続くと、自動的に停止します。

テープを取り出すには

- 本体の**[取出し]**ボタンを押します。

再生中は、次の操作ボタンが使えます。

ボタン	操作	説明
再生/変換 ▶	再　生	● 一時停止中や、スピード再生中に押すと、通常再生になります。
一時停止/確定 ❚❚	一時停止	● 再生を中断して静止画像を表示します。
	コマ送り／スロー再生	● 一時停止中に操作 • 押すごとに１コマずつ前後します。（コマ送り再生） • ２秒以上押し続けると、スロー再生（1/5倍速）になります。 • コマ送り再生やスロー再生中に**[早送り／早戻し]**ボタンを押すと、再生方向が切り換わります。
早戻し/スロー(－) ◀◀ 早送り/スロー(＋) ▶▶	早戻し・早送り	● 再生中に操作 • 押すごとに、サーチスピードが2、4、10倍の順に切り換わります。 • 早戻し１回押しは、逆転再生です。 ● 停止中に操作 • 早送り、巻き戻しをします。
（CMスキップボタン）	CM スキップ	● 約30秒、再生位置を先に移動します。続けて押すと、押した回数分移動します。
（チョット見バックボタン）	チョット見バック	● 約７秒、再生位置を前に移動します。

● [**表示切換**] ボタンで、各タイトルの経過時間表示／テープ残量時間表示／タイトルの残量時間表示の切り換えができます。

● 早送り／巻戻しを止めるには、**[停止/クリア]**ボタンを押します。

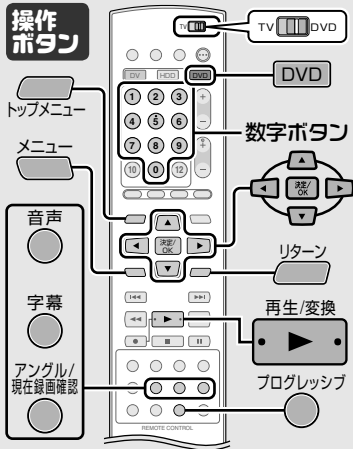
● 早送り／巻戻しをしたときは、テープ保護のため**[停止/クリア]**ボタンを押してからテープが止まるまで時間がかかります。

テープを巻戻してから再生する

テープを巻き戻して巻戻しが完了したら、自動再生します。

テープを巻戻してからカセットを取り出す

テープを巻き戻して巻戻しが完了したら、自動でカセットを取り出します。

再生する(つづき)
DVDビデオなどを見る

- 再生中の操作については、**HDD/DVDを再生する**の再生中の操作ボタンをご覧ください。(☞**P23**)
- 再生設定については、**再生設定メニューで操作する** へ(☞**P61**)
- メニューの選択などディスクの再生方法については、ご使用になるディスクの取扱説明書でご確認ください。

- HDD側またはDVD側でダビング(録画)中は、プログレッシブスキャンの切り換えはできません。停止、再生中に切り換えができます。
- プログレッシブスキャン中のモードは**再生設定メニューで操作する**で選べます。**「プログレッシブモードの設定」**(☞**P63**)
- コンポーネント端子を通してご覧にならないときは、プログレッシブスキャンを解除してください。

- 市販のDVDビデオを再生できます。
- プログレッシブスキャン信号を出力することで、映画などを高画質で見ることができます。
- 再生時の音声、字幕言語とアングル(カメラ)などを設定できます。

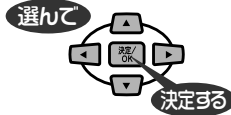
準備 ● リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。

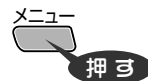
DVDビデオを見る

1 DVDを選び、ディスクを入れます

2 再生します

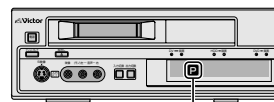
- 再生が始まるか、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されたらメニュー項目を選びます。

再生中にメニュー画面を表示するには、[トップメニュー]または[メニュー]ボタンを押します。

または

高画質で見る(プログレッシブスキャン出力)

プログレッシブスキャン対応のテレビにコンポーネントビデオコードで接続されているときに使用してください。(☞**P15**)

準備 ● [HDD]ボタンまたは[DVD]ボタンを押します。

プログレッシブスキャンで出力します

Pマーク点灯

プログレッシブスキャンを解除するには

Pマーク消灯

音声、字幕、アングルを選んで見る

音声の言語を選びます (DVD-VIDEO、V-CD)

字幕の言語を選びます (DVD-VIDEO)

映像のアングル(カメラ)を選びます (DVD-VIDEO)

ワンポイント ビデオCDを見る（PBC機能）

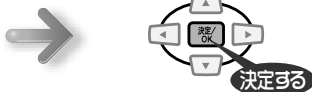
PBC（プレイバックコントロール）機能付きのビデオCDを再生します。

準備 ● リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。

❶DVDを選び、ディスクを入れます

❷メニュー画面を表示します

❸再生します

● 見たいタイトルを選んで、決定します

● 再生中にメニュー画面を表示するには[**リターン**]ボタンを押します。

- ビデオCDの場合は、音声ファイルが切り換わります。
- ディスクによっては、[**字幕**]（または[**音声**]）ボタンを押しても、字幕または音声言語が切り換わらないことがあります。このようなときは、ディスクメニューで切り換えてください。

⃠マークが表示されたら

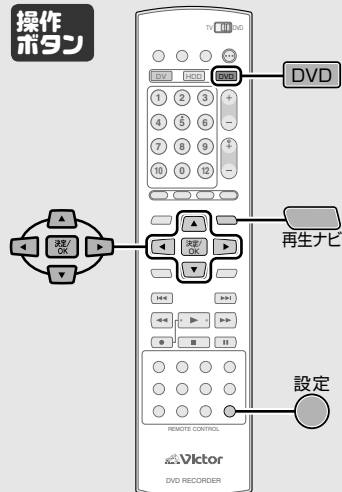
- その機能にディスクが対応していないか、設定変更が禁止されています。

- ディスクを入れると自動で再生を始める場合もあります。この場合、[**リターン**]ボタンを押してください。
- メニュー画面に、「**前**」/「**次**」が表示されているとき、[**|◀◀/▶▶|**]ボタンを押してページ移動ができます。
- [**再生**]ボタンを押すことでも、項目を選べます。
- 再生が始まると、本体表示窓に「**PBC**」と表示されます。

PBC機能を働かせないで再生するには

- 停止中に[**数字**]ボタンを押して、再生したいトラックを選び、[**決定/OK**]ボタンを押します。

MP3&WMA（音声）・JPEG（静止画）ファイルを再生する

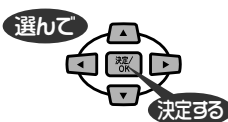
操作ボタン

- 再生できるファイル形式については、**ディスクについて** へ（☞**P8**）
- 選択されたファイルから、最後のファイルまで再生します。
- MP3、WMAのファイルはトラックになります。画面左上に再生中のトラック／総トラック数を表示します。
- ファイル名に半角カタカナが使われている場合、正しく表示されないことがあります。
- JPEGファイルのスライドショーの表示時間の設定は、**再生設定メニューで操作する「JPEGスライドショーの表示時間」** へ（☞**P63**）
- JPEGファイルの解像度は「640×480」をおすすめします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。
- テレビとパソコンでは画像の縦横比が違って見えることがあります。

CD-Rなどに記録されたMP3、WMAの音楽ファイルの再生や、JPEGの静止画をスライドショーとして再生できます。

準備　● [DVD]ボタンを押してDVDランプを点灯させます。

１枚のディスクにMP3（WMA含む）、JPEGの両ファイルが含まれる場合、再生するファイルを設定します。

❶ 設定メニュー画面を表示させます

❷「HDD/DVD設定」→「DVD設定」→「MP3&WMA/JPEG」を選びます

❸「MP3&WMA」または「JPEG」を選び、決定します

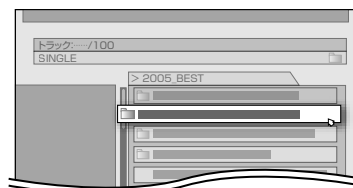
❹ [設定]ボタンを押して、終了します

1 ディスクを入れます

2 再生します

❶ 再生ナビ画面を表示させます

❷「オリジナル」を選びます

❸ ファイルを選んで再生します

- MP3のファイルでフォルダの場合は、同一フォルダ内でのみ連続再生します。

ダビングについて

本機１台でHDD、DVDおよびDVテープ間での双方向ダビングができます。（6WAYダビング）
また、外部ビデオカメラのDVテープから、HDDまたはDVDにダビングできます。
次ページの内容も参考にしてご利用ください。

HDD（ハードディスク）からDVDへは３通り

高速ダビング…P32

あっという間に高速ダビング!

DVD-RAM ：最大3倍速
DVD-RW ：最大4倍速
DVD-R ：最大8倍速

たとえば･･･
2時間のタイトルを64倍速でDVD-Rに高速ダビングすると

*FR480モード、8×高速対応DVD-R 使用時

ぴったりダビング..P32

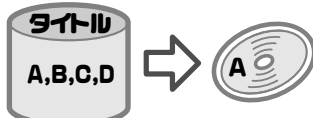
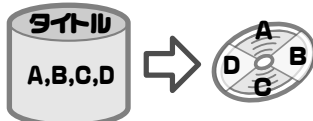
１枚のDVD全体または、空き容量に合わせてぴったりにダビング!

たとえば･･･
あと20分しか残量がないDVDへ

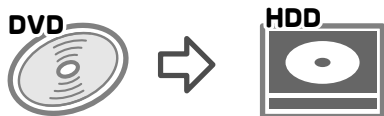
30分のタイトルを20分の未録画部分にぴったりに録画できます!

お好みダビング..P32

録画モードを自分で設定してダビング!

画質を優先したい!

1枚にたくさん入れたい!

その他いろいろ選べるダビング方法

DVDからHDDへダビング…P32

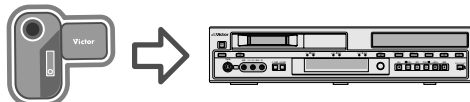
DVDからタイトルをコピーできます。

DVからHDD、DVDへダビング…P34

DVテープからHDDまたはDVDに「まるごと」または「マニュアル」でダビングできます。

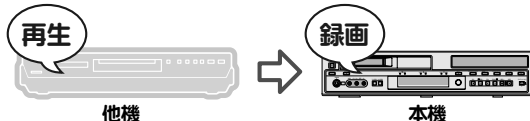
HDD、DVDからDVへダビング…P36

HDDまたはDVDから、DVテープにダビングできます。

DVカメラからHDD、DVDへダビング…P38

DVケーブル１本でビデオカメラと簡単接続!
オリジナルDVDがつくれます。

ビデオデッキからダビング…P40

外部デッキと接続して本機で録画します。

はじめに・準備
再生する
ダビング・編集
知っていると便利
RS-232C
困ったときは・付録

ダビングについて（つづき）

ダビング元	ダビング先	種類	1度にダビングできるタイトル数	＊1 録画情報のコピー	コピーワンスのタイトルのダビング	＊2 プレイリストのダビング	＊4 インテリジェント2パスエンコード	＊5 オートファイナライズ	＊6 オートブランクカットダビング
HDD	➡DVD	高速	8	○	○	○＊3	−	○	−
		ぴったり	8	○	○	○	○	○	−
		お好み	8	○	○	○	○	○	−
	➡DV	−	8	−	−	○	−	−	−
DVD	➡HDD	−	8	○	−	−	−	−	−
	➡DV	−	8	−	−	−	−	−	−
DV	➡HDD/DVD	まるごと	すべて	−	−	−	−	○（DVDのみ）	○
		マニュアル	すべて	−	−	−	−	○（DVDのみ）	○
ビデオカメラ DV	➡HDD/DVD	−	すべて	−	−	−	−	−	○

＊1 **録画情報**　：サムネイル、録画日時、チャンネル、チャプター

＊2 **プレイリスト**：録画したタイトルから必要な部分だけが見られるデータです。

- プレイリストは1つのタイトルとしてダビングされます。
- 1回のみ録画できる映像（コピーワンスのタイトル）を含んだプレイリストはダビングできません。

＊3 HDDからDVD-RW/-R（ビデオモード）への高速ダビングのときは、プレイリストはダビングできません。

＊4 **インテリジェント2パスエンコードとは**
全体のビットレートを最適化して記録します。動きの激しいシーンはより高いビットレートで、動きの少ないシーンは低いビットレートで記録することにより、高画質化を実現しています。

＊5 **オートファイナライズとは**
ダビング終了後に自動的にファイナライズを行う機能です。ファイナライズを行うと、タイトルメニューと背景画付きのDVDビデオが作成できます。

- 背景画像はダビングを行う前に、設定メニューで設定してください。（☞**P45**）
- お好みの背景画像･文字色ファイルを上書き登録して、使用することもできます。（☞**P44**）
- 機器に入れたときの初期動作を設定できます。設定メニューの「**ファイナライズモード**」をご覧ください。（☞**P42**）

＊6 **オートブランクカットダビングとは**
DVテープからダビングするとき、DV側で2秒以上の録画していない部分があると、HDD/DVD側は一時停止状態になり、再度録画部分になるとダビングを開始します。無駄な録画を防ぎます。

1回（1世代）のみ録画できる映像について（コピーワンス）

デジタル放送には、著作権保護のためデジタル機器での録画は1世代のみしか許可されていないタイトルがあります。このようなタイトルをDVDに録画するには、CPRM対応のディスクをお使いください。

CPRM：CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは「BSデジタル放送」や「地上デジタル放送などの著作権保護された「1回だけ録画可能」なタイトルの録画を可能にする技術です。

- DVDに録画する場合は、CPRM 対応のDVD-RAMまたはDVD-RW/-R（VRモード）を使用してください。初期化が必要な場合があります。（☞**P41**）
- HDDからDVDへのダビングは、データの移動（ムーブ）となり元のデータは消去され、移動したデータはコピー禁止タイトルになります。ダビングを中断した場合は移動しません。
- コピーワンスのタイトルを含んだプレイリストのダビングはできません。

録画モードについて

録画モードとは、映像を記録するときに圧縮処理するレベル設定です。映像の画質と記録時間が関連しています。

録画モードによる録画可能時間

（数字は目安です）　● 録画可能時間が短いほど、高画質になります。

録画モード	Mini DV (M-DV80D)	DVD (片面ディスク)	HDD(一時録画設定別)(250GB)			
			切	30分	1時間	3時間
DV	–	–	18時間	18時間	18時間	18時間
XP	–	1時間	53時間	52時間	51時間	50時間
SP	80分	2時間	109時間	108時間	107時間	104時間
LP	2時間	4時間	218時間	216時間	214時間	207時間
EP	–	6時間	328時間	325時間	323時間	312時間
FR480	–	8時間	473時間	469時間	465時間	449時間

- **DVモード**：HDD側録画のみ対応。DVカムコーダーと同じ形式で録画します。
- **XP/SPモード**：スポーツなど、動きの速い映像を録画するときにおすすめです。
- **LPモード**：ドラマなどの動きが遅く、あまり明暗のない映像を録画するときにおすすめです。
- **EP/FR480モード**：アニメのように輪郭がはっきりしている映像、録画可能時間(残量時間)に余裕がないときにおすすめです。

FR(フリーレート)モードについて

- FRモードの数字は、DVD1枚に録画可能な時間(分単位、 目安)を表しています。
- FR60～FR360は5分ごとに、以降はFR420とFR480に設定できます。おおよそ、FR60はXP、FR120はSP、FR240はLP、FR360はEPの画質と同等です。

録画モード／残量時間一覧表で設定

①[DVD]ボタンを押して、ディスクを入れます

②録画ボタンを押します

残	7:30	XP
残	10:00	SP
残	20:00	LP
残	28:00	EP
残	28:00 ◁	F R 360 ▷

③「FR***」に移動して、[◀/▶]ボタンでFRモードの数値を変えます

④残量時間を確認します

- 希望の録画時間を少し超える「FR***」にします。

⑤[決定/OK]ボタンを押します

- FR420、FR480モードで録画したディスクは、他機で再生できないことがあります。
- HDDもFRモードの設定ができます。

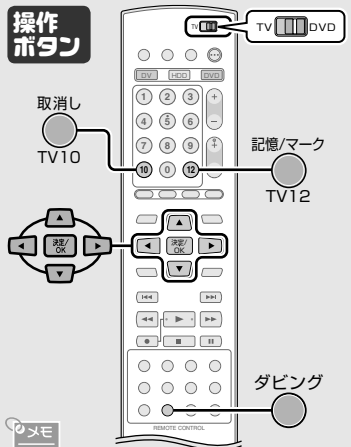
DVモードについて

■ **おもな特徴**

- XPモードよりも高画質です。
- DV端子を使ったDVカムコーダーからHDDへのダビングは、映像劣化がありません。
- DVモードで録画されたタイトルは
  - プレイリストを作成できます。（他の録画モードのタイトルとの作成はできません）
  - 編集で分割可能です。
- DVモードで録画されたタイトルを再生するときは、
  - 他のモードと同じ再生操作が可能です。ただし、音声付き1.5倍速はできません。
  - DV端子からも出力します。（チャンネルを「**DV**」にしたときのみ）

- コピーワンスのタイトルを再生したときは、DV端子から出力されません。
- DVD-RW/-R(ビデオモード)で、二重音声のタイトルを録画する場合、**音声について**(☞**P66**)をご覧ください。
- DV機器を接続するときは、本体のチャンネル設定を「**DV**」にしてください。
- DV機器への出力は、本体のチャンネル設定が「**DV**」のときのみです。
- DVモードでの録画中はHDD/DVDの再生、追っかけ再生、編集はできません。

HDDからDVDへ、DVDからHDDへダビングする

操作ボタン

- ダビング実行中に、DV側の操作ができます。録画するときは、映像が乱れることがあります。ただし、オートファイナライズ中は操作できません。

ご注意

高速ダビングについてのご注意

DVD-RW/-R(ビデオモード)への高速ダビングで、以下のタイトルは高速ダビングできません。通常速度でのダビングになります。

- 二重音声
- プレイリスト
- 分割、部分削除、さかのぼり録画したタイトル
- 録画モードがLP、FR155～FR240モードのタイトル

- DVモードで録画されたタイトルおよびプレイリストは、高速ダビングできません。
- 本機以外で録画したDVD-RW/-R(ビデオモード)をHDDにダビングするときは、ファイナライズが必要です。
- +R/+RWからのダビングはできません。
- DVDカムコーダーなどで録画したディスクからHDDへダビングする場合、静止画が混在しているタイトルは、ダビングできません。

- HDDからDVDへ、DVDからHDDへダビングできます。
- HDDからDVDへダビングする方法は3通りありますので、目的に合ったダビングができます。

準備 ● リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。

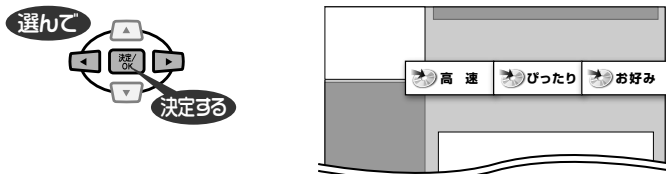
1 ディスクを入れます

- DVDへダビングするときは、録画するディスクを入れます。
- HDDへダビングするときは、再生するディスクを入れます。

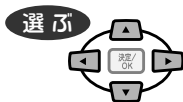
2 ダビング画面を表示させ、ダビング方向を選びます

- 「DVD→HDD」を選んだときは、手順 3 へ進みます。

「HDD→DVD」を選んだときは

ダビング方法を選びます

HDD(ハードディスク)からDVDへダビング	
高速	ダビング時間を大幅に短縮したいときに選びます。 DVD-RAM ：最大3倍速 DVD-RW ：最大4倍速 DVD-R ：最大8倍速 ※高速対応ディスクをお使いください。 ※ディスクによっては、表記された最高速度でのダビングができないときがあります。
ぴったり	1枚のDVD全部、または空き容量ぴったりにダビングするときに選びます。 ※残量時間に余裕があっても、SPからXPのように録画モードを上げてのダビングは行いません。
お好み	録画モードを設定してダビングするときに選びます。

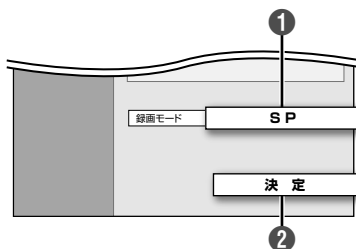
3 ダビングするタイトルを選びます

❶ タイトルを選びます

❷ 記憶します

● ❶·❷をくり返して、8つまで選べます。

❸ 決定します

4 録画モードを設定します（お好みダビング時のみ）

❶「録画モード」を選び、お好みのモードを選びます

❷「決定」を選びます

5

DVD-RAM、DVD-R/-RW（VR）の場合

「実行」を選びます

DVD-R/-RW（ビデオモード）の場合

「AUTO FINALIZE」または「実行」を選びます

● ダビング実行中の表示バーが表示されます。

■ ダビング実行中にダビングを中断するには

①[画面表示]ボタンを押して、ダビング実行中の表示バーを表示させます。

②[決定/OK]ボタン押して、「中止」·「取消し」の選択画面を表示させます。

③「中止」を選び、[決定/OK]ボタンを押します。

タイトル一覧画面（サムネイル）について

- 録画したタイトルおよびプレイリストとも、作成日時順に表示します。
- 編集（分割、部分削除、サムネイル変更）したHDD側のコピーワンスのタイトルは、「サムネイル未登録」と表示されます。（DVD側に移動したタイトルのサムネイルは表示されます）
- DVモードで録画されたタイトルと、他の録画モードのタイトルを同時に選択することはできません。
- [トップメニュー]および[メニュー]ボタンで、ページ送りができます。
- 記憶を取り消すには、記憶されているタイトルのところで[記憶]ボタンを押します。すべてのタイトルを取り消すには、[取消し]ボタンを押します。

情報表示	
高速	残量の%表示
ぴったり	選択したタイトルの合計時間
お好み	選択したタイトルの最高録画モード
その他	選択したタイトルの合計時間
時間バー表示色	
濃緑色	使用済み容量
黄色	選択したタイトルの容量
薄緑色	記憶したタイトルの合計容量
赤色	選択したタイトルがオーバー

- 録画モードの設定では、容量が足りなくなるモードは表示されません。
- 「AUTO FINALIZE（オートファイナライズ）」について（☞P30）
- ダビング実行中の表示バーは、約5秒間表示したあと消えます。[画面表示]ボタンを押すと表示されます。
- コピーワンスのタイトルについては☞P30をご覧ください。
- ダビングを中断したときは、記録日時やタイトル名が正常に記録されません。
- DVD-Rへのダビングを中断して、途中までダビングしたタイトルを削除しても、残量時間は増えません。

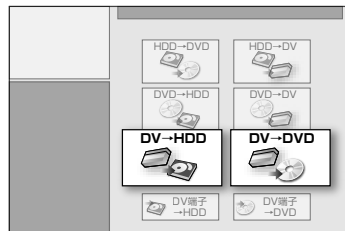
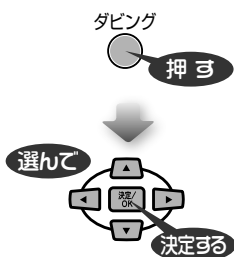
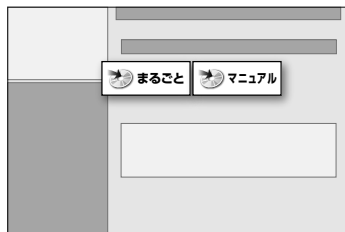
DVからHDD/DVDへダビングする

操作ボタン

- DVテープに録画されたすべてのタイトルを、HDDまたはDVDにダビングできます。（まるごとダビング）
- DVテープに録画されたタイトルから、好きなタイトルだけをHDDまたはDVDにダビングできます。（マニュアルダビング）

1 再生するテープを入れます

- DVDへダビングするときは、録画するディスクを入れます。

2 ダビング画面を表示させ、ダビング方向を選びます

3 「まるごと」または「マニュアル」を選びます

4 録画モード、記録音声を設定します

❶「録画モード」を選び、お好みのモードを選びます

❷「記録音声」を選び、お好みの音声を選びます

❸「決定」を選びます

- HDDまたはDVDの残量時間がなくなったときは、テープはその位置で自動停止して、ダビングを中断します。

記録音声について

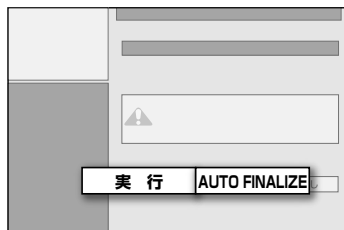
■ 音声1
DVテープに録画した音声を記録します。

■ 音声2
DVテープに追加録音したアフレコ音声を記録します。

■ ミックス
録画時の音声とアフレコ音声を記録します。

- HDDへのダビングにて「**DV**」モードを選んだときは、「**記録音声**」の設定は表示されません。

まるごとダビングの場合

5 「実行」または「AUTO FINALIZE」を選びます

● DVD-R/-RW（ビデオモード）へダビングする場合に、「AUTO FINALIZE」を選ぶことができます。

● ダビングが終了すると、終了メッセージが表示されます。

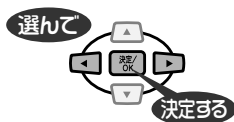
■ **ダビング実行中にダビングを中断するには**

①**[停止]**ボタンを押します。
②**「中止」**を選び、**[決定/OK]**ボタンを押します。

マニュアルダビングの場合

5 DV側をダビングしたい場面で再生一時停止にします

● **[早戻し/早送り]**ボタンなどで頭出しを行い、再生一時停止にします。

6 「実行」または「AUTO FINALIZE」を選びます

● DVD-R/-RW（ビデオモード）へダビングする場合に、「AUTO FINALIZE」を選ぶことができます。

● ダビングが終了すると、終了メッセージが表示されます。

■ **ダビング実行中にダビングを中断するには**

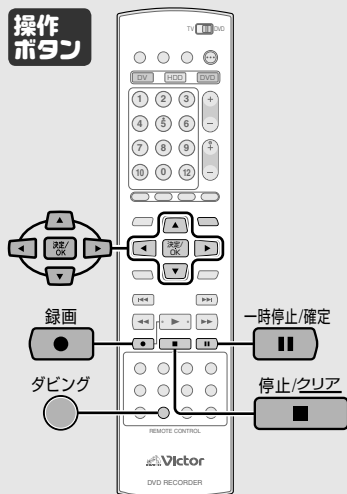
①**[停止]**ボタンを押します。
②**「中止」**を選び、**[決定/OK]**ボタンを押します。

● **「AUTO FINALIZE（オートファイナライズ）」**について（☞P30）
● 自動的にテープの頭まで巻き戻してからダビングを始めます。
● ダビングが終了すると、自動的にテープを巻き戻します。

● 手順5で、再生一時停止中に**[一時停止]**ボタンを押すと、コマ送りで微調整できます。（☞P25）
● 手順5で、再生一時停止中に**[早戻し]/[早送り]**ボタンを押して頭出しをしたときは、**[一時停止]**ボタンを押して再生一時停止にしてください。
● 本体のDVランプが点灯しているとき、DVテープの操作が可能です。ダビングしたい部分の頭出しを行なってください。

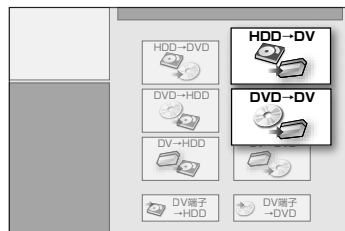
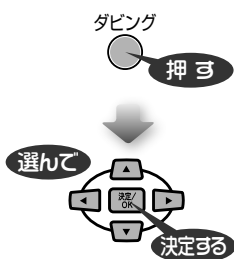
HDD/DVDからDVへダビングする

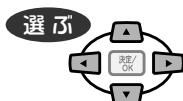
操作ボタン

メモ

- DVモードで録画されたタイトルと、他の録画モードのタイトルを同時に選択することはできません。
- 記憶を取り消すには、記憶されてるタイトルのところで[記憶]ボタンを押します。すべてのタイトルを取り消すには、[取消し]ボタンを押します。
- +R/+RWからのダビングはできません。

HDDまたはDVDから、DVテープへダビングできます。

1 録画するテープを入れます

- DVDからダビングするときは、再生するディスクを入れます。

2 ダビング画面を表示させ、ダビング方向を選びます

3 ダビングするタイトルを選びます

❶ タイトルを選びます

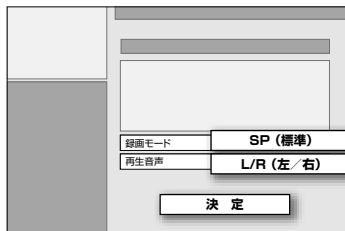
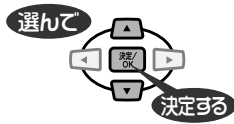
❷ 記憶します

緑色：選択したタイトルの容量
黄色：記憶したタイトルの合計容量
選択したタイトルの合計時間

- ❶·❷をくり返して、８つまで選べます。

❸ 決定します

4 録画モード、再生音声を設定します

❶「録画モード」を選び、お好みのモードを選びます

❷「再生音声」を選び、お好みのモードを選びます

❸「決定」を選びます

5 DV側を録画一時停止にします

● **[早戻し / 早送り]** ボタンなどで録画開始の頭出しを行い、録画一時停止にします。

6 「実行」を選びます

● ダビングが終了すると、終了メッセージが表示されます。

■ ダビング実行中にダビングを中断するには

①**[停止]** ボタンを押します。
②**「中止」**を選び、**[決定 / OK]** ボタンを押します。

再生音声について

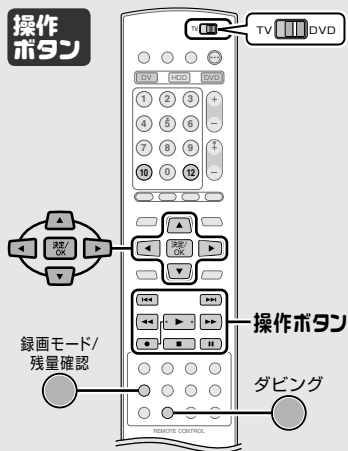
■ 2重音声（二ヵ国語）のタイトルの場合
- **「L/R」**にすると、DVテープの**「音声１」**に主音声＋副音声を記録します。
- **「L」**にすると、DVテープの**「音声１」**に主音声を記録します。
- **「R」**にすると、DVテープの**「音声１」**に副音声を記録します。

● DVD-R/-RW（ビデオモード）からのダビングのときは、**「再生音声」**設定は表示されません。L/Rで録音されます。

● 本体のDVランプが点灯しているとき、DVテープの操作が可能です。ダビングしたい部分の頭出しを行なってください。

● ダビング実行中は、再生などができません。

ビデオカメラからダビングする

操作ボタン

メモ

- 設定メニューの「**DV自動チャプター**」を「**入**」にすると、チャプター（マーク）を自動書き込みします。（☞**P71 - 18**）
- 録画モードについては、**録画モードについて**へ（☞**P31**）

DV取込みメニューについて

「操作切換」
操作できる機器を切り換えます。
絵表示が次のように換わります。

：本機を操作

：ビデオカメラを操作

「ダビング開始/ポーズ」
ダビングの制御をします。

「DV音声選択」
次ページをご覧ください。

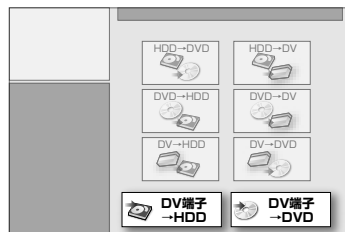
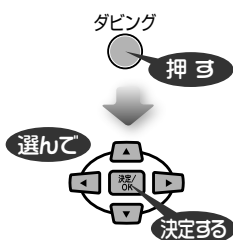
- 本機のリモコンで、ビデオカメラの再生、一時停止、早送り/早戻し、スロー、コマ送りの操作ができます。

DVケーブルでつないだビデオカメラからHDDまたはDVDにダビングできます。ビデオカメラの操作も本機のリモコンで行えます。（DV取込みメニュー）

準備
- リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。
- **ビデオカメラをつなぐ**（☞**P17**）をご覧ください。

1 ビデオカメラに再生するテープを入れます

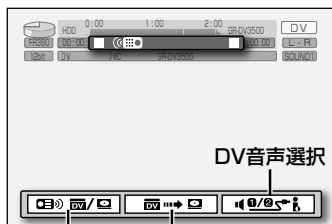
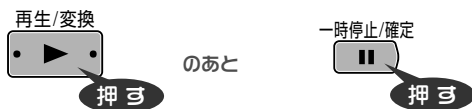
- DVDに録画するときは、録画するディスクを本機に入れます。

2 ダビング画面を表示させ、ダビング先を選びます

- HDDにダビングするときは「**DV端子→HDD**」を選びます。
- DVDにダビングするときは「**DV端子→DVD**」を選びます

3 録画モードを選びます

4 ビデオカメラの再生準備をします

❶「操作切換（ ）」を選び、ビデオカメラ側（ ）にします

- [決定/OK]ボタンを押すごとに切り換わります。

❷ 再生し、ダビングの開始位置で一時停止します

❸ 必要に応じて、DV音声を切り換えます

● [音声切換アイコン] を選び、[決定/OK]ボタンを押して切り換えます。

画面表示

5 ダビングを始めます

❶「ダビング開始/ポーズ([DV→])」を選びます

6 ダビングを終了します

❶「操作切換([DV/])」を選び、本機側にします

● 画面表示が [ ] になります。

❷「ダビング開始/ポーズ([DV→])」を選び、停止します

ダビングを続けたいときは手順 4 ～ 6 を繰り返します。

ワンポイント DV機器にダビングする (HDD側のDVモードで録画されたタイトルのみ)

DVカムコーダーで撮影した映像をHDDへダビングし、プレイリストで編集したあと、ミニDVテープへ保存するような場合におすすめです。

❶チャンネルを「DV」にします

❷再生ナビからダビングしたいタイトルを選び、再生します

❸DV機器に接続されたテレビに、再生画面が表示されることを確認します

❹ダビング開始点で、本機を一時停止します(再生側)

❺DV機器を録画一時停止にします(録画側)

❻本機の再生とDV機器の録画を同時に開始します

❼終了したら、録画側、再生側の順に停止します

● DVD側でこの操作はできません。

DV音声選択について

■ HDDへDVモードでダビングする場合

DVテープの音声が12BITの場合、「**DV音声選択**」で音声を選んでも、SOUND1とSOUND2の両方が記録されます。

再生するときは、設定メニューの「**DV12BIT音声**」で聞きたい音声を選択できます。(☞P71 - 19)

■ XP～FRモードでダビングする場合

ビデオカメラ側の音声を選択します。

SOUND1(音声1):
通常のステレオ音声で録音。

SOUND2(音声2):
アフレコ音声をステレオ録音。

MIX(フル音声):
通常のステレオ音声とアフレコ音声をミックスして録音。
(16bit記録は、アフレコ音声がありません)

ダビングを一時停止するには

● 「**ダビング開始/ポーズ**」を選ぶか、本体の[**一時停止**]ボタンを押します。

● ダビングを再開するには「**ダビング開始/ポーズ**」を選び、決定します。

ご注意

● 一部のビデオカメラは、操作できないことがあります。カメラを直接操作してください。

● コピーガードされている映像はダビングできません。

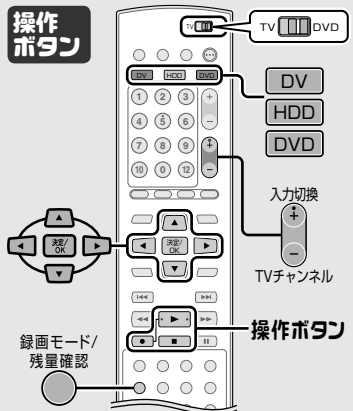
● ビデオカメラ側からは操作できません。

● ビデオカメラで記録した日時は、HDDに記録されますが、再生時には表示できません。ただし、HDDからDVへダビングしたときは、表示できます。HDD再生時に日時を表示したいときは、入力L-1やF-1とつないでダビングしてください。(日付情報の表示については、ビデオカメラの説明書をご覧ください)

● DV取込みメニューでダビングしているとき、本機DVデッキの操作が可能です。

● DVテープの頭からダビングするときは、手順 4 の❷で停止状態にしてダビングしてください。

ビデオデッキからダビングする

操作ボタン

ビデオデッキへダビングするときは

①本機を再生します

②ビデオデッキで録画します

- くわしくは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

- 本機の画面表示を無効にするには、設定メニュー「**オンスクリーン**」を「**切**」にします。（☞**P72 - 23**）

録画を一時停止するには

HDD/DVD側

- 録画中に、リモコンの**[録画(●)]**ボタンを押したまま**[一時停止(❚❚)]**ボタンを押すと、録画一時停止状態にできます。再生側のテープ交換のときなどに便利です。
- 録画を再開するには、リモコンの**[録画(●)]**ボタンを押したまま**[再生(▶)]**ボタンを押します。

DV側

- 録画中に**[一時停止(❚❚)]**ボタンを押します。
- 録画を再開するには**[再生(▶)]**ボタンを押します。

ご注意

- コピーガードされている映像はダビングできません。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

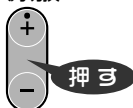
外部デッキの映像をDVテープ、DVD、HDDにダビングできます。

準備
- リモコンのスイッチを[DVD]側にします。
- **ビデオデッキなどをつなぐ**（☞**P17**）をご覧ください。

1 ビデオデッキに再生するテープを入れます

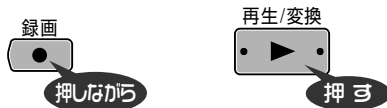
- DVDへダビングするときは、録画するディスクを本機に入れます。
- DVテープへダビングするときは、録画するテープを本機に入れます。

2 録画先を選びます

3 ビデオデッキにつないだ外部入力に切り換えます

- 「**L-1**」または「**F-1**」から選びます。
- **[0]** ボタンを押すと強制的に「**L-1**」になります。

4 録画モードを選びます

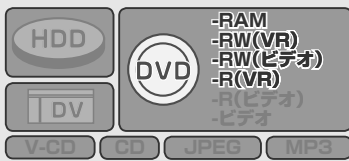
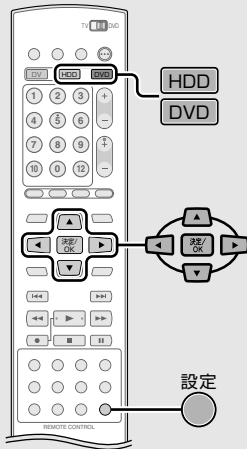
5 ビデオデッキを再生します

6 録画を始めます

7 録画を終了します

HDD/DVD側

DV側

- 再生側も停止させてください。

ディスクをフォーマット(初期化)する

操作ボタン

メモ

- DVD-RWのフォーマットは、手順④の確認画面でも、モードの確認をしてください。
- DVD-Rのフォーマットは、1回しかできません。

未使用ディスクのフォーマット

DVD-RAM
①ディスクを入れると、手順④の画面を表示します
②「実行」を選んでフォーマットしてください

DVD-RW
①ディスクを入れると、手順③の画面を表示します
②モードを選択してからフォーマットしてください

ご注意

- 「フォーマット実行中」が表示されているときは、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- 保護されたタイトルでも、フォーマットすると、すべてのタイトルが削除されますので注意してください。(☞P55)

- フォーマット(初期化)すると、データはすべて消去されます。録画したタイトルを消去しないように十分確認を行なってから操作してください。
- 未使用のDVD-RAMやDVD-RWで、フォーマットが必要な場合があります。
- DVD-RをVRモードで使用する場合は、未使用のディスクでフォーマットを行なってください。(フォーマットしないときはビデオモードです)

準備 ● [HDD]ボタンまたは[DVD]ボタンを押します。

1 ディスクを入れます

2 フォーマットを選びます

❶ 設定メニュー画面を表示させます

❷「HDD/DVD設定」→「DISC設定」→「フォーマット」を選びます

3

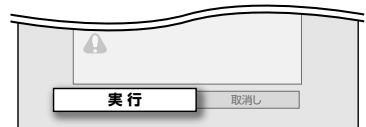
DVD-RAMの場合

「実行」を選びます

DVD-RWの場合

「VRモード」または「ビデオモード」を選びます

- DVD-Rの場合は、この場面は表示されません。手順④に進みます。

4 「実行」を選びます

「フォーマットを完了しました」のメッセージが表示されたら

- [決定/OK]ボタンを押すと、設定メニュー画面に戻ります。

5 フォーマットを終了します

他のDVDプレーヤーで見る(ファイナライズ)

操作ボタン

- DVD-R、DVD-RWを他のDVDプレーヤーで再生するには、ファイナライズをします。ビデオモードのディスクは、タイトルメニュー付きのDVDビデオになります。
- DVDビデオを機器に入れたときのディスク動作を設定して、ファイナライズできます。
- ファイナライズを行うと、録画や編集などはできなくなります。

準備　● [HDD]ボタンまたは[DVD]ボタンを押します。

ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときのディスク動作を設定します。

❶ 設定メニュー画面を表示させます

❷「HDD/DVD設定」→「DVD設定」→「ファイナライズモード」を選びます

❸ ディスク動作を設定します

❹ [設定]ボタンを押して、終了します

1 ディスクを入れます

2 ファイナライズを選びます

- 設定メニュー画面からも選べます。
「HDD/DVD設定」→「DISC設定」→「ファイナライズ」

ファイナライズモード

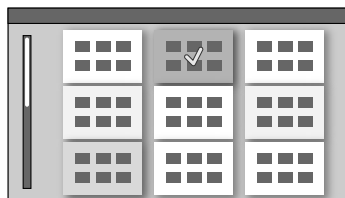
■ ノーマルモード
機器にDVDを入れると、ディスクを確認したあと停止した状態になります。

■ メニューストップ
機器にDVDを入れると、ディスクを確認したあと自動的に再生を始め、ディスクメニューが表示されると再生を停止します。

■ オートリピート
機器にDVDを入れると、ディスクを確認したあと自動的に再生を始め、くり返し再生を続けます。

- DVD-RW（VRモード）をファイナライズしたときは、VRモード対応の機器で再生できます。
- DVD-R（VRモード）をファイナライズしたときは、DVD-R（VRモード）対応の機器で再生できます。

③ メニューの背景画像を選びます

（ビデオモードのみ）

● DVD-RW/-R（VRモード）は、この手順はありません。

④ ファイナライズを実行します

❶ VRモードのディスクは、「実行」を選びます
ビデオモードのディスクは、「決定」を選びます

❷「実行」を選びます

「ファイナライズが完了しました」のメッセージが表示されたら

● [決定/OK]ボタンを押すと、設定メニューの画面に戻ります。

⑤ ファイナライズを終了します

ファイナライズを解除するには

❶ファイナライズされたDVD-RWを入れます

● DVD-Rはファイナライズを解除できません。

❷設定メニュー画面を表示させ、「HDD/DVD設定」→「DISC設定」→「ファイナライズ解除」を選び、決定します

❸「解除」を選び、決定します

● 終了すると「ファイナライズ解除を完了しました」が表示されます。[決定/OK]ボタンを押して、設定メニュー画面に戻ります。

❹ [設定]ボタンを押して、終了します

● 背景画像は18種類あります。

● お好みの背景画像や文字色（ディスクタイトル名、タイトル名）を登録して、使用することができます。（☞P44）

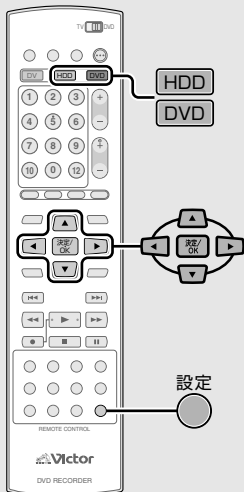
● ビデオモードのディスクの場合、「プレビュー」を選ぶと、タイトルメニューの出来上がりイメージが表示されます。

ファイナライズ後の再生

● ビデオモードのディスクは、DVDビデオと同様に[トップメニュー]または[メニュー]ボタンを押して操作します。

● VRモードのディスクは、[再生ナビ]ボタンを押して操作します。

背景画像・文字色を上書き登録する

操作ボタン

登録するファイルについて

■ 画像（背景画）フォーマット
- ファイル名：User01.bmp～User18.bmp（最大18ファイル）
- サイズ：720×480
- モード：RGB（24bit）

■ テキスト（文字色）フォーマット
- ファイル名：Text01.bmp～Text18.bmp（最大18ファイル）
- サイズ：362×126（推奨）
- モード：INDEX（4bit）

■ 使用ディスク
- UDF2.0以降でフォーマットしたDVD-RAM
- ISO9660またはJolietフォーマットにて、ディスクアットワンスで記録したCD-R/-RW
- ファイルはディスク上のルートディレクトリに記録してください。
- マルチセッションで記録された追記セッションにあるファイルは、アップデートできません。

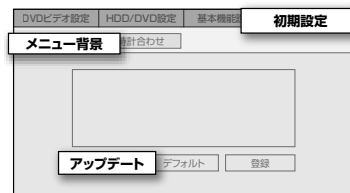
お好みの背景画像、文字色を上書き登録します。登録すると、好きな背景画像、文字色でDVDビデオのメニューを作成できます。背景画像、文字色ファイルは、別々または同時に登録できます。

準備
- ［HDD］ボタンまたは［DVD］ボタンを押します。
- 登録する必要なファイルを用意します。

背景画像・文字色を上書き登録する

1 ディスクを入れます

2 設定メニュー画面を表示させます

3 「初期設定」→「メニュー背景」→「アップデート」を選びます

4 「実行」を選びます

- アップデート中の画面が表示されます。

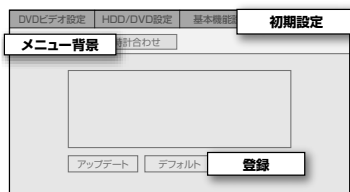
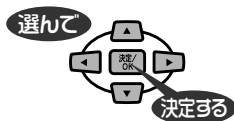
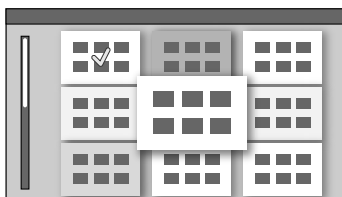
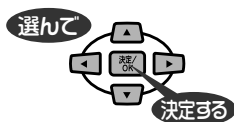
アップデートが終了すると、ディスクトレイが開きます

5 アップデートを終了します

- **［決定/OK］**ボタンを押してから、**［設定］**ボタンを押して終了します。

上書き登録した画像を使用する

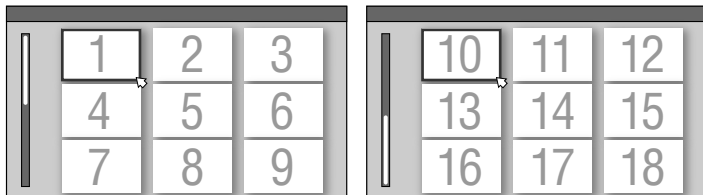
1 設定メニュー画面を表示させます

2 「初期設定」→「メニュー背景」→「登録」を選びます

3 背景画像を選びます

4 [設定]ボタンを押して、終了します

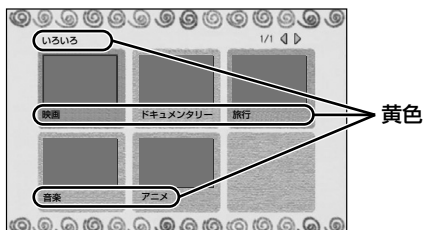
背景画像と文字色について

■背景画像ファイルUser01.bmp～User18.bmpを上書き登録すると、以下の並び順になります。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

10	11	12
13	14	15
16	17	18

■文字色を変更すると、次のようになります。

《例》 オリジナルの背景画像User01.bmpを選択し、文字色Text01.bmpが黄色の場合

メモ

- でき上がりイメージのタイトルメニューが表示されます。
- 選択した背景画像に「✓」マークが付きます。

オリジナルの画像に戻すには

①手順 2 で「デフォルト」を選び、決定します

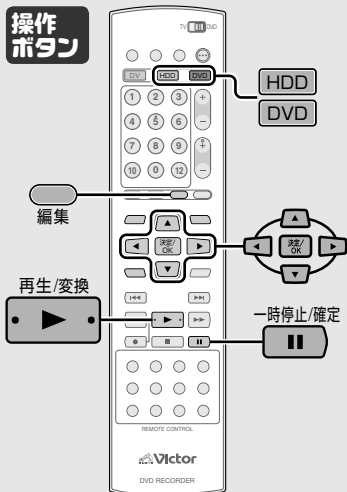
②「実行」を選び、決定します

- 画像および文字色ともオリジナルに戻ります。

③確認画面で[決定/OK]ボタンを押します

④[設定]ボタンを押して、終了します

サムネイル・ジャンルを変更する

操作ボタン

- プレイリストの変更をするときは、先にプレイリストの作成を行なってください。（☞P50）
- DVDで、次の場合は変更できません。
  - 保護されたタイトル（☞P55）
  - ファイナライズされたディスク（☞P42）

- プレイリストの場合は、プレイリストの**「修正」**を選びます。

- 手順 4 のタイトル一覧画面は、**［トップメニュー］**および**［メニュー］**ボタンで、ページ送りができます。

● サムネイル（見出し画像）：タイトルリストの画像をお好みのものに変更できます。
● ジャンル　　　　　　　　：タイトルの検索などに利用できます。
HDDおよびDVD-RAM、DVD-RW/-R（VRモード）は、プレイリストのサムネイル、ジャンルも変更できます。

1 ディスクを選びます

または

2 編集画面を表示させます

DVD側を選んだときは

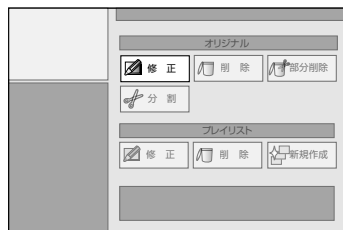
❶ ディスクを入れます

❷ 編集画面を表示させます

❸「内容修正」を選びます

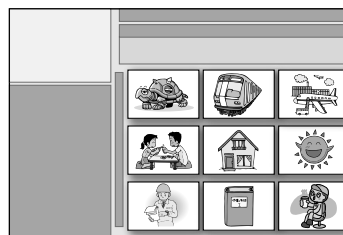
（DVD側の場合）

HDD側を選んだときは

（HDD側の場合）

3 オリジナルの「修正」を選びます

（画面例はDVD側の場合）

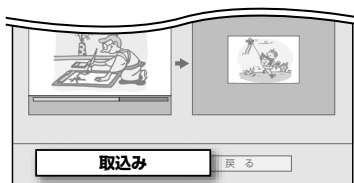
4 変更するタイトルを選びます

サムネイルの変更は 5 へ
ジャンルの変更は 5 へ

サムネイルを変更する

5 「サムネイル」を選びます

6 サムネイル画像を決定します

❶ 再生し、希望の場面で一時停止にします

❷「取込み」を選びます

7 サムネイルの変更を終了します

ジャンルを変更する

5 「ジャンル」を選びます

6 希望のジャンルを選びます

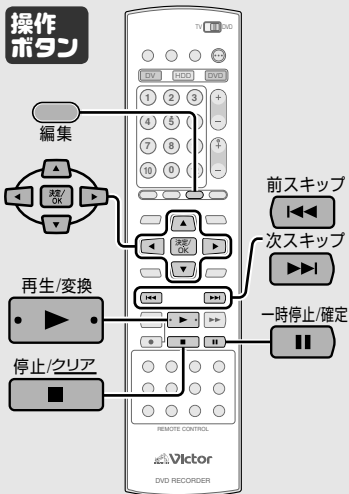
7 ジャンルの変更を終了します

● [早送り]/[早戻し]ボタンで場面を探します。

● 新しい画面が登録されます。

● [トップメニュー]および[メニュー]ボタンで、ページ送りができます。

ダビング・編集（つづき）
タイトル名を作成する

操作ボタン

リモコンのボタン操作が可能です

- 文字種選択：[I◄◄]/[►►I] ボタン
- 変換：[**再生/変換**] ボタン
- 確定：[**一時停止/確定**] ボタン
- 一文字消去：[**停止/クリア**] ボタン

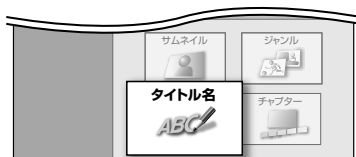
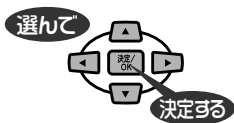
DVDにタイトル名を付けるには

- 46ページの手順 ② で「**DISC名修正**」を選び決定すると、タイトル入力画面が表示されます。お好みのタイトル名を入力してください。

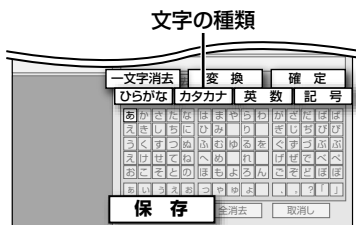
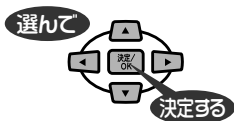
- プレイリストにタイトル名を付ける場合は、先にプレイリストの作成を行なってください。（☞**P50**）
- DVDで次の場合は変更できません。
  - 保護されたタイトル（☞**P55**）
  - ファイナライズされたディスク（☞**P42**）

録画したタイトルに名前を付けたり、変更できます。
HDDおよびDVD-RAM、DVD-RW/-R（VRモード）はプレイリストにもタイトル名を付けたり、変更できます。

46ページの手順 ①～④ を操作し、タイトルを選びます。

5 「タイトル名」を選びます

6 文字を入力します

❶ 文字の種類を選びます

- [I◄◄]/[►►I] **ボタン**でも選べます。

❷ 文字を選びます

- 1文字ずつ選んで決定します。
- ❶、❷ を繰り返して、すべての文字を入力します。

ひらがなを変換するには

①ひらがなを入力したあと、画面上部の「**変換**」を選び、決定します。
②候補画面より文字を選び、決定します。

入力した文字を修正するには

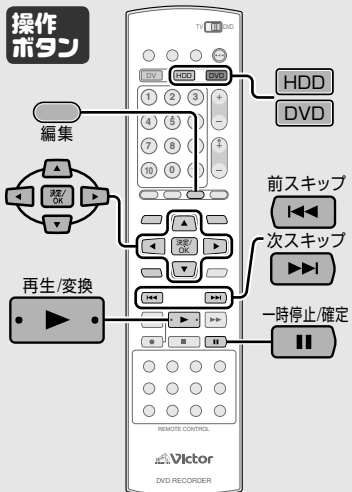
すべて消すには
①画面下部の「**全消去**」を選び、決定します。

一文字消去するには
①削除したい文字にカーソルを合わせます。
②画面上部の「**一文字消去**」を選び、決定します。

❸ タイトル名がひらがなで終わる場合は、「確定」を選び、決定します

❹ 「保存」を選び、決定します

7 タイトル名作成を終了します

チャプター(マーク)を作成/消去する

録画したタイトルにチャプター(マーク)を作成すると、タイトル内の好きなシーンを簡単に頭出しできます。

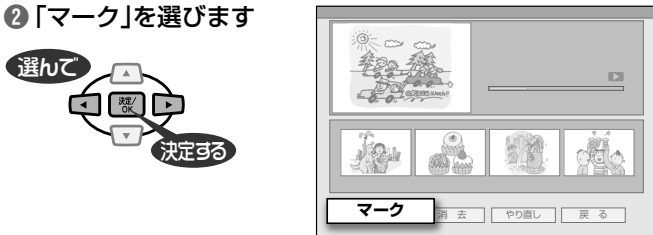
46～47ページの手順 1 ～ 4 を操作し、 5 で「チャプター」を選びます。

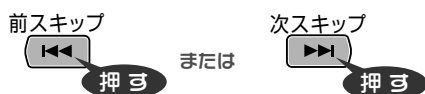
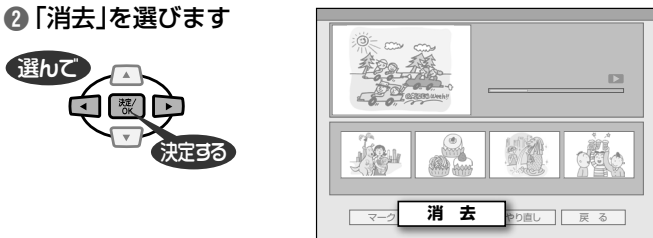
6 チャプター(マーク)を作成および消去します

チャプター(マーク)を作成するときは

❶ 再生し、作成したい場面で一時停止にします

● [早送り]/[早戻し] ボタンなども利用できます。

❷「マーク」を選びます

チャプター(マーク)を消去するときは

❶ 消去する場面に移動します

❷「消去」を選びます

7 チャプター(マーク)の作成および消去を終了します

メモ

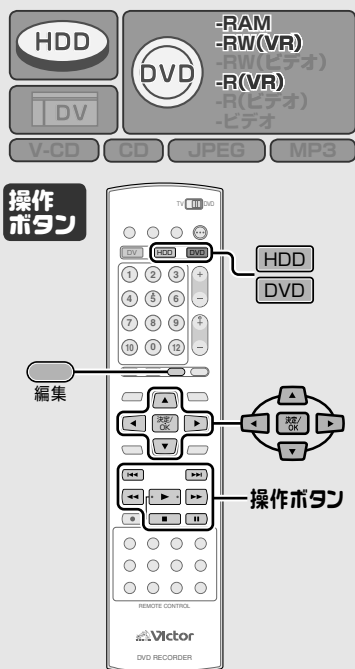
● チャプター(マーク)を作成すると、画面下にチャプター画像が追加されます。

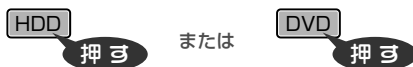
● チャプター(マーク)を消去すると、画面下のチャプター画像が消去されます。

● DVDで、次の場合はチャプター(マーク)を変更できません。
  ● 保護されたタイトル(☞**P55**)
  ● ファイナライズされたディスク(☞**P42**)

● 再生または一時停止中にリモコンの [**記憶**／**マーク**] ボタンを押しても、チャプター(マーク)の作成／消去ができます。(☞**P23**)

ダビング・編集（つづき）

お好みの場面を集める（プレイリストの作成）

プレイリストは、複数のオリジナルタイトルからお好みのシーン（場面）を集めた一つのタイトルです。99個まで作成できます。

1 ディスクを選びます

2 編集画面を表示させます

DVD側を選んだときは

❶ ディスクを入れます

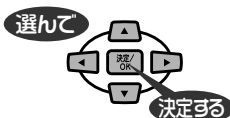
❷ 編集画面を表示させます

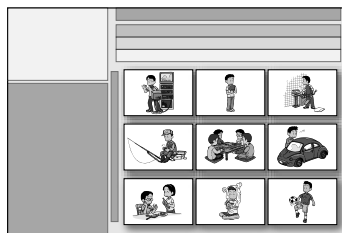
❸「内容修正」を選びます

（DVD側の場合）

HDD側を選んだときは

（HDD側の場合）

3「新規作成」を選びます

（画面例はDVD側の場合）

4 使用するタイトルを選びます

プレイリストを見る

● HDD/DVDを再生する（☞P22）の操作を行います。

その際に、手順 3 で「**プレイリスト**」を選びます。

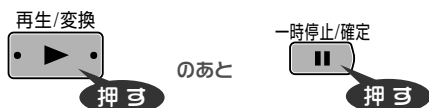
プレイリストを削除する

● タイトルを削除する（☞P54）の操作を行います。

その際に、手順 3 でプレイリストの「**削除**」を選びます。

5 シーンの開始点を決定します

❶ 再生し、シーン開始点で一時停止にします

のあと

❷ 開始点を決定します

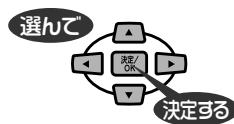
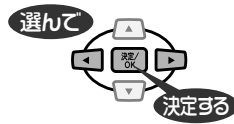
6 シーンの終了点を決定します

❶ 再生し、シーン終了点で一時停止にします

のあと

❷ 終了を決定します

手順 5 、 6 を繰り返して、シーンを追加します。
他のタイトルのシーンを追加するには、「番組選択」を選び、手順 4 ～ 6 を繰り返します。

7 「確定」を選びます

8 「作成終了」を選びます

9 プレイリストの作成を終了します

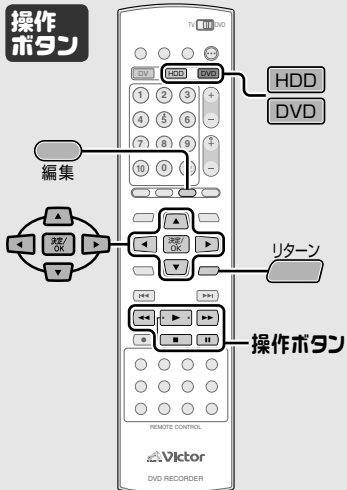
- 開始点、終了点を探すときは、一時停止中に［**早送り**］/［**早戻し**］ボタンを押すと、ひとコマずつ確認できます。
- **「から」、「まで」**の子画面には、各シーンの開始点、終了点の画像が表示されます。
- 1つのプレイリストで登録できるシーンは、最大99個です。
- シーンが作成されると、下記のメニューボタンが選択可能になります。
  - **「番組選択」**：他のタイトルからシーンを選びます。
  - **「シーン修正」**：シーンを修正します。（☞**P52**）
  - **「シーン削除」**：シーンを削除します。
  - **「シーン移動」**：2つ以上のシーンがあるとき、再生順を移動できます。（☞**P53**）
  - **「やり直し」**：直前の操作を取り消します。
  - **「プレビュー」**：シーン1から再生します。
  - **「確定」**：シーン登録を確定します。

プレビュー再生について

- 早送り、スロー再生が可能です。
- ［|◀◀］／［▶▶|］ボタンで、シーンの移動ができます。
- 再生中のシーンリストが選択されています。
- ［**停止／クリア**］ボタンで、プレビュー再生を終了します。
- プレビュー再生が終了すると、一時停止状態になります。

ご注意

- プレイリストで使用しているタイトルを削除すると、プレイリストも削除されますのでご注意してください。

プレイリストを編集する

作成したプレイリストのシーン（場面）を変更したり、移動したりできます。また、新しいシーンを追加することもできます。

プレイリストのシーン（場面）を変更する

1 ディスクを選びます

2 編集画面を表示させます

DVD側を選んだときは

❶ ディスクを入れます
❷ ［編集］ボタンを押して、編集画面を表示させます
❸ 「内容修正」を選びます

HDD側を選んだときは

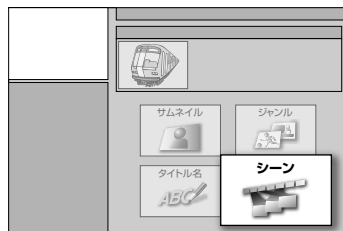
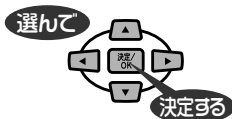
❶ ［編集］ボタンを押して、編集画面を表示させます

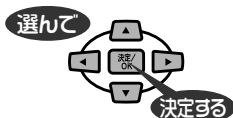
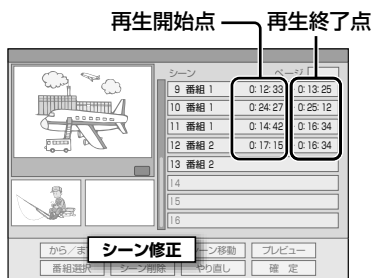
3 プレイリストの「修正」を選びます

（画面例はDVD側の場合）

オリジナル
修正　削除　部分削除
保護
プレイリスト
修正　削除　新規作成

4 修正するタイトルを選びます

5 「シーン」を選びます

6 修正したいシーンを選びます

❶「シーン修正」を選びます

❷ 修正したいシーンの再生開始点、または再生終了点を選びます

7 新しいシーンを作成します

❶ 再生し、希望の画面で一時停止にします

❷ 再生開始点または再生終了点を、決定します

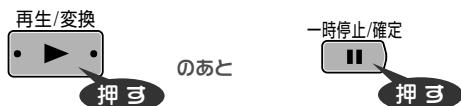
8 51ページの手順 7 ～ 9 を行います

プレイリストのシーン(場面)を移動する

1. 手順 1 ～ 5 を行います
2. 手順 6 の ❶ で「シーン移動」を選び、決定します
3. 手順 6 の ❷ で移動したいシーンを選び、決定します
4. 移動先のシーンを選び、決定します
5. 51ページの手順 7 ～ 9 を行います

プレイリストにシーン(場面)を追加する

1. 手順 1 ～ 5 を行います
2. 手順 6 の ❶ で「番組選択」を選び、決定します
3. 50、51ページの手順 4 ～ 9 を行います

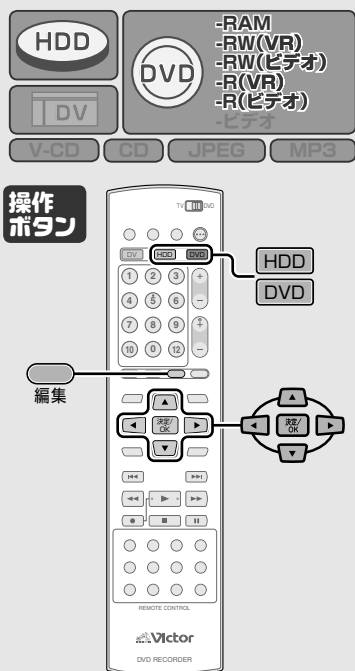
メモ

- 修正を取り消したいときは、「確定」する前に [リターン] または [編集] ボタンを押します。
- シーンを探すときは、[早送り] ／ [早戻し] ボタンなども利用できます。
- 他にも修正するときは、手順 6 、7 を繰り返します。

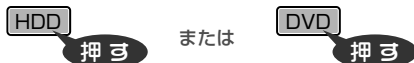
メモ

- 移動を取り消したいときは、「確定」する前に [リターン] または [編集] ボタンを押します。

ダビング・編集（つづき）

タイトルを削除する

操作ボタン

不要になったタイトルを削除すると、残量時間を増やすことができます。（DVD-Rでは残量時間は増えません。DVD-RW（ビデオモード）では、最後のタイトルを削除したときのみ残量時間が増えます）

1 ディスクを選びます

または

2 編集画面を表示させます

DVD側を選んだときは

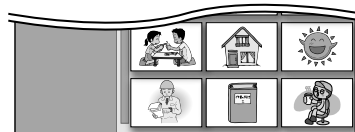
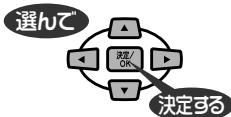
❶ ディスクを入れます
❷［編集］ボタンを押して、編集画面を表示させます
❸「内容修正」を選び、決定します

HDD側を選んだときは

❶［編集］ボタンを押して、編集画面を表示させます

3 オリジナルの「削除」を選びます

（画面例はDVD側の場合）

4 削除するタイトルを選びます

5 「削除」を選びます

- HDD側は、タイトル一覧の最後に「削除リスト」のフォルダが自動作成され、一時保管されます。（アイコン：）

■ **HDD側の削除を止めるには**（必ず、手順 6 の前に操作してください）
①タイトル一覧から**「削除リスト」**のフォルダを選び、決定します。
②削除をやめるタイトルを選び、決定します。
③**「はい」**を選び、決定します。

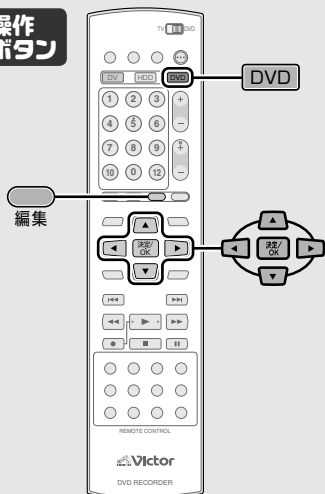
6 タイトルの削除を終了します

- HDDの場合、編集を終了すると選択したタイトルが削除されます。

ご注意

- オリジナルのタイトルを削除すると、関連したプレイリスト、ライブラリ情報などもすべて削除されます。

タイトルを保護する

操作ボタン

保護を解除するには

①手順 4 で保護設定されたタイトルを選び､決定します。
②｢保護解除｣を選び、決定します。

ご注意

● タイトルを保護設定しても、ディスクをフォーマット(初期化)すると、タイトルは消去されます。

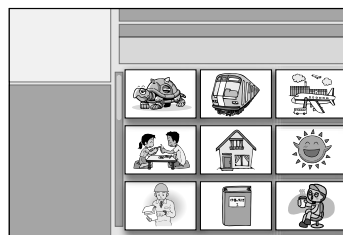
DVD-RAM、DVD-RW/-R（VRモード)では、削除防止のための保護機能があります。

1 ディスクを選びます

2 編集画面を表示させます

❶ ディスクを入れます
❷ [編集] ボタンを押して、編集画面を表示させます
❸ ｢内容修正｣を選び、決定します

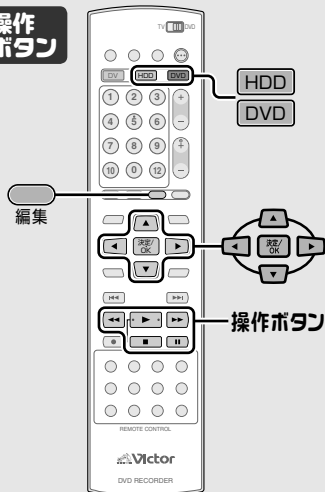
3 オリジナルの｢保護｣を選びます

4 保護するタイトルを選びます

5 ｢保護｣を選びます

● タイトルに保護が設定されると、タイトル一覧で保護マーク(O╥)が付きます。

6 タイトルの保護を終了します

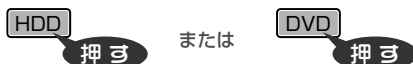
タイトルの部分削除をする

操作ボタン

- 「プレビュー」を選ぶと、削除部分の前後約5秒ずつを再生します。
- 削除時間が2秒以下の場合、部分削除ができないことがあります。
- 設定した位置より少しずれることがあります。

ご注意

- DVD-R（VRモード）を部分削除しても残量は増えません。
- HDD側でプレイリストに使用されているタイトルは、部分削除できません。
- DVD側で部分削除をすると、関連したプレイリストはすべて削除されます。

ダビング（録画）したタイトルから不要な部分を削除できます。

1 ディスクを選びます

または

2 編集画面を表示させます

DVD側を選んだときは

❶ ディスクを入れます
❷ [編集] ボタンを押して、編集画面を表示させます
❸「内容修正」を選び、決定します

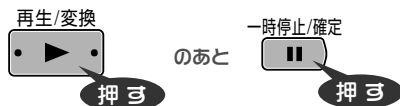
HDD側を選んだときは

❶ [編集] ボタンを押して、編集画面を表示させます

3 オリジナルの「部分削除」を選びます

（画面例はDVD側の場合）

4 部分削除するタイトルを選び、決定します

5 削除部分を決定します

❶ 再生し、削除したい開始場面で一時停止にします

- [早送り]/[早戻し] ボタンなども利用できます。

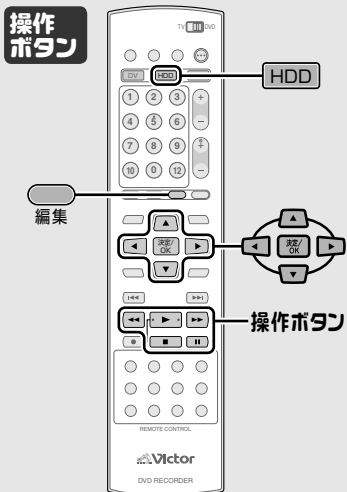
❷「ここから」を選び、決定します
❸ 再生し、削除したい終了場面で一時停止にします
❹「ここまで」を選び、決定します
❺「確定」を選び、決定します

6 削除を選び決定します

- やり直したいときは「取消し」を選び、手順 5 から操作します。

7 [編集] ボタンを押して、終了します

タイトルを分割する

操作ボタン

- 「プレビュー」を選ぶと、分割した後半のタイトルの始めから約10秒間再生します。
- やり直したいときは、「やり直し」を選びます

ご注意

次のようなときは分割できません

- 外部入力(L-1、F-1)からダビング(録画)中のタイトル。
- プレイリストで使用しているタイトル。
- タイトル登録数が500になっているとき。

DVテープなどから連続してダビングしたタイトルを分割できます。

1 ディスクを選びます

2 編集画面を表示させ、オリジナルの「分割」を選びます

3 分割するタイトルを選び、決定します

4 分割する場面を探します

❶ 再生し、分割する場面で一時停止にします

- [早送り]/[早戻し]ボタンなども利用できます。

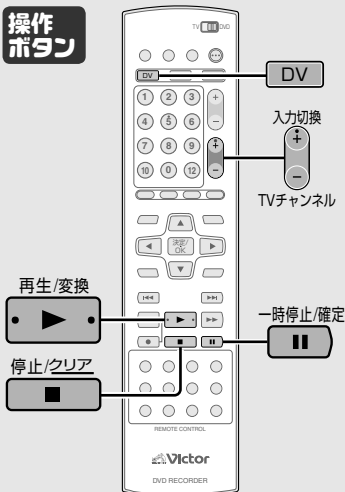
❷「分割」を選び、決定します

❸「確定」を選び、決定します

5 「分割」を選び、決定します

6 [編集]ボタンを押して、終了します

DVテープに追加録音する（アフレコ編集）

操作ボタン

● [DV入力／出力] 端子からのアフレコ編集はできません。

アフレコ編集した音声を聞くには

● DV設定メニューの「**再生12BIT音声**」で聞きたい音声を選んでから再生します。（☞**P73 - 33**）

● オーディオ機器などの操作のしかたについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

次のような場合、アフレコ編集はできません。

● 「16BIT」音声で録画されたタイトル
● 「LP」モードで録画されたタイトル
● 録画したタイトルがコピー禁止の場合
● 追加する音声がコピー禁止の場合
● 録画されていないテープ
● 誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっているテープ

録画済みのMini DVテープ（SPモード）に、新たな音声を追加録音できます。

準備
● [**DV**]ボタンを押してDVランプを点灯させます。
● DV設定メニューの「**再生12BIT音声**」で聞きたい音声を選びます。
● **ビデオデッキなどをつなぐ**をご覧ください。（☞**P17**）

1 アフレコ編集するDVテープを入れます

2 オーディオ機器などをつないだ外部入力に切り換えます

● 「**L-1**」または「**F-1**」から選びます。
● 「**0**」ボタンを押すと、強制的に「**L-1**」になります。

3 アフレコ編集を行います

❶ DVテープを再生し、追加録音したい場面で一時停止にします

❷ 本体の [アフレコ] ボタンを押します

❸ オーディオ機器を再生します

● 録音したい部分の少し前から再生します。

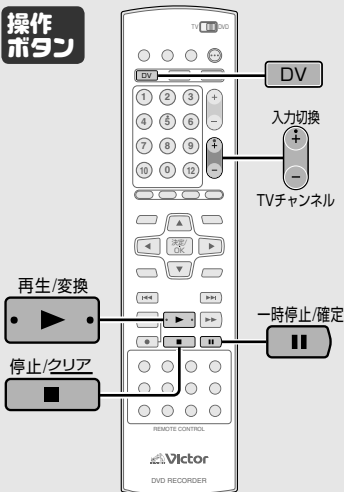
❹ 音声を追加します

● DV設定メニューの「**再生12BIT音声**」を変えることにより、音声を切り換えられます。

4 アフレコ編集を終了します

● 再生側も停止させてください。

DVテープに映像を挿入する(インサート編集)

操作ボタン

- [DV入力／出力] 端子からのインサート編集はできません。
- 音声は挿入されません。

- ビデオデッキなどの操作のしかたについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

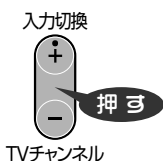
次のような場合、インサート編集はできません。

- 「LP」モードで録画されたタイトル
- 録画したタイトルがコピー禁止の場合
- 挿入する映像がコピー禁止の場合
- 録画されていないテープ
- 誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっているテープ

録画済みのMini DVテープ(SPモード)に、あとから映像を挿入(上書き)できます。

準備
- [DV] ボタンを押してDVランプを点灯させます。
- **ビデオデッキなどをつなぐ**をご覧ください。(☞P17)

1 インサート編集するDVテープを入れます

2 ビデオデッキなどをつないだ外部入力に切り換えます

- 「L-1」または「F-1」から選びます。
- 「0」ボタンを押すと、強制的に「L-1」になります。

3 インサート編集を行います

❶ DVテープを再生し、挿入したい場面で一時停止にします

❷ 本体の [インサート] ボタンを押します

❸ ビデオデッキを再生します

- 挿入したい部分の少し前から再生します。

❹ 映像を挿入します

4 インサート編集を終了します

- 再生側も停止させてください。

知っていると便利

DVDを管理する(ライブラリ)

ライブラリについて

- [再生ナビ]ボタンを押しても登録できます。
- 登録ができない場合、設定メニューの「ライブラリ登録」が「入」であることを確認してください。(☞P70 - 10)
- 「登録」を選ぶと、編集画面になります。続けて「内容修正」や「DISC名修正」ができます。(☞P46)
- 登録すると自動で番号が割りあてられます。削除すると、その番号は欠番になります。

ご注意

次のようなディスクはライブラリ登録できません

- DVD-RAM、DVD-RW
  ビクター製HM-VDR1およびビクター製DVDレコーダー以外の機器でフォーマットしたディスク。
- DVD-R
  ビクター製HM-VDR1およびビクター製DVDレコーダー以外の機器で、新品のディスクに録画した場合。

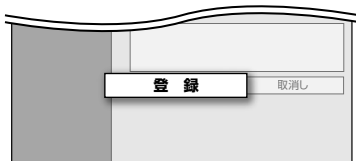
画面例(DVD側の場合)

手順 3 の画面

- ライブラリに登録されているディスクを他社のDVDレコーダーで変更や録画をすると、正常に動作しない場合があります。

本機以外で録画したDVDをライブラリ登録します。
最大600枚、2400タイトルの登録ができます。

ライブラリへ登録します

1. [DVD]ボタンを押して、ディスクを入れます
2. [編集]ボタンを押します
3. 「登録」を選び、決定します

4. [編集]ボタンを押して、終了します

ライブラリから削除します

1. [DVD]ボタンを押します
2. [編集]ボタンを押します
3. 「登録削除」を選び、決定します
4. 削除するDISC番号を選び、決定します
5. 「削除」を選び、決定します
6. [編集]ボタンを押して、終了します

ライブラリから録画したタイトルを探します

1. [HDD]または[DVD]ボタンを押します
2. [再生ナビ]ボタンを押します
3. タイトルの検索方法を指定します
   - HDDライブラリでは、「タイトル名一覧」または「ジャンル検索」から選びます。
   - DVDライブラリでは、「録画日順」、「DISC番号順」、「タイトル名一覧」または「ジャンル検索」から選びます。

HDD側のときは

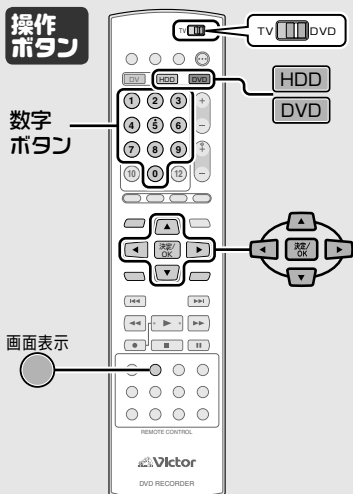
4. 一覧から再生するタイトルを選び、再生方法を選びます

HDD/DVDを再生する 4 へ(☞P22)

DVD側のときは

4. ディスク番号を確認します
   - 該当するディスクを入れて、再生ナビから再生します。(☞P22)

再生設定メニューで操作する

操作ボタン

ディスクの種類表示について

- ファイナライズ済みのDVD-RW/-R(ビデオモード)は、「**DVD-VIDEO**」と表示されます。
- VRモードでフォーマットしたDVD-RWは「**RW-VR**」、DVD-Rは「**R-VR**」と表示されます。

ディスク再生時、このメニュー画面を使って再生モードや映像、音声モードなどの設定を行います。

再生設定メニューの使いかた

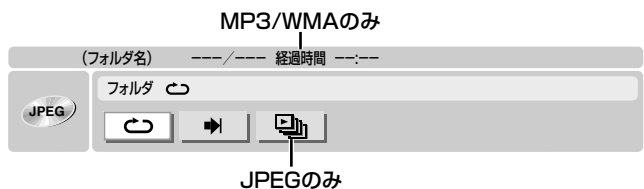
準備
- リモコンの切り換えスイッチを[DVD]側にします。
- [HDD]または[DVD]ボタンを押します。

1 [画面表示]ボタンを1回または2回押して、再生設定メニューを表示します

■ HDDに録画したタイトルを再生する場合

■ DVDに録画した番組、DVDビデオを再生する場合

■ ビデオCD、オーディオCDを再生する場合

■ MP3、WMA、JPEGファイルを再生する場合

2 目的の機能アイコンを選びます

- アイコンによっては、再生停止中には選べないものがあります。

3 表示されたメニューから、設定を選びます

- **[数字]**ボタンで入力する場合もあります。

各設定の説明は、次ページから

再生設定メニューで操作する（つづき）

各設定について

リピート再生

対応メディア：HDD、DVD -RAM、-RW（VR）、-RW（ビデオ）、-R（VR）、-R（ビデオ）、-ビデオ、V-CD、CD、JPEG、MP3

タイトルやチャプターなどの区切りで、リピート（くり返し）再生のモードを設定します。

項目	内容
切	通常再生
オールリピート	ディスク全体でリピート
タイトルリピート	再生中のタイトルでリピート
チャプターリピート	再生中のチャプターでリピート
トラックリピート	再生中のトラックでリピート

MP3/WMA/JPEGの場合は、「**オールリピート**」が「**フォルダリピート**」になります。
※メディアによっては出ないモードがあります。

- ビデオCDとスーパービデオCDのPBC再生中は、設定できません。

A-Bリピート再生

対応メディア：HDD、DVD -RAM、-RW（VR）、-RW（ビデオ）、-R（VR）、-R（ビデオ）、-ビデオ、V-CD、CD

区間リピート（くり返し）再生させる始点と終点を設定します。

項目	内容
A	始点
B	終点

メニューを選び、再生中に**［決定/OK］**ボタンを押します。
始点、終点、リピート解除の順に設定します。

- A-B間は３秒以上、必要です。
- 異なるタイトル、トラックをまたいでは設定できません。
- 終点を設定する前にトラックが変わると、始点の設定が取り消されます。

サーチ再生

対応メディア：HDD、DVD -RAM、-RW（VR）、-RW（ビデオ）、-R（VR）、-R（ビデオ）、-ビデオ、V-CD、CD、JPEG、MP3

下記の番号を指定して、再生します。

項目	内容
タイトルサーチ	タイトル番号を指定
チャプターサーチ	チャプター番号を指定
トラックサーチ	トラック番号を指定

メニューを選ぶと、番号入力ボックスが表示されます。**［数字］**ボタンで入力し、**［決定/OK］**ボタンで再生します。
※メディアによっては出ないモードがあります。

- HDDの場合は、「**チャプターサーチ**」のみです。オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCDの場合は、「**トラックサーチ**」のみです。
- ビデオCDとスーパービデオCDのPBC再生中は、設定できません。

タイムサーチ再生

対応メディア：HDD、DVD -RAM、-RW（VR）、-RW（ビデオ）、-R（VR）、-R（ビデオ）、-ビデオ、V-CD、CD

指定した時間から再生します。
HDD、DVDはタイトルの先頭から、CDはディスクの先頭からの経過時間です。

項目	内容
タイム	経過時間を指定

メニューを選ぶと、時間入力ボックスが表示されます。**［数字］**ボタンで入力します。12分50秒は、［1］、［2］、［5］、［0］の順でボタンを押します。**［決定/OK］**ボタンで再生します。

- DVDでは、停止中に設定できません。
- ビデオCDとスーパービデオCDのPBC再生中は、設定できません。
- 時間情報の記録されていないDVDビデオでは、設定できません。

PRGM プログラム再生

V-CD
CD

指定したトラック順に再生します。プログラム再生中に選ぶと、通常再生になります。

メニューを選ぶと、再生順を指定するボックスが表示されます。
1から順に、トラック番号を[数字]ボタンで入力します。
1桁の番号は、[決定/OK]ボタンで決定します。
間違えた場合は、[取消し]ボタンを押します。
[再生]ボタンで再生します。

● プログラム再生中に、リピート再生できます。

数字ボタンで選曲してください
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
総合計時間 0:00

RND ランダム再生

V-CD
CD

全トラックをランダム(順不同)に、再生します。

設定	内容
切	通常再生します
入	ランダム再生します

画質の調整

HDD
DVD -RAM
-RW(VR)
-RW(ビデオ)
-R(VR)
-R(ビデオ)
-ビデオ
V-CD

お好みに合わせて、画質を調整することかできます。

設定	内容
ノーマル	自動で画質を調整
シネマ	映画などの再生時
アニメ	アニメなどの再生時
ソフト	ノイズが目立つ映像のときノイズを低減

プログレッシブモードの設定(☞P26)

DVD -RAM
-RW(VR)
-RW(ビデオ)
-R(VR)
-R(ビデオ)
-ビデオ

映像に適したプログレッシブモードに設定することができます。

設定	内容
オート	フィルム素材とビデオ素材を自動検出。通常はこのモードにします
フィルム	フィルム映像(映画など)に適したモード
ビデオ	ビデオ映像(テレビ放送など)に適したモード。動きの激しい映像やアニメ映像などに効果的

3Dサラウンド(疑似サラウンド)設定

DVD -ビデオ

マルチチャンネルで記録されているDVDビデオを、2本のスピーカでもサラウンド効果が楽しめます。

設定	内容
切	サラウンド効果なし
入	サラウンド効果あり

● マルチチャンネルで記録されていないディスクや、デジタル音声出力のビットストリームには効果はありません。
● 録画中(一時録画含む)のDVDビデオ再生時は、「入」にできません。
● 「入」にすると、設定メニューの「アナログ音声出力」と「Dレンジコントロール」の設定が無効になります。(☞P69 - 05 06)

JPEGスライドショーの表示時間

JPEG

1枚の画像を表示する時間を設定します。

設定	備考
5秒／10秒／15秒／20秒／25秒／30秒	● ファイルサイズが大きいと、設定時間より長くなることがあります。

知っていると便利（つづき）

録画しながら録画済みのタイトルを見る

● DV入力での録画やDVモードでの録画中は、追っかけ再生ができません。

こんな追っかけ再生のしかたもできます

HDD/DVD-RAMのとき

● [↺]ボタンを押す。
約7秒前に戻って再生します。
• DVD-RAMの場合、最初の1回押しは約30秒前に戻って再生します。（**チョット見バック再生**）

HDDのとき

● [**早戻し**]ボタンを押す。
早戻し画面を見ながら、再生を開始する場面を探し、[**再生**]ボタンを押します。

● 録画中に[**一時停止**]ボタンを押す。
[**再生**]ボタンを押すと続きから再生します。
タイトルの録画視聴中に、一時的にテレビから離れたあと、再び戻って一時停止したところから視聴できます。（**一時停止再生**）

● HDDまたはDVD-RAMは外部入力(L-1、F-1)からのタイトルを録画しながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を見ることができます。(追っかけ再生)
● 録画中に、録画済みの別のタイトルを見ることができます。（同時録画再生）

録画中のタイトルを再生(HDD、DVD-RAM)

1 録画中に再生ナビを表示させます

2 「オリジナル」を選び、決定します

3 現在録画中のタイトルを選びます

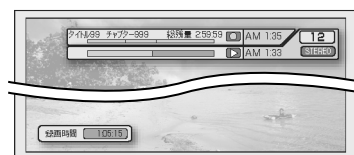
4 「はじめから再生」を選びます

● 追っかけ再生が始まります。
● 追っかけ再生を停止するには、[**停止**]ボタンを押します。
● DVD-RAMでは、録画開始から約30秒までは追っかけ再生ができません。
● 再生中の操作については、**HDD/DVDを再生する**の再生中の操作ボタンをご覧ください。（☞**P23**）

追っかけ再生中の動作状態

動作情報を表示します

録画中の映像を表示します

アングル/現在録画確認
押す

● もう一度押すと、録画中の映像が消えます。

追っかけ再生中の映像　録画中の映像

外部入力の映像を表示します

入力モニター
押す

● 追っかけ再生を終了し、録画中の映像を表示します。

録画中に別タイトルを再生(HDD、DVD-RAM/-RW/-R、DV)

1 録画中に再生先を選びます

● [**DV**]、[**HDD**]または[**DVD**]ボタンを押します。
● 録画先と再生先が同じときは不要です。

2 再生します

● HDD/DVD側は、「**追っかけ再生**」と同じ手順で操作します。手順 3 で見たいタイトルを選びます。
● DV側は、[**再生**]ボタンを押します。
● DVD側で録画中に、DVD側の再生はDVD-RAM以外できません。
● DV側で録画中に、DV側の再生はできません。

一時録画について

- 本機の電源を入れて、外部入力(L-1、F-1)からの映像を視聴している間、設定した時間ぶんだけ自動で一時録画します。
- 見逃した場面を戻して見たり、視聴の途中からでも映像の最初から録画することができます。(さかのぼり録画)

一時録画の時間を設定します

1 [設定]ボタンを押します

2 「HDD/DVD設定」→「HDD設定」→「一時録画機能」を選び、決定します

3 「切」以外を選び、決定します

4 [設定]ボタンを押して、終了します

一時録画機能を利用します

準備　● [HDD]ボタンを押します。

さかのぼり再生

- さかのぼり再生
  [早戻し/スロー]ボタンで再生位置を探し、**[再生]**ボタンを押します。
- 一時停止再生(☞**P64**)
- チョット見バック再生(☞**P64**)

さかのぼり録画

外部入力からの映像を視聴しているときに

1 [早戻し/スロー]ボタンを押して、録画開始場面を探します

2 [一時停止]ボタンを押します

3 [録画]ボタンを押しながら、[再生]ボタンを押します

- 本体の**[録画]**ボタンでも可能です。
- 数秒後、入力中の映像に戻ります。
- FR65モードで録画されます。

停止する場合は[停止]ボタンを2回押します。

メモ

- 設定メニューの**「一時録画機能」**(☞**P70 - 09**)
- 設定時間は、**「切」**、**「30分」**、**「1時間」**、**「3時間」**です。
- 設定時間を越えると、古い映像から上書きされます。
- DVD側で録画しているときは、一時録画を中止します。
- 一時録画のデータは下記のとき、自動的に消去されます。
  - 電源を**「切」**にしたときや、停電から復帰したとき。
  - HDD/DVD側で通常の録画、さかのぼり録画を開始したとき。
  - 設定メニューで**「一時録画機能」**の設定を変えたとき。
  - ダビング画面を表示したとき。
  - DV入力を選択したとき。
  - プログレッシブスキャン出力を切り換えたとき。
  - DVモードのタイトルを再生または編集したとき。

音声について

音声を切り換える(DVD-RAM/-RW(VR)/-R(VR)、DV)

DVD（VR)に録画された二重音声のタイトルや、外部入力から録画したタイトルの再生音声切り換えと、画面表示について説明します。

[音声]ボタンを押すごとに切り換わります。

メディア	タイトルの種類	画面表示と出力される音声		
DVD-RAM DVD-RW(VR) DVD-R(VR)	他機で録画された二重音声のタイトル	主音声のみ 主 - 副	副音声のみ 主 - 副	主音声＋副音声 主 - 副
	外部入力から録画（ダビング)したタイトル	ステレオ L - R	左音声 L - R	右音声 L - R
Mini DV	外部入力から録画（ダビング)したタイトル	ステレオ音声 左　右	左音声 左	右音声 右

- デジタル音声出力端子から出力する場合は、設定メニューの**「デジタル音声出力」**を**「PCMのみ」**にしてください。他の設定では、音声が切り換わりません。（☞P69 - 04）
- DVD-R/-RW（ビデオモード)は、二重音声に対応していません。

ディスクの種類と音声出力の関係

設定メニュー「デジタル音声出力」のフォーマットです。（☞P69 - 04）

再生ディスク	音声フォーマット	デジタル音声出力の設定		
		ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
DVDビデオ	48/96kHz 16/20/24bit リニアPCM	48kHz 16bit リニアPCM		
	Dolby Digital	Dolby Digital ビットストリーム		48kHz 16bit リニアPCM
	MPEG	MPEGビットストリーム	48kHz 16bit リニアPCM	
	DTS	DTSビットストリーム	（出力なし）	
オーディオCD	DTS			
	CD-DA	44.1kHz 16bit リニアPCM		
ビデオCD、スーパービデオCD				
CD-ROM/R/RW	MP3&WMA	リニアPCM		

リモコンの設定を変更する

メモ

メーカー名	メーカー番号
ビクター	01
松下	02または03
三菱	04
ソニー	05
日立	06
東芝	07
三洋	08または09
シャープ	10
パイオニア	11
NEC	12
フナイ	13、15または16
アイワ	14

- リモコンの電池をはずすと、メーカー番号は01（ビクター）に戻ります。設定をやり直してください。

テレビのチャンネル切り換えは

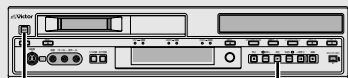
- リモコン切換スイッチを[TV]側にします。
- [数字]ボタンの[1～9]、[TV10～TV12]を押します。

メモ

- 設定メニューの「**ディマー（電源OFF時）**」を「**消灯**」にしていると、設定ができません。（☞**P72 - 25**）

リモコンコード	コード番号
DVD1	1
DVD2	2
DVD3	3
DVD4	4

（お買い上げ時：DVD3）

- リモコンコードDVD1～4は、当社製のビデオデッキのリモコンコードA～Dと同一です。

[電源]ボタン　[再生(▶)]ボタン

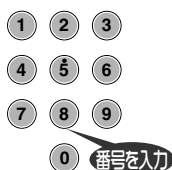
- 本機のリモコンで当社製DVDレコーダー「HM-VDR1」は、操作できません。

ビクター製以外のテレビを操作するには

本機のリモコンで、テレビの基本的な操作ができます。
他社のテレビを操作するには、設定を変更します。

準備 ● リモコンの切換スイッチを[TV]側にします。

1 [設定]ボタンを押したままにします

2 [数字]ボタンで、メーカー番号を入力します

《例》
- 松下製のときは[0]と[2]の順に押します。

3 [決定/OK]ボタンを押します

- このあと[設定]ボタンから指を離します。

4 [電源]ボタンを押します

- テレビの電源が入らないときは、もう一度手順 1 から操作してください。メーカー番号が複数あるメーカーのときは、違う番号でもお試しください。

ビクター製の複数のレコーダーを使用するときは

2台以上の機器で、リモコンの混信を避けるには、リモコンコードを変更します。

準備
- リモコンの切換スイッチを[DVD]側にします。
- 設定メニューの「**ディマー（電源OFF時）**」を「**点灯**」にしてください。（☞**P72 - 25**）（お買い上げ時：点灯）

1 [設定]ボタンを押したまま、[数字]ボタンでコード番号を入力し、[決定/OK]ボタンを押します

- このあと、[設定]ボタンから指を離します。

2 本体の[電源]ボタンを押して、電源を「切」にします

3 本体の[再生]ボタンを5秒以上押します

- 本体表示窓に現在設定されているリモコンコードが表示されます。

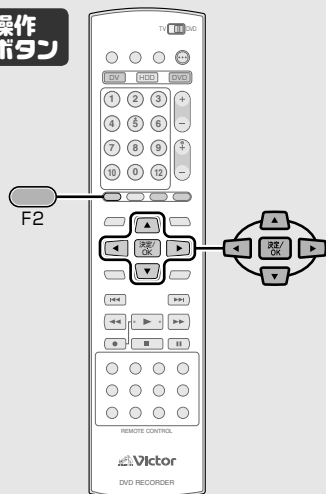
本体表示窓

DVD3

4 リモコンの[停止]ボタンを押します

- 本体表示窓にあらたに設定されたリモコンコードが、5秒間点滅して表示されます。

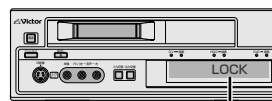
誤った操作を防ぐ／設定を保持する

操作ボタン

モードロックについて

- 停止中にモードロックを設定したときは、[再生(▶)]と[録画(●)]ボタンのみ有効です。
- ダビング中は、モードロックを設定できません。

操作できないようにする（モードロック）

モードロックを設定すると、本体およびリモコンのボタンが操作できなくなります。

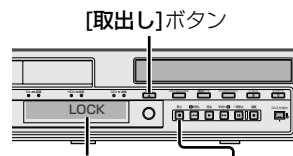
再生中または外部入力からの録画中に

「LOCK」表示

モードロックを解除するには

- 本体表示窓の「LOCK」が消えます。

ディスクトレイをロックする（トレイロック）

トレイロックを設定すると、[取出し]ボタンを押してもディスクトレイが開閉しません。

電源が「切」のときに

トレイロックを解除するには

- 本体表示窓に「UNLOCK」が表示されます。

設定を保持する（ラストファンクションメモリー）

本機の電源を切った（スタンバイ状態）とき、次の項目は、電源を切る前の設定内容が保持（記憶）されます。また、本機の電源プラグをコンセントから抜いても保持されます。

■ 外部入力（L-1/F-1/DV）

■ デッキ選択（DV/HDD/DVD）

■ 録画モード（☞**P31**）

■ 設定メニュー（☞**P69～73**）

■ 再生設定メニューのリピート再生（☞**P62**）
- HDDのリピート再生設定は保持されません。DVD側のみ保持されます。

設定メニューの項目と内容

- 本機の動作を決める基本設定を行います。[HDD]、[DVD]または[DV]ボタンを押して、HDD、DVDまたはDVモードにしてから、[設定]ボタンを押して設定メニュー画面を表示します。
- ［網掛け］は、お買い上げ時の設定状態です。

DVDビデオ設定＞言語設定

メニュー言語		
01	DVDビデオのメニュー画面の言語を設定します。選択した言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクに収録されている言語で表示します。	
	日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、デンマーク語	言語を設定
	AA、AB、...、ZU	言語コードで設定（☞**P92**）
音声言語		
02	DVDビデオで再生される音声言語を設定します。選択した言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクに収録されている音声言語で再生します。	
	日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、デンマーク語	言語を設定
	AA、AB、...、ZU	言語コードで設定（☞**P92**）
字幕言語		
03	DVDビデオで再生される字幕の言語を設定します。選択した言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクに収録されている字幕言語で表示します。	
	日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、デンマーク語	言語を設定
	AA、AB、...、ZU	言語コードで設定（☞**P92**）
	切	字幕の非表示

DVDビデオ設定＞音声出力設定

デジタル音声出力		
04	デジタル音声出力端子（光デジタル）に接続する機器に合わせて設定します。 また、二重音声などを再生する場合にも設定を変えます。（☞**P66**）	
	DOLBY DIGITAL/PCM	ドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプと接続するとき
	ストリーム/PCM	DTS、ドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプと接続するとき
	PCMのみ	リニアPCMのみ対応の機器（MDレコーダーなど）と接続するとき
アナログ音声出力		
05	DVDビデオを再生するときに、接続機器にあわせて設定します。	
	ステレオ	オーディオアンプやテレビと接続するとき
	ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド対応アンプと接続するとき
Dレンジコントロール		
06	ドルビーデジタルで再生するときに、ダイナミックレンジ（最大音量と最小音量の比）の圧縮率を設定します。	
	ノーマル	通常の圧縮率
	ワイドレンジ	圧縮なし（ディスクによっては、ノーマル選択時と変わらない場合があります）
	TVモード	圧縮率が高い（テレビ向きの設定です。小さい音でも良く聞こえます）

設定メニューの項目と内容（つづき）

DVDビデオ設定＞音声出力設定（つづき）

出力レベル		
07	音声出力レベルの設定をします	
	標準	出力レベルはそのまま
	小	出力レベルを小さく

DVDビデオ設定＞DISC再生設定

リジューム		
08	ディスクの再生を途中で停止したとき、その位置を記憶するかしないかを設定します。 この設定は、DVDビデオ、ファイナライズ後のDVD-RW/-R、ビデオCD、スーパービデオCDに対応しています。 その他のディスク（JPEGファイル不可）とHDDは、この設定に関係なくリジュームが働きます。	
	切	記憶しない
	入	挿入中のディスクのみ記憶
	ディスクリジューム	30枚分のディスクについて記憶

HDD/DVD設定＞HDD設定

一時録画機能		
09	一時録画の録画時間を設定します。（☞**P65**）	
	切	一時録画しない
	30分	30分間、一時録画する
	1時間	1時間、一時録画する
	3時間	3時間、一時録画する

HDD/DVD設定＞DVD設定

ライブラリ登録		
10	録画やダビングしたタイトル名などを、再生ナビ（DVDナビ）へ登録するかどうか設定します。	
	切	登録しない
	入	登録する
タイトル連続再生		
11	ディスクにある複数のタイトルを、連続して再生するかしないかを設定します。 （ファイナライズ済のDVD-RW/-R（ビデオモード）では、連続再生となります）	
	切	1つのタイトルが再生終了したら、外部入力画面へ
	入	ディスクにあるタイトルを順次、再生
ビデオモード記録アスペクト		
12	ビデオモードのディスクは、1つのタイトルで画面の縦横比が固定です。HDDからのダビングで縦横比が混在したタイトルを選んだ場合、優先する画面モードを設定します。	
	4:3優先	4:3で記録
	16:9優先	16:9で記録
MP3&WMA/JPEG		
13	1枚のディスクにMP3（WMA含む）、JPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生するか設定します。	
	MP3&WMA	MP3、WMAを再生
	JPEG	JPEGを再生

HDD/DVD設定＞DVD設定(つづき)

ファイナライズモード		
14	ファイナライズ後のDVDビデオを機器に入れたときの動作を設定します。設定は、DVD-R/-RW（ビデオモード）をファイナライズする前に行なってください。	
	ノーマルモード	停止状態のままにさせる場合
	メニューストップ	ディスクメニューを表示し、停止させる場合
	オートリピート	くり返し再生させる場合

HDD/DVD設定＞DISC設定

ファイナライズ	
15	DVD-R、DVD-RWのファイナライズを行います。設定項目ではありません。（☞**P42**）
ファイナライズ解除	
16	DVD-RWのファイナライズの解除を行います。設定項目ではありません。（☞**P43**）
フォーマット	
17	DVD-RAM、DVD-RW（VRモード、ビデオモード）、DVD-R（VRモード）のフォーマット（初期化）を行います。設定項目ではありません。（☞**P41**）

HDD/DVD設定＞共通設定

DV自動チャプター		
18	外部ビデオカメラとDV入力/出力端子を接続してダビングするとき、チャプター（マーク）を作成するかしないかの設定をします。（ビデオカメラで、[スタート/ストップ]ボタンを押して録画したときの場面を検出します）	
	切	チャプター（マーク）を作成しない
	入	チャプター（マーク）を作成する
DV12BIT音声		
19	HDDにDVモードで録画されたタイトルの再生音声を設定します。	
	音声1	録画時の音声を再生
	音声2	アフレコ音声を再生
	ミックス	録画時の音声とアフレコ音声を同時に再生
モーションサムネイル		
20	再生ナビ画面や編集画面上の左上画像を、選んだタイトルにするか、外部入力画面にするかを設定します。	
	切	外部入力画面になる
	入	選んだタイトルの画面になる

基本機能設定＞録画/再生設定

XPモード高音質録音		
21	XPモードで録画するときの音声モードを設定します。（HDD↔DVDのダビングでは、この設定は無効です）	
	DOLBY DIGITAL	通常の音声モード
	リニアPCM	高音質モード
ジャンプ時間		
22	[⏮/⏭]ボタンのジャンプ時間を設定します。（☞**P23**）	
	15分	15分ジャンプする
	30分	30分ジャンプする
	1時間	1時間ジャンプする

設定メニューの項目と内容(つづき)

基本機能設定＞表示設定

オンスクリーン		
23	操作内容を画面上に自動で表示するかどうか設定します。	
	切	通常表示はなし
	入	常に表示
	オート	操作時に、5秒間表示
ディマー(電源ON時)		
24	電源が「入」のときの、本体表示窓の明るさを設定します。	
	明	明るい
	暗	暗い
ディマー(電源OFF時)		
25	電源を「切」にしたときの、本体表示窓の点灯/消灯を設定します。	
	消灯	電源が「切」のとき、本体表示窓が消灯する
	点灯	電源が「切」のときでも、本体表示窓が点灯する
起動優先		
26	「入」に設定すると待機中の消費電力が増えますが、「切」よりも再生などの操作が早くできます。	
	切	通常は「切」にしておく(待機消費電力:2.2 W)
	入	電源を入れたあと、操作が早くできる(待機消費電力:13 W)

基本機能設定＞映像入力出力設定

TVのタイプ		
27	接続するテレビに合わせて設定します。	
	レターボックス	4:3のテレビと接続したとき(16:9の映像は、上下に黒帯が入る)
	パンスキャン	4:3のテレビと接続したとき(16:9の映像は、左右が欠ける)
	16:9オート	ワイドテレビ(16:9)と接続したとき
	16:9固定	16:9に固定されたテレビと接続したとき(4:3の映像は、本機で画面幅を自動調整)
映像入力 F-1		
28	前面の入力端子F-1を使用するとき、接続する映像端子に合わせて設定します。	
	映像	映像(黄色の端子)で接続する場合
	S映像	S映像(黒色の端子)で接続する場合
映像入力 L-1		
29	背面の入力端子L-1を使用するとき、接続する映像端子に合わせて設定します。	
	映像	映像(黄色の端子)で接続する場合
	S映像	S映像(黒色の端子)で接続する場合

初期設定＞メニュー背景

30	DVD-R/-RW(ビデオモード)をファイナライズするときに使用する背景画像、文字色をお好みの画像、文字色に変更(上書き)します。設定項目ではありません。

初期設定＞時計合わせ

31	時計合わせをします。(☞**P19**)

DV設定

DV側の設定です。

DV記録音声モード		
32	Mini DVテープに録画するときの音声モードを設定します。	
	12BIT	録画(録音)したあとでアフレコ編集が可能
	16BIT	高音質で録音する場合(アフレコ編集は不可)
再生12BIT音声		
33	Mini DVテープに録画されたタイトルの再生音声を設定します。	
	音声1	録画時の音声を再生
	音声2	アフレコ音声を再生
	ミックス	録画時の音声とアフレコ音声を同時に再生

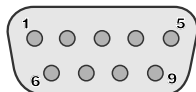
RS-232Cインターフェース

RS-232Cコマンドにて、本機を制御できます。
RS-232Cを使用する場合は、設定メニューの「起動優先」を「入」にしてください。(☞P72 - 26)

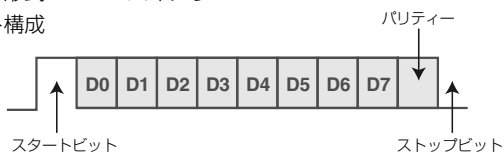
RS-232Cコマンド表

下位→ 上位↓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		Complete	Error	Cassette Out		Not Target					ACK	NAK				
1																
2																
3											Play					Stop
4			CueUp with Data													Still
5							Clear									
6	Chapter Sense	Title Sense														
7																
8	Chapter Search	Title Search													Date Preset	Clock Preset
9	Finalize	Cancel Disc Finalization	Disc Erase	TOP MENU	MENU	NEXT CHAPTER	PREV CHAPTER	Setup	SET	UP	DOWN	RIGHT	LEFT	Next Title	Prev Title	Remote Data
A	Standby On	Standby Off		Eject								FF	REW	Fwd Field Step	Rev Field Step	
B			CueUp with Data			Fwd Shtl	Rev Shtl		Select Preset	Select Sense					Date Data Sense	Clock Data Sense
C											Rec	Rec Pause				
D								Status Sense	Tc Data Sense	CTL Data Sense				JVC Status Sense		
E																
F	Command Target										Rec/Dub Request	Vtr Ind				

RS-232C仕様

本機

ピンNo.	信号	動作	信号の方向
2	TxD	送信データ	本機→PC
3	RxD	受信データ	本機←PC
5	GND	シグナルグランド	

モード　:非同期
キャラクター長　:8ビット
パリティー　:奇数(Odd)
スタートビット　:1
ストップビット　:1
データ速度　:9600 bps
データ形式　:バイナリ
ビット構成

パリティー
D0 D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7
スタートビット　ストップビット

- PCは、パソコンなどのコントローラーの意味です。
- パソコンと接続する場合は、ストレートケーブルを使用してください。
- コマンドを転送する際、各コマンドごとに50mm/秒以上の間隔をあけてください。

制御コマンド

HDD/DVD/Mini DVデッキの機能を制御します。

コマンド	説　　明
3A	Play : 選択したデッキを再生します。
3F	Stop : 選択したデッキを停止します。 ● 停止状態中に押した場合は、リジュームをがクリアされます。（HDD/DVDデッキ） ● 「FA : Rec Request」がクリアされます。
42または B2	CueUp with Data : テープの希望のポジションを指定できます。（Mini DVデッキ） ● データフォーマットについては、☞**P77**をご覧ください。
4F	Still : 選択したデッキを一時停止します。
56	Clear : エラーの解除を行います。
80	Chapter Search : 指定したチャプターを検索して、再生します。（HDD/DVDデッキ） ● データフォーマットについては、☞**P77**をご覧ください。
81	Title Search : 指定したオリジナルまたはプレイリストのタイトルを検索して、タイトルの始めから再生します。（HDD/DVDデッキ） ● データフォーマットについては、☞**P77**をご覧ください。
8E	Date Preset : 日付の設定を行います。 ● データフォーマットについては、☞**P77**をご覧ください。
8F	Clock Preset : 時刻の設定を行います。 ● データフォーマットについては、☞**P77**をご覧ください。
90	Finalize : ディスクのファイナライズを行います。（HDD/DVDデッキ）
91	Cancel Disc Finalization : ディスクのファイナライズを解除します。（HDD/DVDデッキ）
92	Disc Erase : リライタブルディスクの消去を行います。
93	TOP MENU : ディスクのトップメニューを表示／非表示します。（DVDデッキ）
94	MENU : ディスクのメニューを表示／非表示します。（DVDデッキ）
95	NEXT CHAPTER : 次のチャプターに移動します。リモコンのスキップボタン（▶▶I）を押したときと同じ機能です。（HDD/DVDデッキ）
96	PREV CHAPTER : 前のチャプターに移動します。リモコンのスキップボタン（I◀◀）を押したときと同じ機能です。（HDD/DVDデッキ）
97	Setup : 設定、編集、再生ナビ、ダビング画面を表示／非表示します。 97 → 30 : 画面を閉じます。 97 → 31 : メニュー画面を表示します。 97 → 32 : ナビゲーション画面を表示します。（HDD/DVDデッキ） 97 → 35 : 編集画面を表示します。（HDD/DVDデッキ） 97 → 37 : ダビング画面を表示します。
98	SET : 決定ボタン
99	UP : 上矢印ボタン
9A	DOWN : 下矢印ボタン
9B	RIGHT : 右矢印ボタン
9C	LEFT : 左矢印ボタン
9D	Next Title : 次のタイトルに移動します。リモコンのスキップボタン（▶▶I）を押したときと同じ機能です。（DVDデッキ）
9E	Prev Title : 前のタイトルに移動します。リモコンのスキップボタン（I◀◀）を押したときと同じ機能です。（DVDデッキ）
9F	Remote Data : RS232C経由でワイヤードリモコンと同じコードを送ります。 ● データフォーマットについては、☞**P78**をご覧ください。
A0	Standby On : 電源オン

RS-232Cインターフェース（つづき）

コマンド	説明
A1	Standby Off : 電源オフ
A3	Eject : HDD/DVDデッキ : DVD トレイの開閉 Mini DVデッキ : カセットの取り出し
AB	FF : HDD/DVDデッキ : 再生中のみ動作します。早送り再生となります。 ● 早送り再生のスピードについては、☞**P23**をご覧ください。 Mini DVデッキ : 早送り。再生中は早送り再生となります。 ● 早送り再生のスピードについては、☞**P25**をご覧ください。
AC	REW : HDD/DVDデッキ : 再生中のみ動作します。逆再生となります。 ● 逆再生のスピードについては、☞**P23**をご覧ください。 Mini DVデッキ : 巻き戻し。再生中は逆再生となります。 ● 逆再生のスピードについては、☞**P25**をご覧ください。
AD	Fwd Field Step : 順方向のコマ送りキー。静止画モード中にこのコマンドを受け付けると、順方向に1フレーム（または1フィールド）進ませます。
AE	Rev Field Step : 逆方向のコマ送りキー。静止画モード中にこのコマンドを受け付けると、逆方向に1フレーム（または1フィールド）戻します。
B5	Fwd Shtl : 再生中のみ動作します。スロー再生／早送り再生となります。 B5 → 30 : 一時停止 B5 → 31 : 遅いスロー再生 B5 → 33 : 早いスロー再生 B5 → 35 : 1x B5 → 36 : 早い早送り再生 B5 → 37 : さらに早い早送り再生 B5 → 38 : もっとも早い早送り再生
B6	Rev Shtl : 再生中のみ動作します。逆転スロー再生／早戻し再生となります。 B6 → 30 : 一時停止 B6 → 31 : 遅い逆転スロー再生 B6 → 33 : 早い逆転スロー再生 B6 → 35 : − 1x B6 → 36 : 早い早戻し再生 B6 → 37 : さらに早い早戻し再生 B6 → 38 : もっとも早い早戻し再生
B8	Select Preset : 入出力、録画モード、音声選択、字幕選択の設定を行います。 ● データフォーマットについては、☞**P79**〜**81**をご覧ください。
CA	Rec :「FA : Rec/Dub Request」にて録画が許可されている場合に、選択されているデッキの録画を始めます。
CB	Rec Pause :「FA : Rec/Dub Request」にて録画が許可されている場合に、選択されているデッキの録画を一時停止します。（Mini DV/DVDデッキ）
F0	Command Target : F0 → 30 : Mini DVデッキを選択します。 F0 → 34 : HDDデッキを選択します。 F0 → 38 : DVDデッキを選択します。
FA	Rec/Dub Request : 録画許可を出します。 ● このコマンドは、「Rec」、「Rec Pause」または「Stop」コマンドを送信するまで維持されます。また、「CA : Rec」、「CB : Rec Pause」コマンドを送るときは、このコマンドを前もって送る必要があります。
FB	VTR Ind : 接続されている機器が、VTRであることを調べるコマンドです。（VTRはACKを返します）

■42またはB2 : CueUp with Data

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト	7バイト	8バイト
Cue Position	時（10の位）	時（1の位）	分（10の位）	分（1の位）	秒（10の位）	秒（1の位）	フレーム（10の位）	フレーム（1の位）
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例 : 01:23:45:15	30	31	32	33	34	35	31	35

例 : 1時間23分45秒15フレーム目に設定する場合

■80 : Chapter Search

	1バイト	2バイト	3バイト
Chapter Search	100の位	10の位	1の位
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*
例 : 012	30	31	32

例 : チャプター12を検索する場合

■81 : オリジナルのTitle Search

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト
Title Search(オリジナル)	30	100の位	10の位	1の位
アスキーコード(30 - 39)	30	3*	3*	3*
例 : 345	30	33	34	35

例 : オリジナルのタイトル345を検索する場合

■81 : プレイリストのTitle Search

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト
Title Search(プレイリスト)	38	100の位	10の位	1の位
アスキーコード(30 - 39)	38	3*	3*	3*
例 : 28	38	30	32	38

例 : プレイリストのタイトル28を検索する場合

■8E : Date Preset

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト
Date Preset	月（10の位）	月（1の位）	日（10の位）	日（1の位）	年（10の位）	年（1の位）
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例 : 01.17.2006	30	31	31	37	30	36

例 : 2006年1月17日に設定する場合

■8F : Clock Preset

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト
Clock Preset	時（10の位）	時（1の位）	分（10の位）	分（1の位）	秒（10の位）	秒（1の位）
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例 : 12:34:56	31	32	33	34	35	36

例 : 12時34分56秒に設定する場合

RS-232Cインターフェース（つづき）

■ 9F : リモートデータ（ワイヤードリモコン用兼用）

RS-232C経由でワイヤードリモコンと同じコードを送ります。備考欄に何も記載されていない項目は、HDD/DVD/Mini DV時に動作します。

コード	項　目	備　考
03	停止	
04	イジェクト	Mini DVデッキ
06	早送り／スピード+	
07	早戻し／スピード−	
0B	電源 入り／切り	
0C	再生	
0D	一時停止／静止画	
0E	ジャンプ+	HDD/DVDデッキ
0F	ジャンプ−	HDD/DVDデッキ
14	スキップ+	HDD/DVDデッキ
15	スキップ−	HDD/DVDデッキ
17	音声	
18	チャンネル−	
19	チャンネル+	
20	数字ボタン0 (AUX)	
21	数字ボタン1	HDD/DVDデッキ
22	数字ボタン2	HDD/DVDデッキ
23	数字ボタン3	HDD/DVDデッキ
24	数字ボタン4	HDD/DVDデッキ
25	数字ボタン5	HDD/DVDデッキ
26	数字ボタン6	HDD/DVDデッキ
27	数字ボタン7	HDD/DVDデッキ
28	数字ボタン8	HDD/DVDデッキ
29	数字ボタン9	HDD/DVDデッキ
31	録画モード(SP/LP/EP…)	
32	DVDデッキ	
33	チャンネル0 (AUX)	
34	ダビング	
35	キャンセル	HDD/DVDデッキ
37	設定	
38	表示切換	
3C	決定／OK	
3E	画面表示	
43	DVデッキ	
44	HDDデッキ	
4C	アフレコ	Mini DVデッキ
7C	SP	Mini DVデッキ
7D	LP	Mini DVデッキ
80	上矢印ボタン	
81	メニュー	DVDデッキ
82	右矢印ボタン	
84	下矢印ボタン	
86	左矢印ボタン	
87	開／閉	DVDデッキ
8C	インサート	MiniDVデッキ
8E	プログレッシブ	HDD/DVDデッキ

コード	項　目	備　考
8F	トップメニュー	DVDデッキ
90	メモリー	HDD/DVDデッキ
96	CMスキップ	
97	iLINK	Mini DVデッキ
AF	逆転コマ送り	
B0	逆転スロー D	
B1	シャトル −C	
B2	シャトル −B	
B3	シャトル −A	
B4	シャトル −2	
B5	シャトル −1	
B6	逆転スロー B	
B7	逆転スロー C	
B8	スロー C	
B9	スロー B	
BA	シャトル +1	
BB	シャトル +2	
BC	シャトル +A	
BD	シャトル +B	
BE	シャトル +C	
BF	スロー D	
C0	アングル／現在録画確認	アングル : DVDデッキ 現在録画確認 : HDD/DVDデッキ
C4	字幕	DVDデッキ
CC	録画	
CD	録画一時停止	
D4	リターン	
D6	DV/HDD/DVD	
D8	ジョグ −1	HDD/DVDデッキ
D9	ジョグ −1/6	HDD/DVDデッキ
DA	ジョグ +1/6	HDD/DVDデッキ
DB	ジョグ +1	HDD/DVDデッキ
DC	ちょっと見バック	
DD	編集	HDD/DVDデッキ
E0	ナビゲーション	HDD/DVDデッキ
E1	L-1 S映像入力選択	Mini DVデッキ
E2	L-1 映像入力選択	Mini DVデッキ
E6	出力選択 ALL	
E7	出力選択 DV	
E8	出力選択 ALL/DV	
E9	オンエア	HDD/DVDデッキ
EC	F-1 S映像入力選択	Mini DVデッキ
ED	コマ送り	
EE	F-1 映像入力選択	Mini DVデッキ
F2	モードロック	
F5	ファイナライズ	HDD/DVDデッキ

■ B8：入力／出力選択

		1バイト	2バイト
外部入力選択	L-1 映像	30	31
	L-1 S映像	30	39
	F-1 映像	30	35
	F-1 S映像	30	3D
	DV	30	34
出力選択	共通出力	32	30
	強制DV出力	32	38

■ B8：録画モード選択

	1バイト	2バイト		1バイト	2バイト		1バイト	2バイト
XP	34	30	FR150	34	93	FR265	34	AA
SP	34	31	FR155	34	94	FR270	34	AB
LP	34	32	FR160	34	95	FR275	34	AC
EP	34	33	FR165	34	96	FR280	34	AD
DV	34	38	FR170	34	97	FR285	34	AE
FR60	34	81	FR175	34	98	FR290	34	AF
FR65	34	82	FR180	34	99	FR295	34	B0
FR70	34	83	FR185	34	9A	FR300	34	B1
FR75	34	84	FR190	34	9B	FR305	34	B2
FR80	34	85	FR195	34	9C	FR310	34	B3
FR85	34	86	FR200	34	9D	FR315	34	B4
FR90	34	87	FR205	34	9E	FR320	34	B5
FR95	34	88	FR210	34	9F	FR325	34	B6
FR100	34	89	FR215	34	A0	FR330	34	B7
FR105	34	8A	FR220	34	A1	FR335	34	B8
FR110	34	8B	FR225	34	A2	FR340	34	B9
FR115	34	8C	FR230	34	A3	FR345	34	BA
FR120	34	8D	FR235	34	A4	FR350	34	BB
FR125	34	8E	FR240	34	A5	FR355	34	BC
FR130	34	8F	FR245	34	A6	FR360	34	BD
FR135	34	90	FR250	34	A7	FR420	34	C9
FR140	34	91	FR255	34	A8	FR480	34	D5
FR145	34	92	FR260	34	A9			

RS-232Cインターフェース（つづき）

■ B8：音声言語選択

	1バイト	2バイト		1バイト	2バイト		1バイト	2バイト
日本語	39	11	HI	39	3F	RM	39	6D
英語	39	12	HR	39	40	RN	39	6E
ドイツ語	39	13	HU	39	41	RO	39	6F
フランス語	39	14	HY	39	42	RU	39	70
イタリア語	39	15	IA	39	43	RW	39	71
スペイン語	39	16	IE	39	44	SA	39	72
オランダ語	39	17	IK	39	45	SD	39	73
スウェーデン語	39	18	IN	39	46	SG	39	74
ノルウェー語	39	19	IS	39	47	SH	39	75
フィンランド語	39	1A	IW	39	48	SI	39	76
デンマーク語	39	1B	JI	39	49	SK	39	77
AA	39	1C	JW	39	4A	SL	39	78
AB	39	1D	KA	39	4B	SM	39	79
AF	39	1E	KK	39	4C	SN	39	7A
AM	39	1F	KL	39	4D	SO	39	7B
AR	39	20	KM	39	4E	SQ	39	7C
AS	39	21	KN	39	4F	SR	39	7D
AY	39	22	KO	39	50	SS	39	7E
AZ	39	23	KS	39	51	ST	39	7F
BA	39	24	KU	39	52	SU	39	80
BE	39	25	KY	39	53	SW	39	81
BG	39	26	LA	39	54	TA	39	82
BH	39	27	LN	39	55	TE	39	83
BI	39	28	LO	39	56	TG	39	84
BN	39	29	LT	39	57	TH	39	85
BO	39	2A	LV	39	58	TI	39	86
BR	39	2B	MG	39	59	TK	39	87
CA	39	2C	MI	39	5A	TL	39	88
CO	39	2D	MK	39	5B	TN	39	89
CS	39	2E	ML	39	5C	TO	39	8A
CY	39	2F	MN	39	5D	TR	39	8B
DZ	39	30	MO	39	5E	TS	39	8C
EL	39	31	MR	39	5F	TT	39	8D
EO	39	32	MS	39	60	TW	39	8E
ET	39	33	MT	39	61	UK	39	8F
EU	39	34	MY	39	62	UR	39	90
FA	39	35	NA	39	63	UZ	39	91
FJ	39	36	NE	39	64	VI	39	92
FO	39	37	OC	39	65	VO	39	93
FY	39	38	OM	39	66	WO	39	94
GA	39	39	OR	39	67	XH	39	95
GD	39	3A	PA	39	68	YO	39	96
GL	39	3B	PL	39	69	ZH	39	97
GN	39	3C	PS	39	6A	ZU	39	98
GU	39	3D	PT	39	6B			
HA	39	3E	QU	39	6C			

■ B8：字幕言語選択

	1バイト	2バイト		1バイト	2バイト		1バイト	2バイト
OFF	3C	10	HA	3C	3E	QU	3C	6C
日本語	3C	11	HI	3C	3F	RM	3C	6D
英語	3C	12	HR	3C	40	RN	3C	6E
ドイツ語	3C	13	HU	3C	41	RO	3C	6F
フランス語	3C	14	HY	3C	42	RU	3C	70
イタリア語	3C	15	IA	3C	43	RW	3C	71
スペイン語	3C	16	IE	3C	44	SA	3C	72
オランダ語	3C	17	IK	3C	45	SD	3C	73
スウェーデン語	3C	18	IN	3C	46	SG	3C	74
ノルウェー語	3C	19	IS	3C	47	SH	3C	75
フィンランド語	3C	1A	IW	3C	48	SI	3C	76
デンマーク語	3C	1B	JI	3C	49	SK	3C	77
AA	3C	1C	JW	3C	4A	SL	3C	78
AB	3C	1D	KA	3C	4B	SM	3C	79
AF	3C	1E	KK	3C	4C	SN	3C	7A
AM	3C	1F	KL	3C	4D	SO	3C	7B
AR	3C	20	KM	3C	4E	SQ	3C	7C
AS	3C	21	KN	3C	4F	SR	3C	7D
AY	3C	22	KO	3C	50	SS	3C	7E
AZ	3C	23	KS	3C	51	ST	3C	7F
BA	3C	24	KU	3C	52	SU	3C	80
BE	3C	25	KY	3C	53	SW	3C	81
BG	3C	26	LA	3C	54	TA	3C	82
BH	3C	27	LN	3C	55	TE	3C	83
BI	3C	28	LO	3C	56	TG	3C	84
BN	3C	29	LT	3C	57	TH	3C	85
BO	3C	2A	LV	3C	58	TI	3C	86
BR	3C	2B	MG	3C	59	TK	3C	87
CA	3C	2C	MI	3C	5A	TL	3C	88
CO	3C	2D	MK	3C	5B	TN	3C	89
CS	3C	2E	ML	3C	5C	TO	3C	8A
CY	3C	2F	MN	3C	5D	TR	3C	8B
DZ	3C	30	MO	3C	5E	TS	3C	8C
EL	3C	31	MR	3C	5F	TT	3C	8D
EO	3C	32	MS	3C	60	TW	3C	8E
ET	3C	33	MT	3C	61	UK	3C	8F
EU	3C	34	MY	3C	62	UR	3C	90
FA	3C	35	NA	3C	63	UZ	3C	91
FJ	3C	36	NE	3C	64	VI	3C	92
FO	3C	37	OC	3C	65	VO	3C	93
FY	3C	38	OM	3C	66	WO	3C	94
GA	3C	39	OR	3C	67	XH	3C	95
GD	3C	3A	PA	3C	68	YO	3C	96
GL	3C	3B	PL	3C	69	ZH	3C	97
GN	3C	3C	PS	3C	6A	ZU	3C	98
GU	3C	3D	PT	3C	6B			

RS-232Cインターフェース（つづき）

レスポンスコマンド

デッキ側から送られてくるコマンドです。

コマンド	説　　　明
01	Complete : CueUp With Dataなどで、指示された動作が全て終了したときにデッキ側から出力されます。
02	Error : 前後関係などから、受け付け不可能なコマンドを受けるとデッキ側から出力されます。 ● この状態のときにコマンドを送っても無効です。ただし、Status Senseにのみリターンを返します。 ● エラー状態の解除は、「56 : Clear」にて行います。また、コマンド全体を取り消す場合も、「56 : Clear」を使用します。
05	Not Target : CueUp With Dataなどで、指示された動作が正常に終了できないときにデッキ側から出力されます。
0A	ACK : 定義されたコマンドを受け取ったときに返すコマンドです。
0B	NAK : 未定義、または存在しないコマンドを受け取ったときに返すコマンドです。

情報取得コマンド

デッキ側の情報（動作状態など）を得られます。

コマンド	説　　　明
03	Cassete Out : 「Eject」を実行後、カセットが取り出されたときにデッキ側から出力されます。
60	Chapter Sense : *現在のチャプター番号が得られます。（HDD/DVDデッキ）
61	Title/Track Sense : *オリジナルまたはプレイリストの現在のタイトル番号を得られます。（HDD/DVDデッキ）
B9	Select Sense : *入力、出力、録画モード、音声言語、字幕言語の状態を得られます。
BE	Date Data Sense : *現在の日付データを得られます。
BF	Clock Data Sense : *現在の時刻データを得られます。
D7	Status Sense : *デッキの状態を得られます。
D8	TC Data Sense : *選択したデッキの現在の録画モードによる残量時間を得られます。
D9	CTL Data Sense : *選択したデッキの経過カウンターを得られます。
DD	JVC Status Sense : *デッキの状態を得られます。

*データフォマットについては、☞**P82～85**をご覧ください。

■ Chapter Sense

	1バイト	2バイト	3バイト
Chapter Sense	100の位	10の位	1の位
60	3*	3*	3*
例 : 012	30	31	32

例 : 現在のチャプター番号が12の場合

■ オリジナルのTitle/Track Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト
Title/Track Sense（オリジナル）	30	100の位	10の位	1の位
61	30	3*	3*	3*
例 : 345	30	33	34	35

例 : オリジナルのタイトル番号が345の場合

■ プレイリストのTitle/Track Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト
Title/Track Sense(プレイリスト)	38	100の位	10の位	1の位
61	38	3*	3*	3*
例：028	38	30	32	38

例：プレイリストのタイトル番号が28の場合

■ Select Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト
Select Sense	外部入力	出力	録画モード	音声言語	字幕言語
B9	3*	3*	**	**	**
例：3930311211	39	30	31	12	11

例：デッキ側の状態が「3930311211」の場合
外部入力：L-1 S映像
出力：共通出力
録画モード：SP
音声言語：英語
字幕言語：日本語

■ Date Data Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト
Date Data Sense	月（10の位）	月（1の位）	日（10の位）	日（1の位）	年（10の位）	年（1の位）
BE	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：01.17.2006	30	31	31	37	30	36

例：2006年1月17日の場合
- 日付が設定されていない場合は、「－」(0x2D)に固定されます。

■ Clock Data Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト
Clock Data Sense	時（10の位）	時（1の位）	分（10の位）	分（1の位）	秒（10の位）	秒（1の位）
BF	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：12:34:56	31	32	33	34	35	36

例：12時34分56秒の場合
- 時刻が設定されていない場合は、「－」(0x2D)に固定されます。

RS-232Cインターフェース（つづき）

■ Status Data Sense

D7 STATUS SENSE	1バイト			2バイト	
	Mini DV	HDD	DVD	Mini DV	HDD/DVD
ビット7	0（固定）	1（固定）	1（固定）	VideoがEE	VideoがEE
ビット6	0（固定）	0（固定）	1（固定）	AudioがEE	AudioがEE
ビット5	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）
ビット4	録画禁止状態	録画禁止状態	録画禁止状態	0（固定）	0（固定）
ビット3	カセット未挿入	ディスク未挿入	ディスク未挿入	VTRの異常が発生	デッキの異常が発生
ビット2	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）
ビット1	0（固定）	0（固定）	0（固定）	スタートセンサー	0（固定）
ビット0	RS-232C コマンドエラー （「56」コマンドで クリアーする）	RS-232C コマンドエラー （「56」コマンドで クリアーする）	RS-232C コマンドエラー （「56」コマンドで クリアーする）	エンドセンサー	0（固定）

D7 STATUS SENSE	3バイト		4バイト	
	Mini DV	HDD/DVD	Mini DV	HDD/DVD
ビット7	0（固定）	0（固定）	再生中	再生中
ビット6	0（固定）	0（固定）	早送り中	0（固定）
ビット5	0（固定）	0（固定）	巻き戻し中	0（固定）
ビット4	0（固定）	0（固定）	停止中	停止中
ビット3	0（固定）	0（固定）	スタンバイ中 （本体の電源はオフ）	スタンバイ中 （本体の電源はオフ）
ビット2	0（固定）	リピート再生中 （一時停止含む）	カセット取り出し中	0（固定）
ビット1	CueUp中	0（固定）	録画中	録画中
ビット0	0（固定）	0（固定）	アフレコ編集中	0（固定）

D7 STATUS SENSE	5バイト	
	Mini DV	HDD/DVD
ビット7	一時停止中（静止画時に、「再生中」と同時に1にする。録画一時停止時に、「録画中」と同時に1にする）	一時停止中（静止画時に、「再生中」と同時に1にする。録画一時停止時に、「録画中」と同時に1にする）
ビット6	0（固定）	0（固定）
ビット5	逆方向のシャトルサーチ（静止画を除く）	逆方向のシャトルサーチ（静止画を除く）
ビット4	順方向のシャトルサーチ（静止画を除く）	順方向のシャトルサーチ（静止画を除く）
ビット3	スピードコード3	スピードコード3
ビット2	スピードコード2	スピードコード2
ビット1	スピードコード1	スピードコード1
ビット0	スピードコード0	スピードコード0

■ TC Data Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト	7バイト	8バイト
TC Data Sense	時（10の位）	時（1の位）	分（10の位）	分（1の位）	秒（10の位）	秒（1の位）	フレーム（10の位）	フレーム（1の位）
D8	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：01:23:45:00	30	31	32	33	34	35	30	30

例：選択したデッキの現在の録画モードによる残量時間が、1時間23分45秒の場合

- Mini DV：時と分のみ
- HDD/DVD：時、分、秒
- フレームは、0固定です。

■ CTL Data Sense

	1バイト	2バイト	3バイト	4バイト	5バイト	6バイト	7バイト	8バイト
CTL Data Sense	時（10の位）	時（1の位）	分（10の位）	分（1の位）	秒（10の位）	秒（1の位）	フレーム（10の位）	フレーム（1の位）
D9	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：01:23:45:00	30	31	32	33	34	35	30	30

例：選択したデッキの経過カウンターが、1時間23分45秒の場合

■ JVC Status Sense

<table>
<tr><th rowspan="2">DD JVC Status Sense</th><th colspan="2">1バイト</th><th colspan="2">2バイト</th><th colspan="2">3バイト</th><th colspan="2">4バイト</th></tr>
<tr><th>Mini DV</th><th>HDD/DVD</th><th>Mini DV</th><th>HDD/DVD</th><th>Mini DV</th><th>HDD/DVD</th><th>Mini DV</th><th>HDD/DVD</th></tr>
<tr><td>ビット7</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td></tr>
<tr><td>ビット6</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td></tr>
<tr><td>ビット5</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td></tr>
<tr><td>ビット4</td><td>LPモードで録画されたテープの再生中</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td></tr>
<tr><td>ビット3</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td rowspan="4">以下のディスクタイプの表を参照</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>ダビング中（一停止含む）</td><td>ダビング中（一停止含む）</td></tr>
<tr><td>ビット2</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>アフレコ編集中（一停止含む）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td></tr>
<tr><td>ビット1</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>1（固定）</td><td>インサート編集中(一停止含む)</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td></tr>
<tr><td>ビット0</td><td>1（固定）</td><td>1（固定）</td><td>0（固定）</td><td>ダビング中（一停止含む）</td><td>ダビング中（一停止含む）</td><td>0（固定）</td><td>0（固定）</td></tr>
</table>

■ ディスクタイプ

	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
DVD	0	0	0	0
DVD-RAM	0	0	0	1
DVD-R	0	0	1	0
DVD-RW	0	0	1	1
DVD+R	0	0	0	0
DVD+RW	0	0	0	0
VCD	0	1	1	0
CD	0	1	1	1
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
ディスク無し	1	1	1	1

Q&A

	ここがわからない	お答えします
準備	再生できないディスクを知りたい	ディスクについてをご覧ください。（☞P8）
	カートリッジ入りのDVD-RAMは使えるの？	
	PAL方式のDVDビデオは見られるの？	
	自分でHDDの載せ換えはできるの？	できません。本機のHDDには、動作に必要なソフトウェアが記録されていますので、市販のHDDを乗せ換えても動作しません。
	テレビに映像（ビデオ）入力がないが、見るための方法はあるの？	別売りのRFコンバーター（RF-VD550T:ビクターサービス取り扱い商品）をご使用ください。接続などについてはRFコンバーターの取扱説明書をご覧ください。
	本機とテレビの間にビデオデッキをつないでいいの？	本機の映像出力は、直接テレビとつないでください。 ビデオデッキを経由してつなぐと、コピー防止機能により再生中の映像が乱れることがあります。
設定	各種設定場面で前の画面に戻るには？	リモコンの[リターン]ボタンを押します。
録画	HDD側とDVD側へ同時に録画できるの？	できません。HDD側またはDVD側とDV側でできます。
	ディスクの録画可能時間いっぱいまで録画した場合、古い録画部分は消えるの？	消えません。録画を停止します。
	録画の一時停止中、外部入力の切り換えはできるの？	HDD側 ： できません。 DVD側 ： できます。ただし、DV入力へは切り換えできません。DV入力の録画中は、切り換えできません。 DV側 ： できます。 一時停止のしかたは☞P40
	二ヵ国語（二重音声）のタイトルをDVD-Rに録画（ダビング）したら、主音声と副音声の切り換えができない	DVD-RW/-R（ビデオモード）は、二重音声に対応していません。映画など二重音声のタイトルをダビングするときは、DVD-RAM、DVD-RW（VRモード）を使用されることをおすすめします。 また、外部入力からの録画の場合は、主音声、副音声を一緒に録音することはできません。（☞P66）
	録画中に別のタイトルを録画したい	HDD/DVD側とDV側で、それぞれに録画できます。 ①HDD/DVD側またはDV側で録画します。 ②録画していないモードに切り換えます。 （HDD/DVD側で録画しているときは[DV]ボタン、DV側で録画しているときは[HDD]または[DVD]ボタンを押します） ③切り換えたモード側で録画します。
	録画時のチャプター（マーク）は？	（下表参照）

	HDD、DVD-RAM、DVD-RW/-R（VRモード）	DVD-RW/-R（ビデオモード）
外部入力からの録画時	外部入力（L-1など）から録画したときは、マークが付きません	約5分ごとに自動で付く
ダビング時	マークがコピーされる※1※2	マークがコピーされる※1

※1　プレイリストのダビングでは、オリジナルのタイトルのチャプター（マーク）はコピーされません。ただし、シーンの切り換え点に付くチャプター（マーク）はコピーされます。

※2　外部入力から録画したタイトルをダビングするときは、チャプター（マーク）を付けてからダビングしてください。

	ここがわからない	お答えします
再生	市販のDVDビデオで操作したとおりにならないことがある	DVDビデオやビデオCDには、ディスク制作者が再生の制御をさせるディスクがあります。この場合、操作した希望の動作をしないことがあります。
	ビデオCDの逆転再生(－1倍速再生)はできるの？	できません。逆転スロー再生もできません。
	MP3ファイルとJPEGファイルの両方が記録されているCD-Rは再生できるの？	できます。**MP3 & WMA・JPEGファイルを再生する** をご覧ください。(☞**P28**)
	HDDの1.5倍速再生ができない	HDD側またはDVD側で録画中は、1.5倍速再生はできません。録画が終了してから、操作してください。
	プログレッシブスキャン出力で見たい(本体表示窓 P マーク点灯)	プログレッシブスキャン出力でご覧になりたいときは、リモコンの**[プログレッシブ]**ボタンを3秒以上押して、本体表示窓に P マークを点灯させてください。
	リジュームの記憶はいつ取り消されるの？	次の操作をすると、リジュームの記憶が取り消されます。 ● 停止中に**[停止]**ボタンを押す。 ● DVDビデオのメニュー画面からタイトルを選ぶ。 ● さらに**「リジューム」**設定が**「入」**のとき ● 電源を切る。 ● ディスクを取り出す。
ダビング	市販のDVDビデオをHDD側にダビングできるの？	市販のDVDビデオは、著作権保護のためコピーガードされています。この場合はダビングできません。
	DV端子で接続したビデオカメラを制御できるの？	できますが、できない機種があります。
	HDD⇔DVDダビング時、タイトルの情報はコピーされるの？	録画日時、チャンネル、サムネイル画像、チャプター(マーク)はコピーされます。プレイリストの場合は、チャプター(マーク)はコピーされません。ただし、シーンの切り換え点に付くチャプター(マーク)はコピーされます。
	HDD側からDVD側へダビングするとき、録画モードの変更はできるの？	高速ダビング: HDD側と同じ録画モードでダビングします。 ぴったりダビング: HDD側と同じ録画モードでダビングしますが、ディスクの録画残量時間が不足するときは、録画モードを下げてダビングします。 お好みダビング: HDD側の録画モードより低いモードで変更できます。
	HDD側からDVD側への最短ダビング時間は？	高速ダビング時の理論値として以下の数値をお知らせします。(XPモードで録画した1時間のタイトルの場合) DVD-RAM(Ver.2.1/3X)　：約20分(最大3倍速) DVD-RW(Ver.1.2/4X)　：約15分(最大4倍速) DVD-R(General Ver.2.0/8X)　：約8分(最大8倍速)
	5.1チャンネル対応のタイトルはダビングできるの？	5.1チャンネル対応のタイトルはダビングできません。5.1チャンネル以外の音声(2チャンネル音声など)が含まれている場合は、5.1チャンネル以外の音声でダビングします。
編集	録画したタイトルが編集できない	DVDでサムネイルの左下にタイトル保護マークが表示されている場合は、編集できません。タイトル保護を解除してから編集してください。(☞**P55**)
	録画したタイトルの途中を削除したい	HDD、DVD-RAM、DVD-RW/-R(VRモード)で可能です。(☞**P56**)
	タイトルを削除したあと操作できない	一度に多くのタイトルを削除したときは、次の操作ができるまでしばらくお待ちください。

故障かな？ と思ったら

	症　　状	処　　　置
リセット	電源プラグを差し込んだあと、長く「PLEASE」と「WAIT」が交互に表示、または「RESET」と点滅表示している。故障では？	● 動作開始の準備時間は、通常40秒ほどかかります。その間、操作はできません。もし、表示が消えないようでしたら、リセットをしてください。 本体の［**停止**］ボタンと［**電源**］ボタンを同時に2秒以上押します。もしくは、電源プラグを一度抜いて、5秒ほど待ってから差してください。 ● 何回もこの状態が発生するようでしたら、最寄りの**ビクターサービス窓口**へご連絡ください。（☞**P94**）
	本体表示窓に「WAIT」が点滅したまま、動作しない	● 本機が異常な記録データを自動修復しています。表示が時計表示になるまで、そのまましばらくお待ちください。修復には1時間以上かかる場合があります。
	ディスクトレイが出ない	● 次の方法で強制的に取り出すことができます。 ①本体の［**停止**］ボタンと［**電源**］ボタンを同時に2秒以上押します。 ②ディスクトレイが出るまで、本体の［**取出し**］ボタンを押し続けます。（30秒ぐらいかかります） ③ディスクを取り出したあと、［**取出し**］ボタンを押してディスクトレイを閉じます。（電源が切れます）
一般	電源が入らない	● 電源コードがコンセントからはずれていませんか？
	入力切り換えができない	● 録画中は、入力を変えることはできません。
	リモコンが働かない	● リモコンコード（1/2/3/4）が合っていますか？（☞**P67**） ● 電池が消耗していませんか？ ● 乾電池を取り出して、5分以上たってから再度乾電池を入れ、操作をしてください。または、新しい乾電池に交換してください。
	ビデオデッキからダビングできない	● 正しい外部入力「**F-1**」、「**L-1**」を選んでいますか？（☞**P40**）
	他のデッキへダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	● 設定メニューの「**オンスクリーン**」を「**切**」にしてください。（☞**P72 - 23**）
	操作できない	● モードロックが設定されていませんか？（☞**P68**） リモコンの［**F2**］ボタンを5秒以上押して、モードロックを解除してください。 ● ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 ● まったく動作しない場合は、本体の電源を切り、もう一度入れてください。（落雷や静電気などの影響で、正常に動作しない場合があります）
	本体表示窓に「LOCK」と表示されて、ディスクが取り出せない	● 次の方法でトレイロックを解除してください。（☞**P68**） 電源「**切**」のときに本体の［**停止**］ボタンを押しながら［**取出し**］ボタンを押します。 ● 解除されると、本体表示窓に「**UNLOCK**」と表示されます。
再生	テレビに映像が出ない	● ビデオの入力を表示していますか？ 映像/音声入力端子付きテレビ（AVテレビ）と本機を接続している外部入力に切り換えてください。 ● プログレッシブスキャンモード（本体表示窓**P**マーク：赤色）のときは、コンポーネント端子入力のあるテレビでしか見ることはできません。 それ以外の端子入力で見るときは、リモコンの［**プログレッシブ**］ボタンを3秒以上押して、**P**マークを消灯してください。（☞**P26**） ● 出力設定が「**DV**」になっていませんか？ HDDまたはDVDの映像を見るときは、本体の［**出力切換**］ボタンを押して「**ALL**」にしてください。「**DV**」のときは、DVテープの再生映像のみ出力されます。
	テレビに映像が出ないときや乱れるときは	● テレビにコンポーネント端子入力がある場合、リモコンの［**プログレッシブ**］ボタンを3秒以上押して、本体表示窓に**P**マークを点灯させてください。また、テレビの入力をコンポーネント端子入力にしてご覧ください。（☞**P26**） ● テレビにコンポーネント端子がない場合、本体表示窓に**P**マークが点灯しているときは、リモコンの［**プログレッシブ**］ボタンを3秒以上押して、**P**マークを消灯してください。また、テレビの入力をビデオ入力にしてご覧ください。

	症　状	処　置
再生	[再生]ボタンを押しても再生が開始しない、またはすぐに停止する 本体表示窓に「NO DISC」の表示が出た	● 再生したい面を下にして、ディスクを正しく入れてください。 ● 再生できないディスクが入っていませんか？（☞**P9**） ● ディスクが汚れていませんか？（☞**P9**） ● やわらかい布できれいにふいてください。 ● 大きなそりや傷があるディスクが入っていませんか？（☞**P9**）
	早送り/早戻し再生中に映像が乱れる	● 再生の速さを変えたり、スピードが切り換わる部分では、映像が乱れることがあります。故障ではありません。
	さかのぼり再生ができない	● 設定メニューの**「一時録画機能」**を**「切」**以外に設定してください。（☞**P70 - 09**）
	追っかけ再生ができない	● DVD側の場合、DVD-RAM以外は追っかけ再生できません。DVD-RAMを使用してください。（☞**P8**）
	HDD側の再生で1.5倍速再生のとき、光出力からの音声が出ません	● 本機背面の光デジタル音声出力端子から音声を出力させるには、設定メニューの**「デジタル音声出力」**を**「PCMのみ」**に設定してください。（☞**P69 - 04**）
	本機背面の光デジタル音声出力端子につないだとき、日本語と外国語の切り換えができません	● DVD-RAMまたはDVD-R/-RW(VRモード)に記録された音声多重のタイトルで、日本語と外国語の切り換えができないときは、設定メニューの**「デジタル音声出力」**を**「PCMのみ」**に設定してください。（☞**P69 - 04**） ● 設定後、**[音声]**ボタンを押して聞きたい音声を選んでください。
録画	録画ができない	● ディスクが入っていますか？　または対応していないディスクが入っていませんか？ 録画可能なディスクを入れてください。（☞**P8**） ● フォーマットされていますか？ 本機で録画できるよう、フォーマットしてください。（☞**P41**） ● ファイナライズ済みのディスクが入っていませんか？ ファイナライズしたディスクには録画できません。（☞**P42**） ● ディスクの容量が少なくなっていませんか？ 不要なタイトルは削除するか、新しいディスクを入れてください。（☞**P54**）
	録画したタイトルをすべて削除しても、ディスクの残量が増えない	● パソコン側でデータを記録したDVD-RAMを入れていませんか？ パソコンのデータは本機で削除できませんので、データが不要ならば、本機でフォーマットしてください。（☞**P41**）
ダビング	DVDからHDDまたはDVテープにダビングができない	● コピーワンスのタイトルではありませんか？ コピーワンスのタイトルは、ダビングできません。
	HDDからDVテープへダビングができない	● コピーワンスのタイトルではありませんか？ コピーワンスのタイトルは、DVテープにダビングできません。HDDからDVDへのダビングでは、移動になります。DVDは、CPRM対応のディスクをお使いください。
	HDDからDVD/DVテープにダビングするとき、複数の番組が選べない	● DVモードで録画されたタイトルと、DVモード以外のモードで録画されたタイトルを同時に選ぶことはできません。
編集	DVDにてサムネイルやタイトル名などの変更ができない	● 次のような場合は、変更できません。 • 保護されたタイトル • ファイナライズされたディスク
	DVテープにアフレコ編集ができない	● 次のような場合は、アフレコ編集ができません。 • 「16BIT」音声で録画されたタイトル • 「LP」モードで録画されたタイトル • 録画したタイトルがコピー禁止の場合 • 追加する音声がコピー禁止の場合 • 録画されていないテープ • 誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっているテープ
	DVテープにインサート編集ができない	● 次のような場合は、インサート編集ができません。 • 「LP」モードで録画されたタイトル • 録画したタイトルがコピー禁止の場合 • 挿入する映像がコピー禁止の場合 • 録画されていないテープ • 誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっているテープ

こんなメッセージが出たら

		メッセージ	アドバイス
こ	ダビング HDD DV	このタイトルはダビングできません	DVDからHDD、HDDからDVテープのダビングでは、コピーワンスのタイトルをダビングすることはできません。
	再生 DVD	このDISCのナビゲーションはできません	再生ナビゲーションは、DVDビデオや他機で録画してファイナライズしていないディスクでは利用できません。 ファイナライズしたディスクは[**トップメニュー/メニュー**]ボタンで操作してください。
	再生 DVD	このDISCはライブラリに登録されていません 登録してもよろしいですか？	挿入したディスクはライブラリに登録されていません。必要であれば登録してください。登録すると、あとでこのディスクを見るときに便利です。（☞**P60**）
	録画 HDD	コピー禁止のため、録画できません	録画しようとしたタイトルは著作権保護されています。コピーガードがかかっているタイトルは録画できません。
	再生 DVD	コピー制限上、正しくない可能性があります このため再生できません	読み取り中あるいは再生中のディスクにコピー制限の不正な箇所があります。
	録画 DVD	コピー制限のため録画できません	録画しようとしたタイトルは著作権保護されています。コピーワンス（1回のみの録画が許されているタイトル）のタイトルのときは、CPRM対応のディスクをお使いください。ただし、コピーガードがかかっているタイトルは録画できません。
	ダビング DVD	コピーワンスのタイトルは ダビング終了後削除されます	HDDからDVD（CPRM対応）へコピーワンスのタイトルをダビングすると、コピーではなく移動になります。
	再生 HDD DVD	これ以上は進むことができません	タイトルの終了位置または現在録画中の位置より先に進むことはできません。
	再生 HDD DVD	これ以上は戻ることができません	録画の始まりの部分より前に戻ることはできません。
さ	再生 DVD	再生できないディスクが入っています ディスクを確認してください	本機で再生できるディスクを確認してください。（☞**P8, P9**）
で	再生 DVD	DISCが入っていません	ディスクを入れてください。
	ダビング DVD DV	DVモードで録画したタイトルは 選択できません	HDDからDVD/DVへダビングするとき、DVモード以外で録画されたタイトルを記憶したあと、DVモードのタイトルを選択することはできません。
	ダビング DVD	DVモードで録画したタイトルは ダビングできません	DVモードで録画されたタイトルは、高速ダビングできません。（☞**P32**）
	ダビング DV	DVモードで録画したタイトル以外は 選択できません	HDDからDVD/DVへダビングするとき、DVモードで録画されたタイトルを記憶したあと、DVモード以外のタイトルを選択することはできません。

		メッセージ	アドバイス
な	録画 HDD DVD	ナビ登録数が最大のため、録画できません 不要な番組を削除してください	DVDナビ登録数は99、HDDナビ登録数は500までです。不要なタイトルを削除してください。（☞**P54**）
ば	再生 HDD	番組が録画されていないため、 再生できません	先にタイトルを録画してください。
ふ	ディスク DVD	ファイナライズ解除できませんでした ディスクを確認してください	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにして、もう一度試してください。
	ディスク DVD	ファイナライズできませんでした ディスクを確認してください	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにして、もう一度試してください。
	ディスク DVD	フォーマットできませんでした ディスクを確認してください	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにして、もう一度試してください。
	ダビング DV	プログレッシブスキャンモードのときは DVへダビングできません モード変更した後、実行してください	HDD/DVDからDVへダビングする場合、プログレッシブスキャンモードになっているとダビングはできません。 プログレッシブスキャンモードを解除してください。
	ダビング HDD DVD	プログレッシブスキャンモードのときは DVからダビングできません モード変更した後、実行してください	DVからHDD/DVDへダビングする場合、プログレッシブスキャンモードになっているとダビングはできません。 プログレッシブスキャンモードを解除してください。
り	再生 DVD	リージョンコードが違います ディスクを確認してください	本機ではリージョンコード番号が「2」または「ALL」のディスクが再生可能です。それ以外のリージョンコード番号のディスクは再生できません。
ろ	録画 HDD	録画可能時間があと少しです 不要な番組を削除してください	不要なタイトルを削除してください。（☞**P54**）
	録画 HDD	録画可能時間が無くなったため、録画を中断しました	不要なタイトルを削除してください。また、必要なタイトルはDVDにダビングしてから削除してください。
	録画 DVD	録画（作成）できません	録画可能なディスクを入れてください。または、不要なタイトルやプレイリストを削除してください。タイトル数とプレイリスト数はそれぞれ99個までです。
	ダビング HDD DVD	録画中はダビングできません 停止した後、実行してください	録画が終了してから、ダビングしてください。
	録画 DVD	録画できないディスクが入っています 録画可能なディスクを入れてください	本機で録画できるディスクを入れてください。 （☞**P8, P9**）

言語コード一覧表・別売品のご案内

言語コード一覧表

字幕や音声は、言語コードで表示されることがあります。表示された言語コードから言語名を知ることができます。以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

コード	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国(朝鮮)語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ(マレー)語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
OC	プロバンス語
OM	(アフォン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ-ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

別売品のご案内

映像／音声用接続コード

■ DVD用ビデオコード（コンポーネント端子付きテレビとの接続）

VX-D110E	（1m）	希望小売価格	オープン価格	VX-D130E	（3m）	希望小売価格	オープン価格
VX-D120E	（2m）	希望小売価格	オープン価格	VX-D150E	（5m）	希望小売価格	オープン価格

■ D端子コード（D端子付きテレビとの接続）

VX-DS210	（1m）	希望小売価格	オープン価格	VX-DS220	（2m）	希望小売価格	オープン価格

■ S映像コード（S端子付きテレビとの接続）

VC-S110G	（1m）	希望小売価格	1,050円（税込）	VC-S110E	（1m）	希望小売価格	2,310円（税込）
VC-S120G	（2m）	希望小売価格	1,260円（税込）	VC-S120E	（2m）	希望小売価格	2,730円（税込）

■ 映像／音声コード（AVテレビとの接続）

VX-17G	（1m）	希望小売価格	1,365円（税込）	VX-410E	（1m）	希望小売価格	2,625円（税込）
VX-18G	（2m）	希望小売価格	1,575円（税込）	VX-420E	（2m）	希望小売価格	2,940円（税込）

■ 音声コード（テレビとの音声接続）

CN-180G	（1m）	希望小売価格	630円（税込）	CN-181G	（2m）	希望小売価格	788円（税込）

■ 光デジタルケーブル[角-角]（光角型端子付きアンプとの接続）

XN-110SA	（1m）	希望小売価格	2,100円（税込）	XN-120SA	（2m）	希望小売価格	2,520円（税込）

■ DVD用オーディオコード（同軸デジタル入力端子付きアンプとの接続）

CN-D110E	（1m）	希望小売価格	1,365円（税込）	CN-D120E	（2m）	希望小売価格	1,680円（税込）

保証とアフターサービス

保証書と補修用性能部品について

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、DVDビデオレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間は保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

修理を依頼されるときは

86～91ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。万一本機およびDVDなどの不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 ： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機械設備費、一般管理費が含まれています。

部品代 ： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料 ： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご連絡していただきたい内容			
品名	DVDビデオレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
型名	SR-DVM700	故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前	付近の目印等も	電話番号	(　　)　－

愛情点検 ● 長年ご使用の本機の点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 再生しても映像や音声が出ない。 ● 電源プラグ、コードが異常に熱い。 ● 異常な臭いや音がする。 ● 水や異物が入った。 ● その他の異常や故障がある。	➡	ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

本機は非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

お客様個人情報の取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

サービス窓口案内

Victor ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1006

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
　　　　　　　　S.S.はサービスステーションの略称です。

著作権とご注意

商標・登録商標など

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づいて製造されています。
- ドルビーデジタルステレオクリエイターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声のDVDビデオを作成することができるようになります。この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録内容を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度(ビットレート)の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。

  ドルビーデジタルステレオクリエイターを用いてマスタリングしたDVDは全てのDVDビデオプレーヤーで再生することが可能です。

  注：使用した記録型DVDに対してプレーヤーが互換性を持っている場合。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSおよびDTS Digital Out は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- i. はソニー株式会社の商標です。

著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

  著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

録画内容と補償について

- 大切な録画をしたディスクは定期的な(数年おき)バックアップをおすすめします。デジタル信号の劣化はありませんが、保存環境によりディスクの経年変化の影響で再生や録画ができなくなる場合があります。
- 本機の使用中に停電などが起こったときは、記録されているデータなどが損なわれることがあります。HDDに録画した番組は、早めにDVDにダビングするなど、HDDの破損に備えることをおすすめします。
- DVDやHDD、DVテープが破損したときは、録画されていた番組やデータの修復はできません。

録画内容の補償に関する免責事項について

- 何らかの原因によって、正常に録画・再生できなかった場合の内容の補償および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

使用するとき

本機は電源が「入」の状態では、常にHDDが高速で回転しています。このためご使用になるときは、特に次の点に注意してお使いください。

■ **振動や衝撃をあたえない**

無理な衝撃をあたえると、記録されているデータが損なわれるだけでなく、HDDそのものが破損する原因となります。

■ **本機の動作中に電源プラグをコンセントから抜かない**

HDD動作中にいきなり電源を切ると、データが損なわれるだけでなく、HDDそのものが破損する原因となります。必ず電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、かわいた布で仕上げてください。その際には洗剤の注意書きにしたがってください。
- シンナー、ベンジンなどは使わないでください。
- 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

長期間使わないとき

長期間使用しないと、機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて動作させてください。

つゆつき(結露)

冷水を入れたコップの表面に水滴が付く現象のことを「つゆつき」(または結露)といいます。

つゆつきが発生すると、本機内部のレンズやディスクに水滴が付き、正常に動作しないことがあります。

次のようなときは、つゆつきになりやすいのでご注意ください。

  - 本機を寒いところから暖かい部屋へ移動したとき。
  - 急に部屋を暖房したとき。
  - エアコンなどの冷風が直接当たるところに置いたとき。
  - 湿気の多いところに置いたとき。

- つゆつきになりそうなときは、ディスクを取り出してあらかじめ本機の電源を入ておくと、内部の熱で発生しにくくなります。
- 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。本機の電源を入れて数時間待ってからご使用ください。もし、何時間たっても正常に動作しないときは、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。(☞**P94**)

用語解説

英字順

DTS
Digital Theater Systemsの略で、DVDビデオで使用されている音声信号の圧縮処理の方式です。ドルビーデジタルより高音質の仕様です。

JPEG
Joint Photographic Experts Groupの略で、圧縮した静止画データファイルの国際規格です。RGB3原色データが10分の1から100分の1程度に圧縮されています。

MP3
MPEG-1 Audio Layer-3の略で、圧縮した音声データファイルの国際規格です。音質の劣化を少なくしながら、オーディオCDの音声データが10分の1程度に圧縮されています。

MPEG
エムペグと読み、Moving Picture Experts Groupの略で、動画や音声の圧縮方式の国際標準です。

PBC
Playback Controlの略です。ビデオCD(Ver.2.0)で記録されたデータの再生を制御する仕組みです。メニュー画面を使った対話型や検索機能を持ったソフトがあります。

RS-232C
Recommended Standard 232 version Cの略で、米国電子工業会(EIA)によって標準化されたシリアル通信のひとつです。

VRモード
ビデオレコーディング･モードの略です。DVD-RWなどに記録する方式で、編集や消去、再録画が可能です。

五十音

アフレコ
カメラで収録時の音声に、ナレーションやBGMなどを、あとから追加することをいいます。

エンコード
音声や映像、画像を圧縮してデジタル化することです。再エンコードとは、一度圧縮を戻した信号を別の方式や圧縮率で再デジタル化することです。

コンポーネント端子
本機と周辺機器とを接続する映像端子のひとつです。色信号(C)をB-Y色差信号(PB)と、R-Y色差信号(PR)に分けて伝送します。プログレッシブスキャン方式にも対応していて、とても高画質な仕様になっています。

サムネイル
画像、タイトルや場面の区切りを分かりやすくするために見せる小画像です。

タイトル
DVDビデオなどの本編映像やメニュー画面で選択できる映像など、収録されている映像の単位です。本機で録画した番組もタイトルです。

チャプター
DVDビデオなどのタイトル中にある音楽や映像の区切りの単位です。本機で録画したタイトルでは自由に作成することが可能です。(DVD-RAM、DVD-RW/-R(VRモード)の場合)

デコーダー
音声や映像の圧縮された信号を元の信号に戻す装置です。

トラック
オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCDの音楽や映像などの区切りの単位です。

ドルビーデジタル
音声信号の圧縮処理の方式です。5.1CHサラウンドなどDVDビデオでの標準方式です。

パンスキャン
ワイド映像(16:9)を通常の4:3のテレビで見る場合に、左右をカットして4:3画面全体で表示する方式です。

ビットストリーム
圧縮された音声もしくは映像のデジタル信号です。

ビデオモード
DVD-R、DVD-RWの記録方式で、DVDビデオと互換性があります。

ファイナライズ
DVD-R、DVD-RWに記録されたタイトルを他の再生機などで視聴可能にするために、ディスク情報を書き込む処理です。

プログレッシブスキャン
通常のテレビ放送の映像信号では、縦方向の解像度である走査線525本を1本おきに半分ずつ1画面に表示しています。この方式をインターレースといいますが、一度にすべての走査線を表示する方式をプログレッシブスキャンといい、DVDビデオの映画ソフトなどを高画質で再生することができます。

リニアPCM
音声信号を圧縮処理しないでデジタル化する方式です。

リージョン番号(地域番号)
DVDビデオの再生を制限する番号です。世界各地を6つの地域に分けて番号で識別し、再生機とディスクの番号が合わなければ再生することができません。日本のリージョン番号は「2」です。

レターボックス
ワイド映像(16:9)を通常の4:3のテレビで見る場合に、画面の上下に黒い帯を入れてワイド映像の画面全体を表示する方式です。

仕様

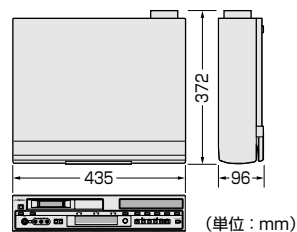
動作環境	
電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	40 W　待機時消費電力* 2.0 W 待機時消費電力:本体表示窓点灯時 2.2 W 待機時消費電力:本体表示窓消灯時 1.4 W *省エネ法に定める待機時消費電力です。
外形寸法	435 mm x 96 mm x 372 mm (幅 X 高さ X 奥行き)
質量	5.8kg
許容動作温度	＋5℃ ～＋35℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 %

ビデオディスク(映像／音声)	
光ピックアップ	1 レンズ 2 レーザーユニット方式
記録方式	DVD-RAM　:DVDビデオレコーディング規格準拠 DVD-RW/-R :DVDビデオ規格準拠 ／ DVDビデオレコーディング規格準拠
記録時間	最大8時間 (4.7 GB ディスク使用) XP: 約1時間、SP : 約2時間、LP : 約4時間、EP : 約6時間、 FR : 約1時間 ～ 8時間 (FR60 ～ FR480)
音声記録圧縮方式	ドルビーデジタル(2ch 記録)／リニア PCM (XP モード)
映像記録圧縮方式	MPEG2 (CBR/VBR)

ハードディスク(映像／音声)	
録画方式	映像 : MPEG2 (CBR/VBR)/DV、音声 :ドルビーデジタル (2ch 記録)／リニアPCM (XPモード)/ PCM48kHz、16bit/32kHz、12bit(4ch)(DVモード)
ハードディスク容量	250 GB
最長録画再生時間	DV : 約 18 時間、XP : 約53時間、SP : 約 109 時間、 LP : 約 218 時間、EP : 約 328 時間、FR480 : 約 473 時間

Mini DV(映像／音声)	
録画方式	ミニDV方式 (民生用デジタルVCR SD規格)
テープ速度	SP:18.812 mm/秒、LP:12.555 mm/秒
使用テープ	ミニDVビデオカセット (6.35 mm幅デジタルビデオテープ)
録画時間	SP:80分、LP:120分 (M-DV80D使用の場合)
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCM48 kHz、16 bit (2ch) / 32 kHz、12 bit (4ch)

接続端子	
S映像	入力 Y p-p : 0.8 ～ 1.2 V 75 Ω、C p-p : 0.2 ～ 0.4 V 75 Ω 出力 Y p-p : 1.0 V 75 Ω、C p-p : 0.29 V 75 Ω
映像	入力p-p: 0.5 ～ 2.0 V 75 Ω(ピンジャック) 出力p-p: 1.0 V 75 Ω(ピンジャック)
コンポーネント映像出力	Yp-p : 1.0 V 75 Ω、P_B_P_R p-p : 0.7 V 75 Ω
音声	入力 : －8 dBs 50 k Ω (ピンジャック)、モノ(左)対応 出力 : －8 dBs 1 k Ω (ピンジャック)
i.LINK	4ピン　DV入出力用
光デジタル音声出力	－ 18 dBm、660 nm、Dolby Digital、DTS対応 ビットストリーム、デジタル音声出力設定メニューで選択
リモート入力	Φ 3.5mm
SERIAL COMMAND	D-SUB　9ピン

372
435
96
(単位 : mm)

- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このDVDビデオは日本国内のみ使用できます。外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
- This DVD video recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

索引

数字

アルファベット

A

C

D

F

J

M

P

R

T

V

W

かな

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、**93**ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **94ページをご覧ください。**	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(045) 450−8950** **FAX　(045) 450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0107MNH-SW-BJ